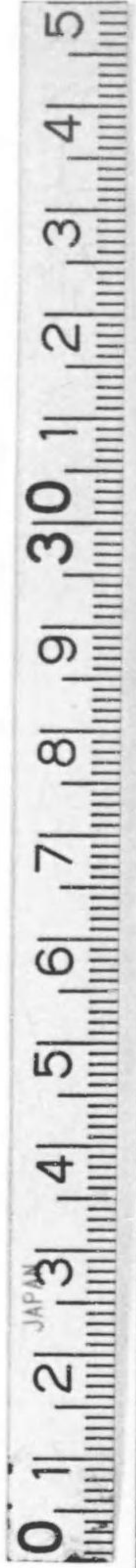


始



農務局報第四拾九號

蔬菜及果樹栽培の狀況



昭和二年二月

農林省農務局

後編 正誤表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
目三二五行	一道府縣の主要果實産額一行	梅道累年 二、七八九圓	梅累年 二、七八九萬圓	四三一行		於最増栽ても 八一	於て栽培最も 一八
同	最後ノ行	其の國 栽培	其の全國 栽培	四四第二表 高座郡藤澤町			
三本文 九行		四九六	四九五	四六第四表			
四第二表 愛媛		五三八、五四七	五三九、五四七	四七最后ノ行			
六同 三重		七三、二三	七三、四二三	五二同			
八第一表 大分		五五、九二八	五五、〇二八	五三第一表 西山梨		（大正十三年度） 雜核 呈しく 一二三、九八一	（大正十二年度） 雜核 著しく 一二三、九八四
同 高知		五三〇	五、三〇〇	五六第三表 三年		收來 一、二〇五、〇三一	將來 一、二〇五、一〇三
一〇和歌山縣本文一行		山瀧村	山瀧村	五七第一表 一行		明治三十八年ノ樹數 七八、九一八	明治四十二年ノ樹數 七八、九一五
一二第二表 最後ノ行		七五九、〇〇〇	七五〇、〇〇〇	同 愛知		福壽院	福壽院
一四第一表 足柄上		四八、九三六	三八、九三六	同 千葉 本文 三行		五〇、〇〇六	五〇、〇〇〇
一九第四表 香川		〇%	九〇%	六〇第一表 山形		(6)山形縣	(6)山梨縣
二〇奈良縣一行		九、八七、二二三	九、八九七、二二三	六一八行		大正十三年ノ全國ノ樹數ニ對スル%	大正十三年ノ全國ノ産額ニ對スル%
二二第一表 六年		阪	大阪	六三第一表 一行		九五、五五七	九九、五五七
同 第二表 府縣名		樹數 本	反別 町	同 岩手		一三一、〇七四	一三四、〇七四
二四第一表		壁、治	眞壁、新治	同 鳥根		一八六、〇九八	一九六、〇九八
三〇同 郡名		二、六一五、九五六	二、六一五、八五六	同 同		下花	下北花
三六第二表 四三年		樹數(一〇〇)ニ對スル	樹數(一〇〇)ニ對スル	六四宮崎 澁柿		美濃鶴	美濃鶴
同 第三表		四、七三二	四、七三一	同 埼玉 澁柿		二二五、七八〇	二二五、〇八〇
三七第一表 愛媛		一、三五九、九三一	一、三五三、九三一	六五第二表 八年		三八七、五〇八	二八七、五〇八
三八同 北津輕		一三、四〇〇	一三、四〇〇	六六第一表 滋賀		一〇一、八九八	一一一、八九八
三九同 札幌		二二、二三〇	二二、八三〇	六七表 山口			
四二表 静岡							



本調査は園藝試験場の編纂に係り統計を基礎として蔬菜及果樹の栽培状況を記述したるものなり而して其内容は農林省統計表等に記載せられざる事實をも包含し就中其栽培の消長を明にしたる點に於て一般の参考となるべき事項尠からずと認め茲に之を印刷に附することとせり

昭和二年二月

農林省農務局



寄贈本

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
四一	第一表	四五、二六七、八	四五、二六七、八	四七	第二表	五六四、二六六	五六四、二六六
六一	第二表	九、八二	九、八二	四八	第一表	一一五、〇	一一五、〇
六二	第一表	三五、六七	三五、六七	五〇	第一表	六、六五三	六、六五三
六三	第一表	四六、一六、九	四六、一六、九	五二	第一表	八、〇七一	八、〇七一
六四	第一表	三、三、三、二	三、三、三、二	五三	第一表	三六、〇二二	三六、〇二二
六五	第一表	二、六	二、六	五四	第一表	四三、七	四三、七
六六	第一表	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	五五	第一表	四三、三	四三、三
六七	第一表	大分縣南海部郡	大分縣南海部郡	五六	第一表	七、〇〇〇	七、〇〇〇
六八	第一表	三二六、四九四	三二六、四九四	五七	第一表	三七四	三七四
六九	第一表	二六三、五	二六三、五	五八	第一表	八、三二四	八、三二四
七〇	第一表	三四、三六五	三四、三六五	五九	第一表	一集團	一集團
七一	第一表	九四三、九	九四三、九	六〇	第一表	九一、七三四	九一、七三四
七二	第一表	四七四、四五七	四七四、四五七	六一	第一表	一八	一八
七三	第一表	三五、六三九	三五、六三九	六二	第一表	一三六	一三六
七四	第一表	一、六四、六〇七	一、六四、六〇七	六三	第一表	豆郡	豆郡
七五	第一表	二、五〇、五	二、五〇、五	六四	第一表	四、九	四、九
七六	第一表	一、五三、五	一、五三、五	六五	第一表	〇、九	〇、九
七七	第一表	一四〇、二九一	一四〇、二九一	六六	第一表	三二、二六七	三二、二六七
七八	第一表	一四一	一四一	六七	第一表	一〇〇、〇	一〇〇、〇
七九	第一表	五	五	六八	第一表	二四、二七	二四、二七
八〇	第一表	一三九、六〇〇	一三九、六〇〇	六九	第一表	一九	一九
八一	第一表	一九八、四四〇	一九八、四四〇	七〇	第一表	過せる	過せる
八二	第一表	一九	一九	七一	第一表	促成	促成
八三	第一表	四五六、八	四五六、八	七二	第一表	甘藷煮芋	甘藷煮芋
八四	第一表	四五、二二〇	四五、二二〇	七三	第一表	三十圓	三十圓
八五	第一表	二八、七	二八、七	七四	第一表	第四十五位	第四十五位
八六	第一表	五八	五八	七五	第一表	ワケル大根	ワケル大根
八七	第一表			七六	第一表		
八八	第一表			七七	第一表		
八九	第一表			七八	第一表		
九〇	第一表			七九	第一表		
九一	第一表			八〇	第一表		
九二	第一表			八一	第一表		
九三	第一表			八二	第一表		
九四	第一表			八三	第一表		
九五	第一表			八四	第一表		
九六	第一表			八五	第一表		
九七	第一表			八六	第一表		
九八	第一表			八七	第一表		
九九	第一表			八八	第一表		
一〇〇	第一表			八九	第一表		

凡 例

1. 蔬菜及果實の總産額、累年統計及道府縣別統計は農商務統計表及農林省統計表に據れり。
2. 道府縣の概況は各其農事試験場の回答を基礎とし之に園藝試験場に於ける調査を斟酌したるものなり。
3. 郡別及町村別統計は道府縣農事試験場の調査に據りたるものにして町村別統計の數字の計と、郡別統計と一致せざるものは町村別數字を推定に依りて算出したるものあるが爲なり。
4. 蔬菜及果樹の集團地統計、蔬菜不時栽培統計、同採種栽培統計及加工に關する統計は道府縣農事試験場の調査に據れり。
5. 農林省統計表に現はれざる蔬菜類は雜蔬菜として一括したり。
6. 各果樹の栽培概況及統計の道府縣の順位は大正十三年度の樹數に據れるものなり。
7. 道府縣の郡別統計は主として大正十三年度の事實を記載せるも、園藝試験場よりの照會に對し直ちに回答せられたるものの中には大正十二年度の統計を記載せられしものあり。
8. 郡別統計、町村別統計、集團地統計、採種栽培統計及加工統計の中には實際と大なる相違ありと思はるるものありしが改めて正確なる調査を爲す事の甚困難なるを察し其儘記載せり。

前 編

蔬菜栽培の状況

目 次

第一章	蔬菜栽培の現況	1
第二章	蔬菜栽培の趨勢	1
	I 明治三十八年以來の趨勢	1
	II 大正九年と大正十三年とに於ける道府縣蔬菜作付反別及生産價額の比較	2
第三章	各種蔬菜の主産地に於ける生産狀況	4
第四章	雜 蔬 菜	52
第五章	不 時 栽 培	60
	I 溫 床 栽 培	60
	II 溫 室 栽 培	62
	III 軟 化 栽 培	65
第六章	採 種 栽 培	66
第七章	加 工	71
第八章	道府縣の概況	72
	I 全國的に見たる道府縣の蔬菜栽培上の位置	72
	II 道府縣別概況	77

前 編 蔬菜栽培の状況

第一章 蔬菜栽培の現況

第一次農林省統計表によれば大正十三年に於ける全國蔬菜の栽培面積は511,627町歩、その價額287,908,217圓にして、而も甘藷、馬鈴薯を含まざるが故に、今假に兩者の七割を蔬菜と看做す時は全蔬菜の産額は390,210,556圓に達すべし。而して蔬菜は邸内の一隅又は裏作とし若しくは新開地等に栽培せられ統計調査に際し其集計に漏るるもの尠からざるのみならず統計は單に二十六種の蔬菜に就て調査せるものにして尙其以外のもの例へば純蔬菜として栽培せらるゝものの或部分及促成品抑制品等は統計せられざるの現狀に在り。即此等のものを漏れなく合算するに於ては優に五億圓以上に達すべし。

今統計に現はれたる大正十三年に於ける全國蔬菜の栽培状況を見るに次の如し

種 類	作付反別	價 額	全國的位置		種 類	作付反別	價 額	全國的位置	
			反別 順位	價額 順位				反別 順位	價額 順位
豌豆	47,121.3	7,565,968	4	12	蕪 菁	10,422.1	555,875	14	15
蠶 豆	44,204.9	7,889,792	5	11	胡蘿蔔	9,611.8	7,437,442	15	13
筍	16,539.8	6,531,038	9	14	牛 蒡	16,216.4	16,005,257	10	5
苺	370.5	372,116	25	26	里 芋	53,365.7	36,530,114	3	2
菜 豆	56,319.5	10,370,565	2	10	薑	2,769.7	3,912,336	21	19
胡 瓜	15,231.2	12,666,310	12	9	葱 頭	4,061.5	3,541,457	19	21
越 瓜	5,117.2	4,647,569	17	18	葱	15,635.2	12,843,234	11	8
南 瓜	20,795.3	14,263,777	8	7	食用百合	1,136.4	1,298,807	23	22
西 瓜	12,519.6	15,505,176	3	6	蓮 根	3,492.2	5,352,376	20	16
甜 瓜	4,382.2	3,686,237	18	20	葱 姑	332.7	456,238	26	13
茄 子	26,327.8	22,548,290	7	3	漬 菜	32,934.1	18,267,160	6	4
蕃 茄	429.4	421,063	24	25	甘 藍	6,207.3	5,287,702	16	17
蘿 蔔	101,937.9	60,487,948	1	1	蕃 椒	1,145.3	441,475	22	24

第二章 蔬菜栽培の趨勢

1 明治三十八年以來の趨勢

茲に明治三十八年以來統計に現はれたる年度より大正十三年に至るま

での各種蔬菜の栽培の趨勢に就て見るに大要次表の如くにして世界戦争により經濟界の好況時代は別として其栽培面積に於ては大體 1.1 倍乃至 4 倍以上の増加を示し假令減少せるものありとも其價額に至りては實に最高 5 倍餘を示すものありて一も減少せるものを見ず。

統計に表はれたる第一年の數を一としたる
大正十三年の指數表

種類	作付反別		價 額		種類	作付反別		價 額	
	第一年	指數	比較年度	指數		第一年	指數	比較年度	指數
豌豆	明治38年	1.8	大正4年	1.6	蕪菁	明治42年	1.2	大正6年	1.6
蠶豆	"	1.2	"	1.9	胡蘿蔔	38年	1.1	"	1.7
筍	大正6年	1.1	6年	2.6	牛蒡	"	1.5	"	2.1
苺	11年	1.4	11年	1.4	里芋	42年	0.9	"	2.0
菜豆	"	0.8	"	1.3	薑	38年	1.5	4年	2.9
胡瓜	明治42年	1.7	6年	2.1	葱頭	42年	4.3	"	5.6
越瓜	大正6年	1.9	"	3.2	葱	"	1.8	6年	1.9
南瓜	明治42年	1.6	"	2.0	食用百合	38年	2.0	"	2.8
西瓜	"	2.9	"	2.9	蓮根	42年	2.0	"	2.5
甜瓜	"	1.6	"	2.0	慈姑	"	1.2	"	2.9
茄子	"	1.3	"	2.0	漬菜	"	1.7	"	2.1
蕃茄	"	1.1	"	3.3	甘藍	38年	3.1	"	2.9
蘿蔔	38年	1.1	"	1.6	蕃椒	"	1.5	4年	1.3

2 大正九年と大正十三年とに於ける道府縣
蔬菜作付反別及生産價額の比較

最近に於ける蔬菜栽培の趨勢を知らんがため農商務統計の稍々整備したる大正九年と同十三年の統計に就て見るに大正九年は世界戦争後の好況時代を過去りたる後なるも尙昨今の如く經濟界の不況を呈せるものにはあらざりき而も兩年を比較するときは道府縣によりて一率ならざるも総合的に之を見れば面積に於ても價額に於ても約一割一分の増加にしてその逐年の増加を語るものあり

尙面積及價額の順位に關する推移等を別表に付彼此比較せば一層の興味を覺ゆべし

道府縣名	大 正 九 年			大 正 十 三 年		
	作付反別	價 額	全國的位置 反別 價額	作付反別	價 額	全國的位置 反別 價額
北 海 道	59,611.2	21,356,450	1 1	114,961.8	31,348,361	1 1

道府縣名	大 正 九 年				大 正 十 三 年			
	作付反別	價 額	全國的位置 反別 價額		作付反別	價 額	全國的位置 反別 價額	
青 森	7,089.9	3,448,207	32	34	7,443.8	4,181,709	30	30
岩 手	7,135.6	3,553,108	31	31	6,719.7	3,315,100	34	35
宮 城	8,015.3	3,903,732	26	29	7,873.1	3,852,909	25	32
秋 田	8,908.1	6,453,334	17	12	8,780.7	5,937,716	19	19
山 形	6,420.6	3,674,398	34	32	6,832.4	4,592,987	32	26
福 島	10,541.8	5,703,045	13	17	10,270.6	6,128,284	15	18
茨 城	17,175.6	10,877,458	3	3	16,050.7	9,413,918	4	6
栃 木	11,216.4	7,110,029	10	11	10,280.4	5,665,965	14	20
群 馬	9,241.6	5,049,294	15	22	9,632.8	6,200,102	18	16
埼 埼	17,643.8	8,513,258	2	8	12,243.3	10,493,416	9	4
千 葉	13,003.4	8,263,364	9	9	15,051.3	8,785,419	5	8
東 京	14,829.9	11,532,537	6	2	13,606.9	21,432,890	7	2
神 奈 川	8,324.3	6,293,545	23	15	7,854.8	6,828,167	26	15
新 潟	16,129.9	8,707,204	5	7	16,873.3	10,176,700	3	5
富 山	4,445.1	2,814,899	42	39	4,303.1	3,266,535	43	36
石 川	4,348.1	2,551,183	43	43	4,104.5	2,792,216	44	39
福 井	3,503.6	2,439,623	45	41	3,196.8	1,963,003	46	46
山 梨	3,298.6	1,870,513	46	46	3,248.9	2,289,719	45	44
長 岐	8,129.3	5,609,953	25	18	8,424.8	5,570,615	20	21
岐 阜	8,515.2	4,460,780	21	24	8,134.7	4,540,481	23	27
靜 岡	10,793.7	6,444,118	12	13	11,725.1	7,815,394	10	10
愛 知	14,159.0	8,960,354	7	5	14,263.9	11,007,066	6	3
三 重	7,712.9	4,261,648	27	27	7,503.0	3,740,307	29	33
滋 賀	5,586.5	2,971,981	37	33	5,331.2	2,830,792	38	38
京 都	7,141.4	4,404,382	30	26	7,773.4	7,161,950	27	13
大 阪	8,898.6	8,840,698	18	6	10,036.9	8,527,527	16	9
兵 庫	11,134.8	6,213,352	11	14	11,497.3	6,897,963	11	14
和 歌 山	5,075.1	3,180,267	39	36	6,643.9	4,601,793	35	25
鳥 取	5,397.8	2,755,972	38	40	4,344.0	2,473,837	42	43
島 根	4,293.0	2,016,542	44	44	4,570.1	2,142,869	41	45
岡 山	5,653.6	2,369,724	36	42	6,249.1	2,704,534	37	40
廣 島	8,358.1	3,878,141	24	30	7,935.1	4,004,176	24	31
山 口	9,125.4	6,166,651	16	16	10,698.7	6,165,938	12	17
徳 島	9,363.9	5,183,084	14	20	9,746.0	5,570,572	17	22
香 川	6,889.5	3,159,231	33	37	6,779.9	3,499,900	33	34
愛 媛	5,055.8	3,265,438	40	35	5,079.1	2,627,440	39	42
高 松	8,643.5	4,595,793	20	23	8,256.9	4,661,701	22	24

道府縣名	大 正 九 年				大 正 十 三 年			
	作付反別		價 額		全國的位置反別		價額	
	大正九年	大正十三年	大正九年ナ 100トセル十 三年ノ指數	大正十三年ニ 於ケル全國ノ 産額ニ對スル%	大正九年	大正十三年	大正九年ナ 100トセル十 三年ノ指數	大正十三年ニ 於ケル全國ノ 産額ニ對スル%
高 知	4,817.9	1,929,740	41	45	5,030.8	2,632,427	40	41
福 岡	16,219.9	10,187,517	4	4	16,890.3	8,986,307	2	7
佐 賀	7,374.4	3,598,938	29	33	7,572.6	2,980,678	28	37
長 崎	8,74.9	5,197,056	19	19	8,319.0	4,200,396	21	29
熊 本	13,358.8	7,900,804	8	10	13,209.1	7,510,938	8	12
大 分	7,433.7	4,404,550	18	25	7,223.8	4,677,706	31	23
宮 崎	6,419.1	4,011,531	35	28	6,299.4	4,411,924	36	23
鹿 兒 島	8,520.4	5,135,914	22	21	10,531.6	7,690,484	13	11
沖 繩	2,570.8	1,257,739	47	47	2,598.4	933,879	47	47
計	45,267.8	256,385,129			511,627.0	287,998,217		

第三章 各種蔬菜の主産地に於ける 生産状況

全国的に見たる現況及趨勢前記の如くなるを以て、更に各種類に就きその主産地の近況を窺ひ、併せて就中大量生産地に就き主産地郡市ノ統計を擧げて當該道府縣内生産分布の状を見、尙作付反別百町歩以上、若しくは産額五萬圓以上を有する町村又一集團の統計と特産地を示さんとす

1 蠶 豆

北海道に於ける蠶豆の生産は著しき巨額に達すれども罐詰の原料に供せらるるものは僅に一小部分に過ぎずして大部分種實用なり。その他蠶豆の主要産地は何れも温暖なる地方にして關東以西にありては多くは莢蠶豆なり。又静岡縣賀茂郡白濱村、安倍郡久能、三保地方、千葉縣安房郡の一部、廣島縣能美島、高知縣安藝郡の一部等の如き特に温暖なる地方にありては頗る有利なる早取栽培をなしつゝあり。

作付反別三百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ナ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ 於ケル全國ノ 産額ニ對スル%
北海道	26,891.4	35,070.3	130	1,583,774	4,897,505	65
大 阪	674.4	801.2	119	106,275	300,329	4
沖 繩	551.6	551.7	100	97,472	76,233	1

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ナ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ 於ケル全國ノ 産額ニ對スル%
千 葉	542.6	544.1	100	131,952	77,552	1
兵 庫	382.8	530.1	138	89,310	120,252	2
茨 城	732.7	504.2	69	116,421	80,474	1
愛 知	430.3	474.3	110	95,473	140,671	2
京 都	311.4	390.6	125	87,826	146,811	2
廣 島	347.7	353.9	102	88,528	81,790	1
靜 岡	314.8	322.2	102	78,772	109,607	1
岡 山	336.2	320.3	95	57,407	54,680	1
福 岡	362.0	320.2	88	50,713	36,889	1
高 知	325.3	311.9	96	49,051	74,996	1
鳥 取	408.0	310.9	76	82,822	54,232	1
滋 賀	274.2	310.4	113	69,509	76,403	1

作付反別百町歩以上を有する地方の統計

地 方 名	作 付 反 別	價 額
愛知縣渥美郡赤羽根村地方	200	200,000
京都府綴喜郡部々城村	100	9,000
" " 有智郷村	223	15,610
" " 大住村	200	13,800
大阪府南河内郡埴生村	285	59,500

特 産 地

地 名	摘 要
静岡縣伊豆白濱村	莢 露地早熟
" 清水市三保、不二見	" "
" 安倍郡久能村	" "
廣島縣能美島	廣島赤花種 "

2 蠶 豆

蠶豆はその反別並に價額に於て相當の額を有するにも拘はらず普通蔬菜として寧ろ輕視せらる。是れ蠶豆は關東以西の地方にありては水田の裏作として早取を行ひ、青實の收穫と綠肥とを兼ねるもの多きがためなり。

近時最温暖なる地方にありては促成栽培にも比すべき極めて早取法を行ふものあり。

作付反別六百町歩以上を有する府縣の統計

府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100ヲトセル 十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ 於ケル全國ノ產 額ニ對スル%
福 岡	4,239.1	4,227.0	99	807,789	603,645	8
佐 賀	3,090.5	3,345.0	108	531,156	396,976	5
兵 庫	2,926.9	3,034.8	104	687,508	650,546	8
熊 本	2,755.5	2,922.2	106	539,957	411,303	5
大 阪	2,375.1	2,244.3	94	830,729	587,135	7
愛 媛	1,910.6	1,959.1	103	417,240	342,955	4
奈 良	1,763.4	1,916.1	108	392,745	385,301	5
千 葉	1,519.0	1,856.2	122	306,996	238,150	3
香 川	1,793.9	1,843.1	103	632,489	475,122	6
岡 山	1,986.5	1,756.5	88	369,140	318,721	5
三 重	1,477.5	1,443.7	98	295,310	248,050	4
廣 島	1,481.4	1,435.9	97	363,291	298,430	4
和 歌 山	1,192.3	1,274.3	109	298,505	257,923	3
山 口	1,257.8	1,191.2	95	219,349	152,615	2
長 崎	1,173.8	1,037.0	90	205,072	139,293	2
德 島	973.0	1,048.3	108	246,183	225,723	3
京 都	1,150.2	1,038.1	90	251,456	220,940	3
沖 繩	1,050.3	937.2	91	177,915	122,902	2
滋 賀	1,060.2	913.7	86	249,852	148,403	2
茨 城	1,070.3	858.1	80	202,972	126,171	2
鳥 取	861.0	852.1	100	196,936	159,109	2
島 根	894.1	783.1	88	142,232	116,037	2
大 分	639.7	690.6	108	134,374	127,438	2
岐 阜	602.3	649.1	108	127,131	131,470	2
埼 玉	613.6	616.8	101	104,584	128,285	2

作付反別二千町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
福 岡 縣			
三 浦 郡	756.1	9,82	11,795
山 門 郡	320.0	3,716	42,055
遠 賀 郡	308.6	2,533	35,677
三 井 郡	226.6	2,111	30,034
糸 島 郡	207.1	1,130	16,052

郡 市 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
佐 賀 縣			
佐 賀 郡	1,208.6	11,439	153,558
杵 島 郡	795.2	5,416	71,737
小 城 郡	421.7	3,170	40,569
神 崎 郡	297.4	3,319	44,724
藤 津 郡	252.7	3,702	34,178
兵 庫 縣			
氷 上 郡	327.8	2,981	44,522
川 邊 郡	326.4	3,131	70,448
武 庫 郡	291.8	3,119	68,587
加 西 郡	222.9	2,331	46,244
揖 保 郡	176.1	2,057	37,013
熊 本 縣			
下 益 城 郡	583.2	6,479	80,988
天 草 郡	453.7	3,403	46,730
玉 名 郡	442.1	6,630	79,560
飽 託 郡	387.3	4,803	62,919
八 代 郡	363.8	4,420	66,300
大 阪 府	(12年度統計)		
南 河 内 郡	652.7	8,217	191,456
中 河 内 郡	465.0	6,084	153,537
泉 南 郡	233.3	3,086	52,527
泉 北 郡	187.0	2,105	38,039
三 島 郡	175.5	2,356	43,094

一町村内に作付反別百町歩以上を有する地方は千葉縣東葛飾郡八柱町にして其作付反別百十六町歩生産價額三萬四千六百五十圓なり。

又蠶豆の特産地は大阪府大阪市西淀川区姫島町にして一寸蠶豆として其名著し。

3 筍

筍は惣菜酒肴等として大に用ゐらるる外その罐詰は蔬菜加工品中最重

要なるものにして今後尙大に販路の擴張せらるべきものあらん。

孟宗竹は從來殆ど筍用にのみ栽植せられたるものなりしも、現今にては竹材としても相當價值あることを認められたるを以て、今後尙増殖するも、爲にその價格を落すことなかるべし。

作付反別三百町歩以上を有する府縣の統計

府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ 於ケル全國ノ產 額ニ對スル%
福 岡	1,103.5	1,577.8	143	423,036	331,520	5
京 都	1,061.6	1,482.4	140	953,462	1,759,032	27
熊 本	1,435.9	1,314.6	91	342,403	237,200	4
山 口	747.8	1,235.7	172	905,195	231,343	4
大 分	658.5	856.5	130	121,741	187,550	3
德 島	1,009.8	775.2	77	111,552	195,551	3
島 根	783.2	698.8	89	192,365	177,071	3
愛 媛	775.4	692.0	89	198,900	195,483	3
廣 島	479.5	566.7	118	151,012	154,463	2
高 知	342.4	540.0	158	77,628	104,232	2
岡 山	407.8	478.6	117	174,228	160,823	3
靜 岡	315.5	463.6	147	135,391	195,844	2
大 阪	318.1	428.6	135	442,748	479,216	7
兵 庫	300.0	356.5	110	161,588	164,896	3
茨 城	377.7	339.0	90	64,934	46,506	1
岐 阜	62.0	323.5	53	21,672	52,004	1

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方 名	作 付 反 別	價 額
京都府綴喜郡有智郷村	20町	15,675
" " 大住村	300	24,000
大阪府豊能郡熊野田村	40	80,000
" 三島郡 島本村	45	98,000
愛媛縣温泉郡湯山村桑原村地方	56	54,720

4 苺

苺は需用方面より之を見れば蔬菜としてよりも寧果實類として珍重す

べき價值を有す。晩春漸く缺乏せる果物界に獨り魁してその新鮮なる美果を供給するものは苺なり。

近年大に注目せらるゝ所となりたるは静岡縣下に於ける石垣栽培にして實に園藝業經營上の一異彩なり。

本種の栽培に最有名なるは、静岡縣清水市舊富士見村の一部及兵庫縣武庫郡鳴尾村にして、前者は上記石垣栽培に係り、その石垣面積1,200坪産額50,100圓、後者は主として普通露地栽培なるも、京、阪、神の大消費地を控へ最近の發達實に著しきものあり。栽培面積108町歩、産額155,000圓。

作付反別五町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	大正十三年ニ於ケル 作付反別	大正十三年ニ於ケル 價額	大正十三年ニ於ケル 全國ノ產額ニ對スル %
兵 庫	138.0	173,032	46
北 海 道	94.2	59,193	16
神 奈 川	27.5	33,292	9
德 島	21.3	11,901	3
山 口	14.8	11,869	3
千 葉	12.9	10,934	3
廣 島	10.3	6,940	2
愛 知	7.8	6,940	2
靜 岡	5.2	22,506	6

5 菜 豆

菜豆は従前農商務統計に加へられざりしが、その作付は元來相當の面積を占め。大正十三年農林省統計にては、實に蔬菜中第二位にあり。然れども本種は豌豆と同じく關東以西の地方にありては大部分莢菜豆として用ゆれども、全産額の約九割を占むる北海道に於けるものは、殆どその八乃至九割が種實用なるが故に、眞の蔬菜用としての菜豆は統計に表はれたるものの一少部分に止まるものと見るを得べし。然れども促成園藝に於て菜豆は最有利なる作物の一として夙に多く栽培せられつゝあるにも拘はらず此等は現在統計に計上せられざるものなり。

作付反別百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	大正十三年ニ於ケル 作付反別		大正十三年ニ於ケル 全國ノ産額ニ對スル %
	大正九年	大正十三年	
北海道	51,572.1	9,506,697	80
青森	423.5	84,475	1
茨城	356.2	70,628	1
岩手	308.6	59,405	1
秋田	308.6	61,977	1
宮城	298.0	54,345	1
長野	282.6	75,407	1
千葉	240.4	48,563	1
新潟	204.6	37,992	—
東京	164.0	113,251	1
福島	148.9	39,442	—
群馬	147.2	34,166	—
栃木	146.5	39,664	—
高知	142.2	19,436	—
埼玉	122.3	34,276	—

6 胡 瓜

胡瓜は統計上には北海道、新潟、茨城、東京、秋田等の如き地方がその主要なる産地の如く現はるゝも、實際に於て、胡瓜栽培地として名を知らるゝものは、却つて他の諸府縣に多し。例へば静岡、神奈川、千葉埼玉、廣島、京都等の如し。蓋し是等の諸府縣は早作り促成栽培等極めて集約なる栽培に巧妙なる技術を用ゐて有利なる經營の下に寧一局部地方に發達せるものなれば産地として周知せらるゝ割合に統計上の産額少き結果なるべし。

作付反別三百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ 於ケル全國ノ産 額ニ對スル%
北海道	1,611.1	1,421.4	88	1,919,468	841,562	7
新潟	818.5	891.6	109	488,262	593,144	5
茨城	703.0	725.3	103	659,505	581,028	4
東京	654.9	701.3	107	526,906	1,099,898	9
秋田	653.0	636.0	97	489,692	428,748	3
青森	613.3	543.5	89	414,681	337,201	3
福島	454.3	522.1	115	294,686	345,839	3
埼玉	526.2	516.5	98	456,165	459,297	4
栃木	533.3	511.4	96	459,628	371,123	3

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ 於ケル全國ノ産 額ニ對スル%
千葉	394.1	508.3	129	383,909	398,174	3
山形	411.4	502.7	122	281,611	375,039	3
宮城	929.1	411.0	96	307,405	222,185	2
岩手	383.5	399.2	104	245,441	249,742	2
群馬	316.0	386.1	123	358,750	361,303	3
大阪	290.7	381.1	128	302,504	454,600	4
静岡	304.2	353.1	116	277,647	438,331	3
福岡	255.8	324.3	127	216,686	257,824	2
神奈川	235.3	312.1	109	465,885	477,177	4
長野	263.0	306.6	117	372,875	296,139	2
鹿児島	231.3	302.1	131	174,119	232,004	2

作付反別六百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
新潟縣				
北蒲原郡	129.4	339,963	63,168	
中頸城郡	128.6	262,073	56,297	
中蒲原郡	121.2	399,950	103,990	
南蒲原郡	115.7	386,344	78,671	
西蒲原郡	85.4	384,300	69,174	
茨城縣				
東茨城郡	81.0	256,342	32,119	
猿島郡	80.6	631,121	122,298	
那珂郡	69.0	231,429	31,425	
新治郡	64.4	230,959	60,008	
多賀郡	61.5	188,190	48,929	
東京府				府下ヲ通シテノ増減ナシ
北多摩郡	154.0	592,900	118,581	
北豊島郡	137.0	1,137,100	216,049	
荏原郡	101.5	842,485	237,600	
豊多摩郡	75.7	378,500	113,550	
南葛飾郡	70.0	525,000	262,500	
秋田縣				
南秋田郡	96.9	242,250	48,450	
山本郡	81.2	132,850	59,783	
平鹿郡	80.8	282,800	67,870	

縣 郡 市	作付反別	收穫高	價 額	備 考
仙 北 郡	75.4	258,024	61,263	
由 利 郡	69.3	173,903	39,874	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方 名	作付反別	價 額	備 考
茨城県猿島郡古河地方	40	76,000	逐年増加
" 鹿島郡若松、矢田部地方	50	190,000	"
静岡県安倍郡久能村	50	184,500	増減ナシ
" 沼津市楊原	50	54,600	漸次増加
京都府京都市	38	64,100	
大阪府堺市	53	18,000	市=編入ノ結果多少減少
" 大阪市城北町	28	53,000	
兵庫縣明石市外大久保附近	64	66,929	漸次減少ノ傾向
奈良縣北葛城郡浮穴村	32	63,360	
" " 新庄町	40	79,200	
" 添上郡狭川村東山村東里村一圓	50	100,000	最近著シキ發達ヲナス
高知縣安藝郡沿海一帶	320	270,000	逐年増加
" 長岡郡沿海一帶	150	130,000	"
長崎縣北松浦郡吉井村		61,134	
" " 袖木村		68,247	
" " 笛吹村	521		
" " 江迎村	783		

特 産 地

地 名	摘 要
新潟縣刈羽郡西中通村	刈羽種
埼玉縣與野町	落合種
石川縣石川郡三馬村	金澤種
東京府荏原郡馬込村	馬込半白種
京都府久世郡三牧村	淀種 木框促成
福島縣會津地方	會津青節成種

7 越 瓜

越瓜は栽培困難なると、其需要普からざる爲、胡瓜の如く多く栽培せ

られざるも、その料理上の品位及用途に於ては寧胡瓜の上にあリ。殊に漬物の王とも稱すべき奈良漬は殆ど越瓜ならざるべからざるの觀あり、故に今後栽培管理及荷造輸送等に適切なる方法を講ずるを得ば尙大に栽培範圍を増大するを得べく、その早取栽培及抑制栽培等の如きは大に注目すべき事項なり。

作付反別百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセテ十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ多少全額ノ面積ニ對スル比
北 海 道	378.1	598.5	158	275,515	325,417	7
東 京 府	366.9	582.3	159	253,171	693,526	15
千 葉 縣	31.7	338.3	107	22,718	161,535	3
廣 島 縣	171.4	244.8	—	—	169,332	4
福 岡 縣	172.2	232.0	135	166,334	169,909	4
愛 知 縣	334.6	227.7	132	144,137	205,360	4
茨 城 縣	109.6	200.2	60	207,712	164,856	4
新 潟 縣	74.6	176.9	161	75,960	177,042	4
長 野 縣	113.9	164.6	221	112,980	211,710	5
兵 庫 縣	125.8	140.3	123	156,505	175,834	4
大 阪 府	104.6	135.6	108	231,478	171,472	4
大 崎 縣	102.2	123.4	123	89,617	146,995	3
滋 賀 縣	53.5	117.6	115	79,594	88,344	2
京 都 府	157.4	116.9	219	54,638	139,704	3
熊 本 縣	141.4	111.8	71	145,747	113,136	2
佐 賀 縣	—	111.4	79	48,977	105,768	3
山 口 縣	7	103.7	155	249	113,576	2

作付反別二百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
東 京 府				府下一般ニ増加ノ傾向ニシテ殊ニ南葛飾ハ遅蒔胡瓜ノ作付著シク増加ノ傾向ニアリ
南 葛 飾 郡	210.0	1,050,000	210,000	
豐 多 摩 郡	106.0	636,000	127,200	
南 足 立 郡	90.5	489,800	94,700	
北 豐 島 郡	80.3	485,815	92,305	
荏 原 郡	63.5	375,150	143,220	

郡市名	作付反別	收穫高	價額	備考
千葉縣				
印旛郡	51.0	172,812	35,935	
山武郡	48.4	174,793	41,911	
東葛飾郡	47.2	168,032	38,347	
香取郡	39.8	157,513	35,640	
千葉郡	27.7	72,851	18,941	
廣島縣				
廣島市	134.2	474,325	75,592	
高田郡	59.3	21,345	5,260	
賀茂郡	26.9	99,028	18,819	
安藝郡	17.1	64,635	13,405	
御調郡	12.9	60,060	12,340	
福岡縣				
山門郡	32.9	182,500	33,174	
八女郡	17.4	112,200	31,416	
粕屋郡	13.9	37,653	12,243	
遠賀郡	17.1	28,170	10,105	
宗像郡	17.1	16,940	6,776	
愛知縣				
名古屋市	33.9	107,650	44,635	
海部郡	30.4	91,675	26,083	
碧海郡	24.7	78,356	22,947	
中島郡	20.3	107,950	21,635	
幡豆郡	17.8	87,590	18,394	
茨城縣				
稻敷郡	44.1	128,296	36,663	
鹿島郡	34.6	84,889	23,550	
新治郡	31.0	111,857	26,224	
筑波郡	20.4	82,570	20,644	
北相馬郡	15.3	63,770	17,856	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地方	作付反別	價額
大阪市中島町	町 420	円 75,000
廣島市	108	155,013

特 産 地

地名	摘要
新潟縣高田市	高田越瓜
京都府葛野郡京極村	桂瓜
大分縣南海郡	佐伯越瓜(豐後大越瓜)
東京府南葛飾郡	早生越瓜
豊多摩郡	大越瓜

8 南 瓜

南瓜は夏蔬菜中作付反別に於て第二位價額に於て第三位を占め、全國一般に最普及せる作物の一なり。統計上十年來格別なる發達を見ざるも、大都會附近若しくは暖地に於ける早熟栽培は頗る有利なるものあり、栽培技術の進歩と共に品種の選擇等大に注目せられつゝあり。

作付反別三百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作付反別			價額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全額ノ產額ニ對スル%
北海道	7,823.3	6,231.9	80	4,062,545	3,223,573	23
長崎	834.3	743.4	89	334,311	298,298	2
千葉	658.2	734.3	112	632,274	693,708	5
新潟	586.3	639.6	109	356,946	409,161	3
愛知	688.6	639.5	93	574,949	500,317	4
東京	783.3	635.1	81	427,422	1,175,901	8
茨城	641.9	622.2	97	542,788	519,095	4
岡山	481.7	580.2	120	249,575	241,421	2
福岡	542.2	559.3	103	428,866	360,724	3
青森	521.8	540.6	104	231,346	262,712	2
熊本	512.1	508.7	99	364,958	415,360	3
鹿兒島	451.1	492.0	109	337,838	400,306	3
福島	443.7	421.5	95	320,902	281,213	2
靜岡	301.0	400.3	133	271,554	274,530	2
埼玉	410.2	382.7	93	319,415	327,590	2
栃木	328.0	374.0	114	220,025	210,269	2
長野	256.5	341.9	96	302,607	264,969	2
山形	232.8	339.8	116	180,714	209,930	1
秋田	318.5	339.3	107	184,996	223,621	2

府 縣 名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル 全額ノ產額ニ對スルノ%
群 馬	326.9	339.2	104	272,265	231,663	2
京 都	209.8	315.0	150	162,025	288,714	2
岐 阜	262.6	307.4	117	175,134	189,976	1
大 分	280.5	301.0	107	237,701	203,673	1

作付反別六百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額	備 考
長 崎 縣				(十二年度統計)
西 彼 杵 郡	176.7	574,563	63,747	
南 松 浦 郡	124.2	204,135	23,226	
北 松 浦 郡	122.4	368,335	57,793	
北 高 來 郡	66.1	18,609	36,570	
長 崎 市	15.5	50,375	7,556	
千 葉 縣				
君 津 郡	183.0	713,659	214,097	
東 葛 飾 郡	87.6	335,508	67,102	
印 旛 郡	82.5	294,425	72,587	
香 取 郡	69.6	239,250	63,142	
匝 瑛 郡	64.5	258,000	56,760	
新 潟 縣				
中 頸 城 郡	108.0	264,679	62,314	
西 蒲 原 郡	87.0	478,500	81,345	
北 蒲 原 郡	80.2	212,418	50,868	
中 蒲 原 郡	57.8	160,106	49,633	
東 蒲 原 郡	49.0	125,605	25,229	
愛 知 縣				
海 部 郡	91.1	315,733	62,409	
碧 海 郡	90.0	201,600	49,572	
名 古 屋 市	86.4	236,250	141,750	
中 島 郡	75.7	399,540	76,968	
西 春 日 井 郡	75.1	506,925	152,077	
東 京 府				
荏 原 郡	208.8	1,563,102	856,550	減少ノ傾向
北 豐 島 郡	176.6	773,508	146,967	"
豐 多 摩 郡	91.6	274,800	54,960	"
北 多 摩 郡	75.0	300,000	54,000	増加ノ傾向

郡 市 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額	備 考
大 島 部	62.5	118,125	49,613	
茨 城 縣				
猿 島 郡	114.6	511,420	140,256	
東 茨 城 郡	112.4	321,955	64,548	
那 珂 郡	56.7	186,760	33,515	
眞 壁 郡	55.3	188,144	44,662	
鹿 島 郡	46.7	125,180	32,768	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方	作 付 反 別	價 額	備 考
茨城縣猿島郡古河地方	68	87,525	
" 鹿島郡若松、矢田部地方	50	90,000	
岐阜縣稻葉郡島村	130	—	
愛知縣碧海郡新川村	80	56,000	
大阪府大阪市依羅町	48	72,000	減少ノ傾向
和歌山縣海草郡湊	110	106,540	
高知縣吾川郡長濱村	540	113,400	減少ノ傾向

特 産 地

地 名	摘 要
千葉縣安房郡神戸村	神戸南瓜 促成早熟ニ適ス
" 君津郡大貫村	黒皮南瓜
東京府荏原郡	居木橋種
京都府京都市鹿ヶ谷町	鹿ヶ谷南瓜
愛知縣西春日井郡	シキ南瓜
岐阜縣稻葉郡島村	島南瓜
静岡縣磐田郡見付町	見付南瓜
岡山縣上道郡	新泊南瓜
福岡縣築上郡三毛門村	三毛門種
福島縣北會津郡	會津早生小南瓜 早作、促成ニ適ス

9 西 瓜

西瓜の栽培は最近非常の増加にして品種の如きも大に向上し、漸次少數の優良種を以て統一せらるゝの状況にあり。

奈良縣及其他一二の地方に於ける發展に倣ひ各地に於て其栽培を増加し現今の盛況を呈せるも、現況は寧健實なる發達をなせるものと言ひ難く、品種の選擇及栽培管理の改良と販路の研究とに注意せざれば有利なる經營を持続すること困難なるべし。

作付反別二百五十町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額			備 考
	大正九年	大正十三年	大正九年ノ 100ト七ノ十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル 全國ノ産額ニ對スル	
北海道	722.5	1,141.4	158	635,747	829,869	5	
奈良	176.9	1,127.2	637	450,500	1,425,834	9	
新潟	481.6	715.7	149	326,491	653,030	5	
愛知	568.0	671.1	118	699,351	868,564	6	
熊本	420.0	655.1	156	803,120	1,106,779	7	
千葉	420.0	645.3	154	604,342	794,134	5	
大阪	270.5	485.2	179	688,477	991,033	6	
鹿兒島	402.0	481.6	120	508,145	702,914	5	
富山	160.3	466.6	291	267,141	546,233	4	
茨城	313.2	458.2	146	353,531	514,481	3	
鳥取	128.4	423.0	330	181,517	422,523	3	
福岡	175.6	413.0	235	294,962	442,868	3	
山形	190.9	332.6	174	132,620	272,957	2	
長崎	178.4	322.0	181	181,871	310,923	2	
兵庫	173.8	300.5	173	353,922	571,749	4	
東京	178.7	257.5	144	175,662	585,275	4	

作付反別六百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
奈良縣				(大正十二年度統計)
磯城郡	246.4	1,172,964	469,146	
山邊郡	195.0	1,095,000	367,600	
生駒郡	85.5	505,081	165,910	
添上郡	98.5	451,330	133,901	
北葛城郡	53.7	303,778	119,754	
新潟縣				
西蒲原郡	341.2	2,320,160	348,024	
北蒲原郡	149.3	209,125	57,683	
中頸城郡	41.2	94,401	28,370	

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
刈羽郡	65.2	36,270	9,067	
南魚沼郡	14.4	61,620	17,607	
愛知縣				
碧海郡	300.0	2,045,616	450,836	
中島郡	141.1	763,656	318,777	
海部郡	63.3	217,533	54,105	
幡豆郡	54.3	310,690	80,779	
知多郡	45.3	110,984	30,797	
熊本縣				
飽託郡	153.0	948,600	350,982	大正12年ノ統計ニヨ レバ本縣ノ西瓜作付 反別ハ全國第二位年 々増加ノ傾向ニシテ 多ク北九州ニ移出ス
八代郡	58.6	152,360	60,944	
上益城郡	58.0	73,538	32,784	
鹿木郡	44.9	557,270	195,044	
天草郡	38.9	272,300	133,150	
千葉縣				
千葉郡	120.9	536,796	161,039	
長生郡	103.2	428,280	128,484	
東葛飾郡	94.8	360,230	108,072	
匝瑳郡	79.5	373,650	185,940	
印旛郡	70.2	365,316	105,352	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方	作付反別	價 額	備 考
愛知縣安城町並依佐養村	150	3,000,000	漸次増加
大阪府大阪市敷津町	35	52,500	市ニ編入ノ結果多少減少
奈良縣生駒郡南部地方	70	140,000	
" 磯城郡柳本町	50	107,600	
" " 川東村	70	150,700	
" " 川西村	25	53,700	
" " 多村	45	96,790	
" " 甚成村	25	53,750	
" 山邊郡二階堂村	118	162,840	
" 添上郡治道村	30	59,000	
和歌山縣海草郡湊	26	61,400	
三重縣鈴鹿郡石薬師村地方	50	105,000	益々増加ノ見込

地 方	作付反別	價 額	備 考
茨城県鹿島郡若松、矢田部、輕野地方	164	203,149	
" 那珂郡前渡村地方	93	72,524	

特 産 地

地 名	摘 要
奈良縣磯城郡	大和西瓜
千葉縣匝瑳郡干潟	品種一定セブ
東京府荏原郡	アイスクリーム
愛知縣丹羽郡	傳法寺種
静岡縣三方原	品種一定セブ

10 甜 瓜

甜瓜は夏期の生食用果菜として西瓜と匹敵すべきものなれども、その栽培の比較的困難なること、その風味は最新鮮なる完熟果にのみ存すること、荷造輸送に耐へざる爲と、及その清涼的嗜好品として遠く彼に劣れる等の關係上西瓜の如く需要増進せず従て其栽培亦増加せず。優良なる外國種メロンの輸入又は交雜等により我風土に適應せる優良種の出現あらざる限り格別なる進展を見るべしとも思はれず。

作付反別百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額			
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセシ十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	*正十三年ニ於ケル全國ノ產額ニ對スル%	
北 海 道	597.3	676.9	113	366,343	450,058		12
愛 知 縣	422.7	549.8	130	366,113	509,494		14
新 潟 縣	225.0	272.5	121	117,438	163,492		4
青 森 縣	192.1	263.5	132	89,472	167,776		5
茨 城 縣	189.4	206.1	109	190,375	204,908		6
秋 田 縣	154.2	182.8	119	114,788	111,422		3
千 葉 縣	193.1	156.8	81	194,996	147,452		4
大 阪 府	106.8	139.6	131	158,735	198,852		5
山 形 縣	101.5	138.9	137	78,451	82,259		2
宮 崎 縣	118.5	132.1	111	135,118	122,651		3
兵 庫 縣	87.7	116.7	133	162,293	165,836		4
靜 岡 縣	51.3	116.3	227	33,329	68,407		2
山 口 縣	63.3	101.3	160	62,258	89,693		2

作付反別二百町歩以上を有する府縣の主要郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收 穫 高	價 額	備 考
愛 知 縣				
中 島 郡	99.3	485,560	152,683	
名 古 屋 市	76.3	283,180	103,268	
海 部 郡	50.7	108,924	27,303	
碧 海 郡	48.3	132,316	45,732	
丹 羽 郡	37.4	50,830	22,340	
新 潟 縣				
南 蒲 原 郡	56.3	162,044	33,487	
西 蒲 原 郡	48.4	242,000	38,720	
中 頸 城 郡	44.3	65,426	14,426	
北 蒲 原 郡	40.5	107,584	21,950	
中 蒲 原 郡	28.8	59,040	20,664	
青 森 縣				(十二年度ノ統計)
中 津 輕 郡	101.5	334,950	50,242	
南 津 輕 郡	68.4	207,780	34,365	
北 津 輕 郡	55.4	137,500	23,275	
三 戸 郡	34.4	137,565	29,231	
西 津 輕 郡	25.9	51,800	19,684	
茨 城 縣				
真 壁 郡	55.9	135,150	36,110	
鹿 島 郡	38.1	104,195	30,984	
久 慈 郡	29.8	122,478	51,441	
稻 敷 郡	28.5	65,828	25,955	
猿 島 郡	18.9	61,740	20,961	

11 茄 子

茄子は夏作蔬菜中頗る重要な地位を占め、殆ど秋作に於ける大根にも匹敵すべし。

茄子は青枯病及偽瓢蟲の被害少からず、爲に地方により之が栽培は著しく制限せらる。然れども一般的に之を見るときは連作せざる限り如何なる土質も嫌忌することなくその風土に適應することの強きこと寧大根以上なるを以て其栽培普及し狭小なる自家用栽培等の統計に漏れたるものをも通算せば其産額は蓋し莫大なるものあるべし。

作付反別四百五十町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作付反別			價 額			備 考
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 全國ノ産額ニ對 スル%	
新潟	1,431.7	1,630.9	114	925,371	1,217,324	5	
湯城	1,550.6	1,466.8	95	1,134,618	890,307	4	
北海	1,395.0	1,215.5	87	1,967,488	830,639	4	
千代田	897.8	994.8	111	559,031	546,420	2	
埼玉	1,197.4	943.9	83	910,434	776,689	3	
愛知	1,904.7	943.9	94	680,061	649,400	3	
東京	1,264.2	938.4	74	1,031,330	1,850,612	8	
栃木	927.3	873.2	94	769,221	534,045	4	
群馬	938.1	861.5	92	1,068,247	711,626	3	
群馬	871.6	857.0	98	608,428	708,456	3	
福島	467.0	791.8	170	525,035	599,364	3	
山形	739.6	766.6	104	779,810	679,561	3	
宮城	599.9	672.0	112	574,376	576,181	3	
長野	675.4	663.4	98	567,784	470,252	2	
静岡	586.5	623.6	107	547,746	699,663	3	
岐阜	700.2	618.1	88	471,878	439,508	2	
青森	612.2	602.2	98	405,196	463,247	2	
京都	549.3	570.9	104	333,160	509,897	2	
鹿兒島	523.1	551.8	103	422,148	726,258	3	
神奈川	488.3	535.0	110	402,827	540,844	2	
三重	598.5	520.7	87	401,509	410,466	2	
大分	562.7	516.3	92	436,716	385,598	2	
熊本	441.8	513.2	116	429,501	440,331	2	
大熊	577.3	495.2	86	651,418	542,604	2	
大熊	517.5	484.3	93	923,239	727,986	3	
大熊	493.1	483.2	104	538,201	474,457	2	
大熊	541.8	473.0	87	404,025	371,615	2	
大熊	473.0	470.4	99	309,488	290,459	1	

作付反別九百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
新潟縣				
南蒲原郡	314.6	664,711	224,993	
中頸城郡	189.4	449,598	89,053	
西蒲原郡	177.8	1,066,800	213,360	
北蒲原郡	176.6	450,443	101,257	

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
中蒲原郡	156.1	452,690	113,173	
茨城縣				
東茨城郡	188.6	580,535	89,180	
新治郡	164.4	690,695	112,742	
久慈郡	137.0	568,550	102,237	
稻敷郡	115.9	407,701	81,091	
那珂郡	112.9	400,881	73,105	
千葉縣				
東葛飾郡	194.8	475,056	87,750	
香取郡	111.2	426,174	77,515	
印旛郡	103.5	396,445	55,866	
山武郡	89.6	399,544	51,937	
君津郡	85.4	264,052	39,644	
埼玉縣				
北足立郡	18.2	947,960	218,030	
入間郡	16.5	643,500	160,875	
南埼玉郡	14.0	349,239	110,888	
大里郡	13.3	570,800	53,080	
北埼玉郡	12.6	624,729	99,257	
愛知縣				
名古屋市	124.0	794,250	198,763	
海部郡	106.5	422,274	29,381	
碧海郡	87.7	354,380	53,146	
中島郡	49.6	528,664	69,449	
知多郡	71.5	155,014	23,483	
東京府				
北豐島郡	210.2	1,034,184	230,597	市隣接郡ハ減少ノ傾向ナルモ北多摩郡等ニアリテハ増加ノ傾向、故ニ府下ヲ通シテハ増加ナシ
荏原郡	190.8	1,409,135	422,740	
豐多摩郡	158.7	1,005,200	201,040	
北多摩郡	135.5	514,900	128,725	
南足立郡	210.2	669,250	120,465	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方	作付反別	價 額	備 考
石川縣能美郡御幸、牧、安宅、根上、湊、板津、川北ノ各村ニ亘ル集團	61	76,720	増加ノ傾向

地 方	作付反別	價 額	備 考
山梨縣中巨摩郡常永村	320	29,450	
〃 〃 西條村	280	26,600	
京都府京都市	62	124,200	
大阪府大阪市黒江町	52	64,000	市ニ編入ノ結果減少
兵庫縣明石市	15	57,915	漸次減少
廣島縣廣島市	75	70,000	

特 産 地

地 名	摘 要
岩手縣盛岡市附近	南部長茄子
秋田縣河邊郡	河邊長茄子 青枯病ニ絶對抵抗性
山形縣東田川郡黄金村	民田茄子
新潟縣魚沼郡城内村	魚沼巾着種 青枯病抵抗性
埼玉縣北足立郡	眞黒茄子
東京府	山茄子
静岡縣清水市三保	折戸茄子 早生 促成ニ用キラレ
〃 濱名郡	濱名早生 早生 〃
愛知縣西春日井郡清洲町	橋田茄子
京都府愛宕郡	茂木茄子
愛知縣西春日井郡清洲町	中生千成 促成ニ用キラレ
三重縣安濃郡	古河茄子 青枯病ニ強シ
石川縣石川郡三馬村	蒂紫
宮崎縣兒湯郡新田村	佐土原長茄子
福岡縣久留米市	久留米長茄子
山口縣吉敷郡大藏村	矢原長茄子 青枯病ニ強シ
熊本縣熊本市	熊本市着茄子

12 蕃 茄

蕃茄は純生食果菜にしてその多汁にして、且つチアスターゼの含量極めて多きは夏期の清涼的食料たるに最好適す。而してその加工品ケチャップ及ソースは漸次邦人の消費を促進し生産過剰を調節す。本種は一種の嗜好品的性質と保健衛生消化劑たるの特性を有するが爲に市街住宅に於ける狭き庭内にも數株の栽植を見らるゝものにして實際統計上の數字は過少なるべし。

蕃茄は今日尙之を食せざるもの、食し得ざるものあり、然れどもその特異なる性質の一般に了解せらるゝに従ひ今後大に其産額を増加すべし。

作付反別十町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
北海道	67.1	134.5	201	50,330	117,314	23
愛知	15.6	64.3	412	14,244	39,916	9
神奈川	19.0	41.0	216	43,489	32,959	8
茨城	15.6	30.2	193	13,126	17,514	4
東京	8.2	28.3	345	18,605	44,292	10
兵庫	3.2	14.9	466	7,003	35,639	8
和歌山	0.9	13.2	147	222	15,606	4
沖繩	0.6	11.7	195	514	33,340	8
宮城	0.4	11.4	285	108	5,024	1
長野	3.8	10.8	292	3,449	6,248	1

13 蘿 蔔

蘿蔔は蔬菜の代表者とも稱すべく、吾人の日常生活に甚大なる關係を有す。一般的には其栽培頗る容易なる爲、自家用栽培に於ては幾分濫作し粗放に流るるの傾向あり。若し自重周到之が栽培に注意せんか現今の作付反別を減少するも尙生産額を増加し、而も品質優良なるものを得るに至るべし。

作付反別二千五百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
北海道	6,203.8	6,042.0	97	3,154,110	2,899,365	5
新潟	6,035.6	5,726.9	95	2,856,537	2,712,051	5
愛知	5,101.7	4,629.3	91	2,114,661	1,877,807	3
鹿兒島	3,036.3	3,690.8	122	1,820,796	2,146,767	4
秋田	3,523.2	3,572.7	101	2,482,947	2,234,197	4
福島	4,121.3	3,462.6	84	2,026,467	1,877,825	3
東京	4,267.8	3,418.5	82	3,351,555	6,434,385	11
静岡	3,190.5	3,399.1	107	1,558,361	1,840,491	3
兵庫	3,442.8	3,251.2	94	1,411,904	1,588,521	3
廣島	2,559.9	3,238.0	126	1,447,732	1,384,745	2
宮城	3,786.7	3,036.1	81	1,327,201	1,286,111	2

道府縣名	作付反別			價 額		
	大正九年	大正十三年	正九年ヲ 十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	正十三年ニ於テ 全國ノ産額ニ對 スル%
福 岡	2,397.8	3,020.0	126	2,704,559	1,761,893	3
山 口	3,036.6	2,800.1	92	1,709,798	1,64,607	3
岩 手	2,395.0	2,664.6	81	1,429,297	1,072,740	2
茨 城	3,052.4	2,624.0	86	1,863,711	1,404,384	2
熊 本	2,628.0	2,549.3	97	1,779,436	1,235,826	2
長 崎	2,646.4	2,541.9	96	1,569,492	1,109,270	2
長 野	2,418.6	2,505.0	146	1,701,835	1,321,615	2

作付反別三千四百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收 穫 高	價 額
新 潟 縣	町	百	百
北 蒲 原 郡	668.3	3,203,832	357,619
中 頸 城 郡	612.9	2,190,567	189,260
中 蒲 原 郡	587.3	205,555	308,332
西 蒲 原 郡	541.5	3,249,900	129,960
中 魚 沼 郡	426.6	1,003,111	1,055
愛 知 縣			
中 島 郡	829.1	7,536,189	377,168
知 多 郡	609.5	3,692,545	320,653
碧 海 郡	436.8	2,459,200	196,735
渥 美 郡	265.1	1,875,850	11,803
西 春 日 井 郡	239.0	2,151,000	193,590
鹿 兒 島 縣			
鹿 兒 島 郡	111.6	722,850	65,312
出 水 郡	96.5	433,320	56,203
大 島 郡	95.3	253,424	49,860
薩 摩 郡	94.6	453,710	94,532
日 置 郡	83.9	402,720	60,403
秋 田 縣			
北 秋 田 郡	545.4	1,859,919	196,972
南 秋 田 郡	502.5	2,025,516	321,083
山 本 郡	386.7	1,282,742	230,893
仙 北 郡	379.5	1,813,456	275,538
平 鹿 郡	273.9	1,119,800	188,765
福 島 縣			

郡 市 名	作付反別	收 穫 高	價 額
耶 麻 郡	町	百	百
耶 麻 郡	282.5	1,675,700	218,041
大 沼 郡	280.2	1,597,678	255,628
安 達 郡	271.5	935,891	103,352
安 積 郡	214.0	730,951	101,508
南 會 津 郡	167.0	1,202,276	111,091
東 京 府			
北 豐 島 郡	1,416.8	19,126,800	4,207,893
豐 多 摩 郡	679.4	5,774,900	750,737
荏 原 郡	587.5	4,106,500	533,415
北 多 摩 郡	198.9	2,486,250	223,763
南 多 摩 郡	173.5	1,515,668	237,838

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方	作付反別	價 額	備 考
山口縣吉敷郡南部嘉川村以西ノ地方	町	百	
山口縣吉敷郡南部嘉川村以西ノ地方	619	336,620	
廣島縣安佐郡三篠町	78	66,480	
北海道琴似村	185	97,125	
伊達村	145	54,581	
龜田村	308		
大阪府大阪市田邊町	30	53,000	市ニ編入ノ結果多少減少
依羅町	75	90,000	"
泉北郡東陶器村	95	114,000	増減ナシ
和歌山縣海草郡松江	35	54,180	
湊	115	76,486	
德島縣板野郡藍野村	181	108,540	
名西郡藍畑村	100	47,250	
岐阜縣稲葉郡島村	195		
静岡縣濱名郡富塚村	107	57,673	増加ノ傾向
安倍郡豊田村	50	54,000	"
三重縣三重郡四郷村地方	100	40,000	近來激増
鈴鹿郡石薬師村地方	138	56,000	"
神奈川縣中郡大野村	100	100,000	
福岡縣山門郡瀬高町	150	50,000	漸次増加
久留米小森野、高野町	100	69,000	
長崎縣東彼杵郡西大村	500	50,000	
北松浦郡平戸町		52,123	

特 産 地

地 名	摘 要
東京府北豊島郡練馬	練馬大根
愛知縣西春日井郡春日村	宮重大根
〃 海部村甚目寺村	方領大根
〃 西春日井郡清洲町	春福大根
〃 〃 〃	美濃早生大根
新潟縣中蒲原郡大形村	津島屋大根
京都府京都市	聖護院大根
鹿兒島縣櫻島	櫻島大根
岐阜縣稲葉郡島村	守口大根
奈良縣生駒郡筒井村	白上り大根
東京府北豊島郡三河島村	二年子大根
福岡縣粕屋郡箱崎町	四十日大根

14 蕪 菁

蕪菁は高尚なる風味を有するも、その性質大根を以て代用せらるゝ場合多きと、貯藏に適せざる等の爲にその栽培は十年一日の觀あり。

作付反別二百五十町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 全額ノ產額ニ對 スル%
北海道	1,183.7	712.1	60	563,593	321,879	6
新潟縣	541.9	507.0	93	211,032	222,920	4
岐阜縣	560.2	464.8	83	193,806	203,122	4
岩手縣	353.0	416.5	118	118,917	146,310	3
東京府	343.3	376.9	110	343,071	411,009	7
滋賀縣	411.3	373.1	91	189,336	186,236	3
福岡縣	329.5	361.1	110	197,227	261,806	5
青森縣	460.5	348.5	76	133,754	169,589	3
熊本縣	225.9	320.1	140	134,259	185,026	3
島根縣	323.2	318.4	99	121,977	130,248	2
高知縣	307.2	305.4	99	93,352	141,716	3
兵庫縣	279.1	302.0	108	159,708	154,304	3
愛知縣	312.0	299.0	96	144,789	170,159	3
山形縣	323.9	293.7	91	123,208	152,032	3

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 全額ノ產額ニ對 スル%
山口縣	279.7	279.3	100	152,744	164,529	3
秋田縣	343.3	274.5	80	167,022	132,191	2
京都府	302.6	273.4	90	128,014	230,260	4
大阪府	221.4	256.2	116	349,582	231,012	4

作付反別三百七十町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
新潟縣				
北蒲原郡	81.6	193,692	30,320	
中蒲原郡	79.8	183,928	36,706	
中頸城郡	65.8	143,928	28,786	
西蒲原郡	47.5	166,250	16,625	
南魚沼郡	46.8	148,319	23,484	
岐阜縣				
大野郡	58.8	221,670	27,194	
郡上郡	51.7	175,976	18,121	
益田郡	48.3	110,405	23,185	
加茂郡	47.7	140,095	17,071	
武儀郡	40.1	144,430	13,303	
岩手縣				(十二年度ノ統計)
九戸郡	141.2	589,984	44,617	
下閉伊郡	86.4	305,862	30,606	
岩手郡	56.4	21,946	33,856	
二戸郡	58.1	180,880	25,128	
上閉伊郡	23.1	134,784	16,655	
東京府				
南葛飾郡	160.0	720,000	216,000	府下ヲ通シテ著シキ増減ナキモ 荏原郡ニ於ケル中蕪菁及南葛飾 郡ニ於ケル小蕪菁ノ覆播栽培ノ 如キハ増加ノ傾向ニアリ
南足立郡	74.7	425,950	63,342	
荏原郡	69.0	294,520	58,704	
北豊島郡	23.2	84,600	33,840	
豊多摩郡	15.8	60,830	12,166	
滋賀縣				
野洲郡	50.9	184,120	25,639	
甲賀郡	43.0	169,145	28,005	
高島郡	41.4	154,389	23,158	
蒲生郡	38.0	146,149	15,193	増減ナシ

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
愛知郡	33.1	95,311	9,660	増減ナシ

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方	作付反別	價 額
大阪府大阪市島町	65	72,000

特 産 地

地 名	摘 要
京都府京都市	聖護院蕪
滋賀縣大津市	近江蕪
大阪府西成郡(主産地)	天王寺蕪
愛媛縣温泉郡	伊豫絳蕪
新潟縣西蒲原郡	寄居蕪
島根縣八束村津田村	津田蕪
奈良縣添上郡東山村今市	今市蕪

15 胡 蘿 蔔

統計上明治三十八年以來殆ど増加の跡を認められざるは本種が甚普通なる作物なると共に其需要も亦格別の變化なく且人口の増加に伴ふて當然増加すべき種の必需蔬菜とも稱し難きが爲ならん。但し胡蘿蔔は輸送貯蔵に耐ふるが故に、市場に遠き地方と雖品種及地味の選擇並に栽培法の改良によりて優品を産するを得ば相當有利なる經營をなすに難からざるべし。

又本品は古來其の榮養的價値を知られ、殊に今日にては葉菜に於ける菠薐草と相俟ちてビタミンAを最多量に含むものとして保健上一層注目せらるゝに至り、蔬菜としての位置を高めたれば今後は従前に比し幾分の増額を見るに至るべし。

作付反別二百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
北海道	1,460.9	1,535	99	1,116,825	952,978	13
靜岡	511.8	605.5	118	432,256	455,082	6

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
茨城	618.9	599.9	97	447,609	397,642	5
埼玉	436.8	489.9	106	296,019	405,825	5
千葉	413.2	425.6	103	226,567	259,991	3
東京	672.4	389.9	58	676,119	572,134	8
福島	324.7	343.8	106	193,541	228,916	4
愛知	350.7	311.6	89	278,510	281,054	4
岐阜	369.5	309.7	84	296,777	223,767	3
群馬	292.1	299.6	102	190,435	185,411	3
新潟	265.9	298.5	112	141,185	192,796	3
神奈川	250.6	293.2	117	115,728	270,102	4
青森	264.7	254.1	96	171,606	191,955	3
長野	245.1	246.3	100	246,460	191,399	3
熊本	217.2	207.0	95	125,360	140,291	2
岩手	188.3	295.2	107	132,008	129,763	2

作付反別三百五十町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
靜岡縣				
岡 方 郡	234.0	591,226	183,590	増減ナシ
濱 名 郡	66.1	264,400	79,220	〃
駿 東 郡	66.0	274,889	65,973	漸次増加
磐 田 郡	58.0	174,000	43,500	増減ナシ
富 士 郡	43.3	147,360	39,787	〃
茨 城 縣				
那 珂 郡	76.7	169,300	35,543	
猿 島 郡	61.1	189,370	47,227	
新 治 郡	56.4	160,408	39,754	
眞 壁 郡	53.2	154,230	38,570	
鹿 島 郡	45.7	108,408	20,008	
埼 玉 縣				
北 足 立 郡	23.4	770,550	231,165	増加ノ趨勢
入 間 郡	9.5	257,580	77,274	
大 里 郡	4.7	94,400	33,040	
北 埼 玉 郡	3.0	69,185	33,211	
南 埼 玉 郡	2.9	48,019	14,572	
千 葉 縣				

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
印 旆 郡	78.9	149,947	34,135	
東 葛 飾 郡	68.7	137,400	41,220	
千 葉 郡	61.9	167,130	43,454	
香 取 郡	40.0	91,839	25,065	
夷 隅 郡	31.6	63,200	18,960	
東 京 府				
北 豊 島 郡	210.8	843,200	379,440	市隣接郡ノ耕地減少虫害多キコト等ノ關係ニヨリ作付反別ハ近年著シク減少セリ又在來ノ瀧ノ川種ノ栽培衰へ洋種、大長、札幌、三寸等ノ品種之ニ代リ増加セリ
北 多 摩 郡	54.5	218,000	47,960	
南 葛 飾 郡	35.0	175,000	61,250	
南 多 摩 郡	32.3	76,283	27,460	
荏 原 郡	21.9	87,830	17,560	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方 名	作 付 反 別	價 額
静岡縣田方郡錦田村	120	81,572
埼玉縣北足立郡白子、膝折、新倉附近	82	92,400
愛知縣丹羽郡布袋町及千秋村地方	60	55,000

特 産 地

地 名	摘 要
北海道石狩國札幌郡札幌村	札幌人參
大阪府西成郡今宮	金時人參
東京府北豊島郡	瀧野川人參
岡山縣御津郡牧石村	中原人參
長野縣諏訪郡長地	東京大長人參 主ニ採種

16 牛 蒡

牛蒡は我國固有の蔬菜にして適應性に富み、全國到る所に栽培せらる輸送貯藏に耐へ、而も栽培法によりては、殆ど年中新鮮物を供給し得るが故に、その適地に於ては常に有利なる經營をなすを得。今や大市場に於ては遠隔地よりの供給を以て充され附近の生産地は爲に脅さるゝに至れり。最近その栽培面積順位は全蔬菜中の第十位にあるも、價額に於ては第四位に當り、頗る重要なる位置を占め、明治三十八年の 10,821 町に對し大正十三年は 16,216 町その反當收入は常に胡蘿蔔の上にある。

作付反別三百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ此全額ノ産額ニ對スル%
北 海 道	1,531.8	1,402.3	93	1,433,449	1,196,106	7
茨 城 縣	855.8	947.5	111	937,777	854,536	5
東 京 府	648.9	815.4	131	174,657	1,336,491	8
千 葉 縣	646.1	736.6	141	424,161	497,403	3
埼 玉 縣	683.6	732.9	107	651,051	759,984	5
廣 島 縣	313.6	599.6	191	477,587	516,813	3
新 潟 縣	509.5	560.7	110	388,021	451,546	3
群 馬 縣	405.9	534.6	131	377,388	416,629	3
福 島 縣	454.1	528.8	116	406,911	383,875	2
福 岡 縣	479.3	503.2	105	495,479	567,785	4
長 野 縣	469.7	477.5	102	651,445	454,537	3
愛 知 縣	343.2	471.8	137	376,961	473,578	3
靜 岡 縣	298.0	467.3	157	466,511	433,382	3
栃 木 縣	455.3	417.2	92	466,483	358,787	2
神 奈 川 縣	373.9	389.6	104	291,684	445,031	3
秋 田 縣	432.0	330.9	77	410,147	290,245	2
愛 媛 縣	343.2	321.0	94	376,961	318,899	2
宮 城 縣	329.7	318.1	97	273,556	277,087	2
青 森 縣	241.0	304.0	126	223,956	273,082	2

作付反別五百九十町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
茨 城 縣				
那 珂 郡	133.9	500,000	109,886	
東 茨 城 郡	129.9	433,121	107,144	
新 治 郡	83.7	305,713	89,033	
眞 壁 郡	71.7	222,440	55,065	
猿 島 郡	66.7	261,490	67,235	
東 京 府				
北 豊 島 郡	447.6	1,790,400	859,392	市ニ隣接スル郡ニ於テハ局部的ニ作付減少セルモノアルモ府全體トシテハ増加ノ傾向ナリ殊ニ北豊島郡練馬地方ヨリハ關西地方ニ移出スル量少カラズ。
北 多 摩 郡	132.8		209,160	
豊 多 摩 郡	97.5	287,625	100,669	
大 島 郡	46.7		36,356	
荏 原 郡	46.3	161,380	64,300	

郡市名	作付反別	收穫高	價額	備考
千葉縣				
印旛郡	230.1	599,054	136,644	
東葛飾郡	118.6	272,780	76,378	
香取郡	74.2	267,088	60,502	
千葉郡	63.7	203,940	57,075	
夷隅郡	58.6	169,910	42,485	
埼玉縣				
北足立郡	23.5	801,720	288,619	一般ニ増加ノ傾向アレドモ從來ノ主産地タル北足立郡南部ニ於テハ多少減少シツツアリ栽培地ハ次第ニ北進シ同郡北隣タル入間郡方面ニ著シキ増加ヲナシツツアリ
入間郡	17.0	488,768	171,066	
大里郡	8.0	359,100	125,685	
南埼玉郡	7.7	187,948	51,007	
北埼玉郡	5.8	195,528	51,813	
廣島縣				
安佐郡	47.6	228,870	42,350	
佐伯郡	18.0	59,115	21,741	
安藝郡	13.7	49,695	11,956	
廣島市	10.2	55,794	14,506	
御調郡	8.4	34,140	7,228	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地方名	作付反別	價額
茨城縣東茨城郡飯富村	100	100,000
久慈郡幸久村	50	50,000
埼玉縣北足立郡白子、膝折、新倉附近	250	318,600
千葉縣印旛郡八街町	154	77,620
静岡縣濱名郡飯田村	44	75,278

特産地

地名	摘要
岩手縣盛岡市附近	南部白牛蒡
埼玉縣南埼玉郡内牧村梅田	梅田牛蒡
千葉縣匝瑳郡匝瑳村大浦	大浦牛蒡
東京府北豐島郡	瀧野川牛蒡
茨城縣那珂郡俣田村、結城郡三妻村	東京大長牛蒡(瀧ノ川系)
静岡縣濱名郡飯田村	天龍牛蒡

地名	摘要
奈良縣宇陀郡	大和牛蒡
石川縣能美郡寺井村	寺井牛蒡
鳥取縣岩美郡富桑村行徳	行徳牛蒡
大分縣大分郡高田村	高田牛蒡

17 里 芋

里芋は全蔬菜中反別に於て第三位、價額に於て第二位を占め、その早取品の如き各地に於て栽培せられ、早熟栽培品中看過すべからざるものあり。然れどもその普通の栽培品にありては常食的に供用せらるゝもの少からず。

作付反別千町以上を有する府縣の統計

府縣名	作付反別			價額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
栃木	3,972.5	3,421.8	86	2,243,899	1,682,355	5
千葉	2,302.6	3,055.5	133	1,236,672	1,528,611	4
茨城	3,656.4	2,926.9	80	1,832,440	1,469,639	5
埼玉	4,402.8	2,811.1	64	2,040,715	2,390,258	7
群馬	2,933.2	2,480.9	85	1,290,141	1,327,481	4
静岡	2,564.1	2,250.1	88	1,438,323	1,396,747	4
鹿兒島	1,566.7	2,044.5	151	738,275	1,371,207	4
神奈川	2,424.8	2,012.4	83	1,712,481	1,287,079	4
福岡	2,667.8	2,005.0	75	1,588,847	1,269,710	3
熊本	2,265.5	1,975.8	87	1,678,826	1,541,974	4
岐阜	2,435.7	1,908.3	78	1,405,874	1,161,859	3
新潟	2,236.2	1,884.4	84	1,002,467	1,389,860	4
東京	2,337.2	1,860.8	80	1,623,688	1,894,317	5
愛知	1,967.0	1,778.5	90	1,501,925	1,406,349	4
宮崎	1,790.7	1,597.6	89	864,572	808,525	2
愛媛	1,336.5	1,281.2	94	988,710	1,158,062	3
徳島	1,565.4	1,275.7	81	876,936	765,750	2
福岡	1,348.9	1,268.6	94	675,317	888,188	2
大分	1,747.7	1,117.0	67	929,808	956,057	3
三重	1,571.1	1,088.3	69	848,436	595,199	2
高知	1,383.5	1,059.5	77	479,331	423,493	1

作付反別二百二十町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
栃 木 縣				
下 都 賀 郡	744.9	3,549,975	496,122	現状維持ノ状勢
那 須 郡	724.0	2,017,684	338,371	"
河 内 郡	669.0	2,073,900	373,302	"
上 都 賀 郡	450.5	1,613,400	268,070	"
鹽 谷 郡	319.5	992,350	137,242	"
千 葉 縣				
印 旆 郡	725.0	1,458,318	322,356	
東 葛 飾 郡	673.7	1,010,550	282,950	
千 葉 郡	605.4	1,816,200	381,402	
香 取 郡	251.7	431,130	103,471	
君 津 郡	211.8	516,832	108,726	
茨 城 縣				
猿 島 郡	557.7	839,090	129,507	
那 珂 郡	356.2	823,952	157,983	
東 茨 城 郡	273.3	762,824	118,420	
結 城 郡	226.4	504,790	58,843	
久 慈 郡	557.7	1,832,250	333,736	
埼 玉 縣				
入 間 郡	86.5	3,512,306	1,229,307	増加ノ趨勢
北 足 立 郡	83.1	2,494,200	623,550	"
南 埼 玉 郡	23.6	538,106	122,264	"
大 里 郡	23.2	696,000	139,200	"
北 埼 玉 郡	19.6	609,920	140,282	"
群 馬 縣				
勢 多 郡	511.4	1,397,915	332,919	
群 馬 郡	368.6	663,743	163,471	
碓 氷 郡	367.9	813,250	184,805	
北 甘 樂 郡	259.6	432,725	85,815	
多 野 郡	232.0	556,800	94,656	
群 岡 縣				
駿 東 郡	427.0	1,067,500	213,500	増減ナシ
富 七 郡	348.3	1,193,018	226,673	"
濱 名 郡	313.9	1,381,160	234,797	"
安 倍 郡	200.0	798,000	159,600	"
磐 田 郡	186.5	581,412	87,210	漸次増加

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方 名	作付反別	價 額
埼玉縣北足立郡東南部、中部地方	247	258,600
千葉縣東葛飾郡鎌ヶ村	140	63,000
" 印旆郡八街町	308	78,950
" " 四街道出荷組合	172	59,800
山梨縣中巨摩郡常永村	200	12,000
" " 郡西條村	100	6,000
京都府京都市	460	69,000
廣島縣廣島市	30	54,000
長崎縣西彼杵郡茂木町	440	59,400
" " 矢上村	482	56,683

特 産 地

地 名	摘 要
静岡縣清水市三保	六月芋 子芋用、早取用
鳥取縣八頭郡國英村	河内芋 子芋用
静岡縣興津町	熊野芋 子芋用、親芋用
" 濱名郡飯田村	女早生芋
京都府葛野郡七條村	シカミ芋 子芋用、早取用
東京府	土垂芋 子芋用
"	今福芋 "
京都府葛野郡七條村	熊野芋 "
静岡縣興津町	八頭芋 親芋用
" 濱名郡芳川村	女芋 "
愛媛縣喜多郡	薑芋 "
東京府	唐芋 "
兵庫縣武庫郡西灘村	石川早生 早取用
愛媛縣新居郡金子村	盆芋 "
東京府豐多摩郡	早生芋 "
山梨縣中巨摩郡玉幡村	大白芋 子芋用、早取用
宮崎縣	早生芋 早取用

18 薑

薑は我國香辛蔬菜中最重要なるものにして暖地到る所に栽培せられ、その漬物としての消費額は薑し尠からざるべし又軟化品早取品及種子薑並輸出用乾薑として相當有利なるものなり。

薑栽培に有名なるは三州豐川町附近、遠州濱松市附近なれども、之等の地方の産は乾薑及種子薑となるもの多し。

作付反別五十町歩以上を有する府縣の統計

府 縣 名	作 付 反 別			價 額			考
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トシテ十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 全國ノ產額ニ對 スル%	
埼玉	412.8	389.4	94	347,502	422,801	11	
静岡	401.5	364.8	91	288,275	408,041	10	
愛知	274.8	269.1	98	342,326	453,131	12	
千葉	178.8	218.6	122	201,861	198,160	5	
茨城	115.2	128.4	111	147,931	131,609	3	
神奈川	80.9	104.2	129	64,620	107,721	3	
栃木	76.0	90.1	133	102,933	113,066	3	
愛媛	79.0	79.6	101	227,719	164,590	4	
大阪	102.0	76.5	75	552,559	452,498	12	
高知	48.4	76.0	157	71,903	122,398	3	
三重	85.3	75.1	88	116,768	96,071	2	
東京	36.8	73.7	200	38,214	95,014	2	
新潟	50.5	59.7	118	40,996	69,724	2	
長崎	64.9	57.8	89	89,772	80,755	2	
京都	41.4	54.0	131	83,259	80,052	2	
佐賀	64.7	53.0	82	84,238	67,019	2	

作付反別百二十町以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
埼玉縣				
北足立郡	301.0	754,850	235,295	増減ナシ
南埼玉郡	43.0	115,853	65,749	"
入間郡	11.0	27,277	17,767	"
北埼玉郡	11.0	23,190	17,393	"
大里郡	8.0	33,200	26,560	"
静岡縣				
濱名郡	165.4	496,200	158,784	益々増加ノ傾向
磐田郡	57.3	148,300	44,607	増減ナシ
田方郡	15.8	66,360	29,862	漸次減少
賀茂郡	13.6	39,400	14,987	"
富士郡	10.4	23,770	12,946	"
愛知縣				
海部郡	91.7	299,640	167,933	
寶飯郡	59.8	239,200	119,600	
碧海郡	43.5	139,600	62,730	

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
中島郡	14.2	45,880	11,315	
八名郡	13.7	31,720	19,032	
千葉縣				
東葛飾郡	92.3	166,140	88,054	
印旛郡	24.5	49,338	20,387	
安房郡	18.6	50,778	18,788	
山武郡	16.0	37,978	13,463	
夷隅郡	15.8	39,500	13,825	
茨城縣				
新治郡	20.6	42,875	21,690	
稻敷郡	19.1	40,260	19,273	
多賀郡	15.3	40,920	5,486	
行方郡	15.3	34,480	11,912	
東茨城郡	12.4	27,163	16,475	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する

地方の統計

地 方 名	作付反別	價 額
埼玉縣北足立郡中部地方	106	136,160
愛知縣寶飯郡豐川町	60	119,600
大阪府泉南郡南近義村	28	50,000
" 三島郡清水村	23	69,000
愛媛縣温泉郡東、西、中島村地方	31	94,600

19 葱 頭

各種蔬菜中能く輸送、貯藏に耐へ、裏作に恰適せるの特長を有し、春夏の交普通葱の拂底せる際、その代用品として又他の時期にありても、需要の如何によりては葱以上の價値を有す。その栽培面積は、明治四十二年には僅に952町歩なりしが、最近4950町歩に達せり。大阪、北海道の如き動もすれば、生産過剰に陥るが如き地方あれども、尙地方によりては未だその栽培に熟せざる所あり。かゝる地方に於ては、格外の高價を唱へつゝあり。

作付反別百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセシメ十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 此全額ノ產額ニ對 スル%
大 阪 府	806.8	1,341.4	166	810,940	937,587	26
北 海 道	785.3	650.6	83	922,370	650,553	18
愛 媛 縣	78.9	224.9	285	121,422	239,377	7
福 岡 縣	76.5	204.4	267	67,592	198,440	5
愛 知 縣	77.3	165.6	214	66,645	137,035	4
神 奈 川 縣	117.4	138.8	118	125,430	163,391	5
長 崎 縣	46.0	134.2	291	34,219	99,657	3
熊 本 縣	22.9	111.9	489	33,076	103,531	3
大 分 縣	22.5	100.2	445	22,154	99,919	3

作付反別二百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
大 阪 府			
泉 南 郡	1,534.1	7,089,820	528,837
岸 和 田 市	28.0	154,000	6,160
泉 北 郡	26.8	109,110	12,622
三 島 郡	7.2	23,955	3,316
中 河 内 郡	2.4	9,230	2,220
愛 媛 縣			
温 泉 郡	130.5	870,552	171,666
伊 豫 郡	56.8	223,700	36,488
北 宇 和 郡	9.8	20,970	7,514
越 智 郡	5.8	25,055	4,764
宇 摩 郡	4.8	27,570	3,977
福 岡 縣			
三 浦 郡	60.9	182,700	32,886
三 池 郡	33.3	143,190	24,342
山 門 郡	16.4	55,360	11,604
三 井 郡	14.0	44,971	11,655
宗 像 郡	13.0	32,500	11,375
愛 知 縣			
知 多 郡	81.9	472,520	88,096
渥 美 郡	9.3	32,450	9,138
碧 海 郡	7.9	19,710	6,521
名 古 屋 市	4.6	13,208	3,907
寶 飯 郡	2.8	5,600	1,688

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する
地方の統計

地 方 名	作付反別	價 額	備 考
北海道大江村	75	1,131,100	
" 札幌村	359	263,856	
大阪府泉南郡田尻村	98	98,000	
" " 日根村	110	90,000	
愛媛縣温泉郡東, 西, 中島村地方	1.9	50,444	近時増加ノ傾向
" 知多郡横須賀地方	60	71,000	

附記 上表に現れたる以外採種用葱頭の特産地として新潟縣中蒲原郡庄瀬村を挙ぐるを得べし

20 葱

葱は一見葱頭に等しき風味を有すれども自ら其間大に異なる所あるを見る。即葱頭の多肉にして執拗なるに對し、葱の淡泊にして爽快なる風味は能く邦人の嗜好に適するが故に、葱頭栽培の増加により葱の作付の減少するが如きことなかるべし。

従來關西方面にては香氣高き葉葱を好み、關東方面は軟白せる白葱を好むの習慣ありしも、近時一般に所謂根深白葱歓迎せられ、千住葱系の品種流行しつつあり。

作付反別三百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセシメ十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 此全額ノ產額ニ對 スル%
北 海 道	1,478.0	1,308.5	89	1,107,712	979,081	8
千 葉 縣	856.3	963.8	113	647,325	792,618	6
埼 玉 縣	1,008.4	914.4	91	759,799	791,882	6
茨 城 縣	860.2	912.3	106	679,520	639,985	5
新 潟 縣	554.4	651.7	117	506,816	454,769	4
愛 知 縣	575.0	638.9	111	405,348	540,018	4
群 馬 縣	542.0	629.3	116	314,299	349,619	3
神 奈 川 縣	602.0	558.2	93	431,429	560,428	4
栃 木 縣	565.2	533.5	94	416,390	304,608	2
東 京 府	503.9	521.3	103	668,789	734,888	6
福 島 縣	431.2	518.1	120	302,005	324,828	3
長 野 縣	462.7	466.5	101	400,003	372,864	3
靜 岡 縣	359.7	400.4	111	234,927	362,149	3

府 縣 名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセシメ十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 大正九年ノ產額ニ對 スル%
廣 島	385.9	353.5	92	442,057	438,062	3
宮 城	301.4	340.7	113	230,993	260,734	2
秋 田	368.8	324.8	88	248,805	317,209	2
山 形	263.2	310.3	122	170,237	253,738	2
京 都	255.4	307.3	120	245,778	346,459	3

作付反別六百三十町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收 穫 高	價 額	備 考
千 葉 縣				
東 葛 飾 郡	335.6	973,240	340,634	
香 取 郡	95.7	209,968	52,460	
印 旛 郡	95.7	287,775	56,369	
千 葉 郡	85.0	282,480	84,744	
匝 瑛 郡	81.6	277,440	33,293	増加ノ傾向
埼 玉 縣				各郡市共増加ノ傾向特ニ縣内北 部地方ニ著シ
北 足 立 郡	195.0	645,480	213,008	
大 里 郡	159.0	86,220	129,033	
南 埼 玉 郡	151.0	477,192	164,125	
北 葛 飾 郡	145.0	236,250	92,137	
入 間 郡	102.0	293,150	102,603	
茨 城 縣				
新 治 郡	90.8	256,091	77,803	
那 珂 郡	87.7	273,450	47,166	
眞 壁 郡	85.0	272,000	68,000	
結 城 郡	77.6	241,836	50,125	
東 茨 城 郡	73.4	157,926	35,495	
新 潟 縣				
西 蒲 原 郡	117.4	634,800	58,700	
中 蒲 原 郡	96.4	212,000	74,223	
北 蒲 原 郡	79.4	154,417	54,065	
中 頸 城 郡	76.3	123,763	49,505	
中 魚 沼 郡	36.6	54,472	19,065	
愛 知 縣				
海 部 郡	169.1	634,962	134,042	
名 古 屋 市	76.2	348,630	87,158	
中 島 郡	71.1	357,325	97,815	

郡 市 名	作付反別	收 穫 高	價 額	備 考
碧 海 郡	61.7	165,340	26,515	
渥 美 郡	37.3	110,100	19,936	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する
地方の統計

地 方 名	作 付 反 別	價 額
北海道余市町	26	50,500
埼玉縣北足立郡草加、谷塚、新郷附近	120	318,500
千葉縣東葛飾郡八柱村	42	62,250
” ” 松戸町	40	69,825
京都府京都市ノ一部	500	50,000
廣島縣廣島市	83	132,960

特 産 地

地 名	摘 要
東京府千住及砂町方面	千住葱
京都府京都市	九條葱
埼玉縣南埼玉郡	岩槻葱
群馬縣北甘樂郡	下仁田葱
秋田縣山本郡	秋田葱
石川縣石川郡三馬村	金澤太葱

21 食 用 百 合

百合は明治三十八年に比し、大正十三年は反別に於て倍加し、價額に於ては大正六年（大正六年以前には價額に關する調査なし）の約三倍の増加を示せり。然れども百合は病害の關係上到底連作を行ひ得ざるが故に、之が産地は局部的に漸次移動するの傾向あり。

尙貯藏輸送に耐ふるが故に、市場の遠近に著しき關係なく、栽培せられ、殊に北海道は數年來急速の増加をなしつつあり。

作付反別十町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 此全額ノ產額ニ對 スル%
北海道	63.9	555.6	869	77,696	769,938	59
青森	16.6	180.0	10	—	26,824	2
新潟	69.5	69.6	100	69,397	63,504	5
岩手	51.6	50.1	97	48,097	38,450	4
愛知	16.3	32.2	198	22,859	39,709	3
京都	23.6	22.4	78	42,606	52,877	4
三重	23.4	22.0	83	35,328	30,351	2
奈良	23.2	17.9	77	31,562	29,818	2
岐阜	21.6	17.8	82	15,171	20,116	2
滋賀	23.4	17.7	76	11,171	24,650	2
廣島	48.9	17.5	36	85,156	19,113	1
岡山	41.7	17.1	41	51,393	22,351	2
山形	7.8	17.0	218	5,861	15,122	1
兵庫	27.4	14.2	52	37,573	21,204	2
長野	23.5	10.9	46	28,219	15,296	1

22 蓮 根

稲作の有利ならざる所より、最近五、六年來蓮根栽培に注目する者漸次多きを加へ、急激なる増加を見るに至れり。即その作付反別は明治四十二年 1750 町歩なりしも大正九年には 2600 餘町歩に及び、更に大正十三年に於ては 3500 町歩に達し、その價額に於ては大正六年以來實に二倍半の増加をなせり。

蓮根は從來佛事の饗饌に缺くべからざる物として最も多く用ゐられ、その他來客又は物日に用ゐられたるも夫以外日常之を用ふること少かりしが、その爽快なる風味は邦人の嗜好に適せるるため、漸次一般料理の補助物として、廣く用ゐらるゝの趨勢にあり。

作付反別百町歩以上を有する府縣の統計

府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 此全額ノ產額ニ對 スル%
愛知	413.1	456.8	111	457,459	461,525	9
福岡	252.4	413.4	164	416,475	600,496	11
東京	173.5	259.9	119	350,717	513,420	10
千葉	228.6	213.0	106	364,527	382,426	7
山口	122.3	203.7	171	257,017	346,149	6

府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 此全額ノ產額ニ對 スル%
岡山	91.5	164.6	180	237,029	309,082	6
廣島	87.8	157.3	179	187,346	272,377	5
佐賀	0.6	143.5	239	516	130,956	2
埼玉	121.8	141.9	117	148,656	244,287	5
石川	87.2	137.3	157	207,483	200,366	4
靜岡	—	124.6	—	—	115,431	2
茨城	93.3	118.9	127	150,442	170,045	3
新潟	169.3	110.7	65	248,223	155,930	3

作付反別二百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡市名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
愛知縣				
海部郡	348.0	1,447,439	450,146	
中島郡	27.3	86,135	37,774	
西春日井郡	26.0	109,200	87,360	
名古屋市	9.6	31,670	15,985	
知多郡	8.6	13,310	9,994	
福岡縣				
鞍手郡	31.8	126,770	48,498	
宗像郡	30.7	98,210	58,944	
粕屋郡	26.2	83,316	29,994	
朝倉郡	29.7	91,320	31,790	
嘉穂郡	25.6	112,640	73,848	
東京府				
南葛飾郡	200.0	600,000	420,000	近年増加ノ傾向殊ニ南葛飾郡ハ其ノ作付最多ク總反別ノ七割ヲ占ム
南足立郡	38.4	112,700	54,210	
北豊島郡	19.1	46,795	30,417	
豊多摩郡	1.7	5,440	1,958	
荏原郡	0.5	2,000	1,600	
千葉縣				
東葛飾郡	68.7	219,840	116,515	
君津郡	53.7	171,945	68,678	
香取郡	28.7	87,559	44,638	
長生郡	21.2	67,840	33,920	
市原郡	16.4	45,706	27,424	
山口縣				

(十二年度ノ統計)

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
豊 浦 郡	34.7	117,297	59,663	
厚 狹 郡	30.6	143,930	52,272	
玖 珂 郡	23.4	117,890	60,283	
大 津 郡	23.4	76,130	29,096	
吉 敷 郡	15.8	69,530	37,549	増加ノ趨勢

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方 名	作付反別	價 額	備 考
石川縣河北郡小坂村	84	123,627	病害ト價格低廉ナルヲメ栽培不振
愛知縣海部郡立田村	80	210,000	
廣島縣廣島市	55	137,500	

特 産 地

地 名	摘 要
石川縣河北郡小坂村	枯レ知ラズ種 病害ニ強シ
埼玉縣北足立郡谷塚村	天王寺種 早生
東京府南葛飾郡	支那蓮及白蓮
千葉縣東葛飾郡	" "
愛知縣海部郡	紅蓮

23 慈 姑

慈姑は從來蓮根と類似せる用途を有し、我國に於ては精進料理及祝儀の饗饌等に用ゐらるゝ外、日常之を使用するもの少く、従つて蔬菜として産額の著しき増加は望み難し。明治四十四年以來殆ど増加なく現今僅に300餘町歩の面積を有するに過ぎず。

最多く栽培せらるゝは埼玉縣にして同縣北足立郡東南部新田安行新郷附近に於ける産額は約70000圓と稱せらる。

作付反別十五町歩以上を有する府縣の統計

府 縣 名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
埼 玉	108.2	102.1		106,143	187,899	41

府 縣 名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
東 京	19.8	39.4	198	18,447	58,763	13
京 都	30.3	33.4	212	36,892	58,348	13
新 潟	26.8	29.5	210	9,323	14,620	3
神 奈 川	1.8	18.4	102	2,314	20,080	6

24 漬 菜

漬菜は全蔬菜中面積に於て第六位、價額に於ては第四位を占むるも、その實際蔬菜としての位置は寧蘿蔔に次ぐものとすべし。

白菜は日清戦役後、本場に於ける優良種の輸入盛となり、現今にては全國に普及し其品種及栽培法大に改良せられ、其の品質著しく向上せり。然れども尙統計に現はれたるものの中には尙品種の劣悪なるもの及栽培法の拙劣なるものなきにあらず。

作付反別七百町歩以上を有する道府縣の統計

道 府 縣 名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於ケル全國ノ産額ニ對スル%
北 海 道	3,642.8	2,163.8	58	1,657,495	915,071	5
茨 城	1,841.7	1,799.7	98	1,151,191	1,002,477	5
長 野	1,846.2	1,549.3	84	689,956	837,110	5
東 京	1,531.1	1,464.8	96	1,236,891	1,877,193	10
埼 玉	1,311.9	1,378.2	85	588,527	909,986	5
新 潟	1,331.6	1,362.0	99	653,872	714,701	4
群 馬	1,183.0	1,301.6	110	525,416	760,491	4
廣 島	1,313.3	1,229.3	93	1,037,333	730,223	4
福 岡	1,288.8	1,216.0	94	966,768	783,683	4
山 口	1,213.0	1,160.0	95	597,123	661,648	4
栃 木	1,232.9	1,156.1	90	635,881	564,199	3
福 島	872.6	1,095.0	125	388,791	565,704	3
宮 城	1,013.5	1,038.4	101	344,084	364,914	2
青 森	846.9	890.6	105	263,972	343,081	2
山 形	917.2	840.0	92	362,229	483,113	3
鹿 兒 島	804.2	788.2	98	375,970	522,226	3
千 葉	719.9	751.0	104	564,266	377,433	2
靜 岡	761.7	723.8	90	324,620	295,852	2
熊 本	946.8	704.7	74	414,163	351,417	2

作付反別千三百町歩を有する府縣の主産郡市の統計

郡市名	作付反別	收穫高	價額	備考
茨城縣				
東茨城郡	233.7	453,512	88,766	
新治郡	180.6	634,873	106,350	
久慈郡	164.3	508,970	45,807	
筑波郡	145.7	509,950	127,488	
多賀郡	135.0	789,900	28,488	
長野縣				(十二年度ノ統計)
東筑摩郡	190.9	853,324	110,931	増減なし
上水内郡	175.5	461,230	40,114	"
小縣郡	161.5	629,797	56,682	"
上伊那郡	120.7	640,010	53,854	"
諏訪郡	107.6	1,096,019	136,716	"
東京府				府下を通じて作付反別増加の傾向なり殊に結末白菜の作付は著しく増加せり其他唐菜, 山東菜等の栽培亦盛なり
南葛飾郡	250.0	2,100,000	315,000	
荏原郡	243.0	1,974,600	394,920	
南足立郡	233.3	3,499,500	635,920	
北多摩郡	155.3	543,550	146,759	
南多摩郡	145.9	297,611	67,504	
埼玉縣				各郡市とも増加の趨勢
北足立郡	33.7	1,516,500	272,970	
南埼玉郡	21.2	911,926	117,921	
入間郡	17.9	625,450	156,363	
大里郡	13.4	468,650	46,865	
秩父郡	13.2	216,870	25,239	
新潟縣				
中頸城郡	239.8	923,038	119,504	
北蒲原郡	147.0	401,150	77,134	
中蒲原郡	135.7	474,950	94,990	
南蒲原郡	111.2	311,360	80,950	
古志郡	105.3	261,592	52,708	
群馬縣				
勢多郡	233.5	812,775	129,711	
群馬郡	187.3	765,156	106,327	
佐波郡	125.6	492,720	73,076	
多野郡	125.0	353,800	70,760	
新田郡	117.9	372,230	45,974	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地方	作付反別	價額
北海道七飯町	135	9,600
茨城縣水戸地方	200	40,000
" 古河地方	50	100,000
" 土浦地方	150	300,000
" 助川地方	100	200,000
京都府京都市	420	50,400
大阪府大阪市敷津町	62	93,000
廣島縣安佐郡川内村	42	67,580

特 産 地

地名	摘 要
宮城縣松島(馬放島, 桂島)	松島白菜(採種)
福島縣安達郡	丸守芝罘白菜(採種)
茨城縣東茨城郡, 那珂郡, 猿島郡, 眞壁郡, 新治郡, 結城郡, 多賀郡	茨城白菜
愛知縣名古屋市, [知多郡	愛知白菜, 野崎白菜
廣島縣安佐郡	廣島菜
新潟縣西蒲原郡	白莖體菜
長野縣下高井郡豊郷村野澤	野澤菜
" 上伊那郡西箕輪村羽廣	羽廣菜
長崎縣	長崎白菜
" 西彼杵郡長興村	辻田白菜

25 甘 藍

甘藍は北海道及東北地方に於て明治の初年より栽培せられたるも、稍多く栽培せらるゝに至りたるは最近二十年來にして、其用途の一般に知らるゝに従ひ、漸次作付反別を増加し、交通機關の發達に伴ひ遠路の輸送を見るに至れり。

暖地に於ける栽培は困難なりと思考せられ、其の栽培を試むるもの極めて少かりしが、各地農事試験場に於ける栽培試験の結果暖地に於ても相當の成績を收め得ること明となりたるのみならず、その品種の如きも我國獨特の優良なるもの育成せられ、今や各地に於て普通蔬菜として取扱はるゝの進境を見たり即之を統計に徴せんか明治四十二年には2,000

町歩大正九年には6,200町歩に及び、約十年間に三倍となりその後面積に於ては左程の増加を見ざるも、價額に於ては大正六年1,803,673圓のもの十三年には5,287,702圓となり、九年に比し、十三年は1,000,000圓の増加を示せり。

作付反別百町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作付反別			價 額			備 考
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ100トセル十三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ノ於テ全國ノ産額ニ對スル%	
北海道	3,542.8	2,366.5	67	2,249,777	1,521,293	29	
長野	229.4	416.3	181	208,384	322,194	6	
秋田	347.2	387.3	112	271,152	318,876	7	
東京	199.1	316.6	155	190,492	561,865	11	
岩手	312.5	267.6	86	208,535	217,468	4	
青森	195.4	260.3	133	221,060	194,513	4	
福岡	59.4	180.1	302	6,653	175,498	3	
福島	89.9	163.4	182	60,575	112,923	2	
新潟	102.4	152.3	149	70,239	142,485	3	
山形	123.9	147.2	119	8,071	202,034	4	
大 阪	56.6	117.3	207	74,048	142,223	3	

作付反別二百町歩以上を有する府縣の主産郡市の統計

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
長野縣				(十二年度統計)
北佐久郡	120.8	616,080	61,808	栽培面積及生産高漸次増加
東筑摩郡	101.1	578,292	69,396	"
小 縣 郡	24.8	134,552	48,439	"
諏 訪 郡	24.3	212,429	47,129	"
上伊那郡	17.2	80,686	14,998	"
秋 田 縣				
北秋田郡	64.8	149,580	64,112	
平 鹿 郡	60.9	153,064	45,489	
仙 北 郡	46.8	69,093	21,093	
南秋田郡	43.2	60,995	24,398	
雄 勝 郡	41.2	98,790	33,816	
東 京 府				
南足立郡	120.9	1,729,900	272,255	需要増進と共に著しく反別を増加せり殊に従來の主産地以外北
南葛飾郡	100.0	800,000	120,000	

郡 市 名	作付反別	收穫高	價 額	備 考
北多摩郡	25.7	12,880	35,998	多摩、豊多摩 荏原の各郡に於て増加せるが如し
荏原郡	18.3	142,039	35,509	
豊多摩郡	17.8	103,240	25,810	
岩手縣				(十二年度統計)
岩手郡	122.2	471,390	98,598	
九戸郡	61.1	133,550	95,095	
二戸郡	43.9	207,280	26,620	
紫波郡	37.2	121,671	17,455	
下閉伊郡	22.0	75,420	20,306	
青森縣				(十二年度統計)
上北郡	95.8	265,800	51,405	
三戸郡	42.1	212,919	33,738	
東津輕郡	40.1	165,840	33,220	
西津輕郡	26.8	107,200	3,210	
中津輕郡	19.9	109,450	20,795	

作付反別百町歩以上若しくは産額五萬圓以上を有する地方の統計

地 方	作付反別	價 額	備 考
長野縣北佐久郡輕井澤町附近	121	61,808	増加の傾向
" 東筑摩郡宗賀村桔梗ヶ原一圓	100	60,000	"
大阪府泉南郡佐野町	42	50,000	増減なし

特 産 地

地 名	摘 要
東京府南葛飾郡奥戸村	中野甘藍 (同地中野氏作成)
静岡縣安倍郡豊田村	豊田甘藍 (同地石井氏作成)
愛知縣名古屋市大幡郷町	野崎甘藍 (同地野崎氏作成)
新潟縣古志郡種苧原村	サクセスシヨソ種
廣島縣賀茂郡廣村	廣甘藍

26 蕃 椒

辛味蕃椒は我國に於ては生姜に次ぐ香辛料なれども、其用途と共に需要自ら局限せられ、漬物、ソース及ケチャップの添加料又は薬味として消費せらるゝ外其需要多からず。

作付反別二十町歩以上を有する道府縣の統計

道府縣名	作 付 反 別			價 額		
	大正九年	大正十三年	大正九年ヲ 100トセル十 三年ノ指數	大正九年	大正十三年	大正十三年ニ於テ 此全國ノ産額ニ對 スル%
島根	6.0	516.9	860	1,914	3,058	1
香川	63.8	67.6	106	30,071	142,008	32
北海道	52.6	55.5	106	36,023	28,368	6
鹿兒島	0.3	47.3	158	42	10,633	2
東京	8.1	44.5	550	3,757	25,362	6
茨城	49.7	36.7	74	18,726	17,071	4
滋賀	49.3	33.8	69	12,575	11,510	3
鳥取	5.0	32.1	64	1,836	16,026	4
岡山	15.9	23.2	155	4,399	14,598	3

備考 本統計による島根縣の作付反別には誤算あるが如し。

第四章 雜 蔬 菜

農林省統計表に現はれざるものを雜蔬菜としたり、雜蔬菜中にも相當重要なるものあり殊に全國より之を見れば左程重要ならざるも一地方としては相當重要なるものなきにあらざるも府縣により之が報告を省略せる所少からざるを以て本章に於ても之を網羅するを得ず止むなく右報告を得たる道府縣の分のみを茲に掲ぐる事とせり。

石 刁 柏

府 縣 名	付作反別	收 穫 高	價 額
埼玉	1	60	90
愛知	2	300	600

西洋料理の普及と共に頗る注目せられ最近罐詰として海外より輸入せらるゝ量激増し都會地附近の食料品店に於ては殆ど之を見ざるなきの状態なり。その新鮮物及罐詰の供給は頗る有利なるものとして今後大に發展すべし。

油 菜

愛知	118.5	342,581	62,687
----	-------	---------	--------

油菜は採油用に栽培するを普通とすれども又特に蔬菜用として栽培せ

らるゝ品種あり。

土 當 歸

府 縣 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
千葉	10.4	26,175	10,930
東京	39.1	56,567	36,775
富山	17.9	10,160	3,186
愛知	100.8	319,446	226,680
三重	4.2	7,361	4,600
島根	—	12,259	8,120
岡山	1.0	1,238	870
高知	1.1	6,066	2,046
長崎	4	894	496
滋賀	1.6	1,984	906

近時關西地方に於けるモヤシ土當歸の栽培は著しく發展し、寒土當歸の栽培は爲めに大に制限を受けたるも尙關東地方に於ては主として寒土當歸及び春土當歸を栽培す、モヤシ土當歸の最盛なるは愛知、大阪、廣島、京都の諸府縣なり。

産額五萬圓以上を有する地方としては愛知縣中島郡祖父江町、平和村地方にして其寒土當歸の産額等左の如し。

反 別 45 町歩 産額 115,000圓

枝 豆

東京	535.1	23,006	321,334
----	-------	--------	---------

食 用 菊

食用菊は主に東北地方に栽培せられ青森、岩手縣の産多し、今岩手縣に於ける調査を見るに作付反別二十九町九反産額一萬九千八十五貫其價額一萬六千六百二十二圓なり。

大 角 豆

府 縣 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
岐阜	94.3	1,081	22,668
三重	59.0	73,453	24,926
岡山	605.6	4,785	110,704

府	縣	名	作付反別	收穫高	價	額
長 愛 滋 廣	崎 知 賀 島		町 3.3	石 445		円 4,377
			150.3	218,894		78,208
			26.5	36,157		10,599
			118.0	1,732		43,218
			紫 蘇			
岡 沖	山 繩		町 6.2	石 12,612		円 2,447
			9	1,593		202
			高 苣			

府	縣	名	作付反別	收穫高	價	額
愛 岡 廣 高 長 沖 滋	知 山 島 知 崎 繩 賀		町 8.9	石 19,140		円 5,144
			77.9	187,613		29,199
			132.8	414,274		71,548
			30.0	84,444		20,585
			3.6	8,216		1,764
			6.7	15,642		1,667
			22.3	75,936		12,607

高苣は外國にてはサラダ作物の最も重要なるものにして非常に貴重せらる、その淡白にして爽快なる風味は能く邦人の嗜好に適し近時その栽培は激増し、都會地附近に於ては極めて有利に栽培せられつゝあり。

芹						
秋 石 岡 廣	田 川 山 島		町 37.9	石 107,972		円 57,243
			1.9	5,700		2,850
			3.1	6,798		3,713
			3.5	24,195		10,211
			塘 苣 (セルリー)			
愛	知		町 20	石 8,000		円 3,400
			苣 苣			
廣 沖	島 繩		町 14.9	石 119,398		円 39,852
			1.0	2,558		343

春 杏

府	縣	名	作付反別	收穫高	價	額
愛	知		町 2.5	石 5,600		円 1,100
			玉 蜀 黍			
山 沖	梨 繩		町 2,064.0	石 28,214		円 397,293
			52.6	217,065		20,708
			冬 瓜			

府	縣	名	作付反別	收穫高	價	額
埼 千 東 富 靜 愛 廣 長	玉 葉 京 山 岡 知 島 崎		町 2.0	石 15,500		円 77,750
			40.6	164,035		22,620
			41.1	36,179		137,197
			19.3	99,760		11,538
			6.9	49,450		3,734
			100.7	464,699		72,247
愛 廣 長	知 島 崎		町 26.1	石 222,855		円 18,498
			4.3	13,042		1,847

刀 豆

愛	知		町 14.1	石 19,200		円 7,231
---	---	--	--------	----------	--	---------

大 蒜

高	知		町 43.3	石 99,514		円 39,457
---	---	--	--------	----------	--	----------

草 芹 菜 (パースレー)

愛	知		町 3.0	石 7,000		円 1,700
---	---	--	-------	---------	--	---------

花 椰 菜

愛	知		町 1.9	石 4,540		円 2,456
---	---	--	-------	---------	--	---------

花椰菜類は外國にても最も高尚なる野菜として貴重せらる、我國に於ては栽培困難なるものとして且つ日本料理に適せざるものとして従來多く顧みられざりしもその風味の佳良にして需要増進つゝあるを以て將來

我國の蔬菜として大に重要な地位を占むべく栽培法も近時稍進展せり
 神奈川、千葉、愛知、長野等を主なる産地とす。

蕪 菜

府 縣 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
沖 繩	36.7	259,267	20,877
長 崎	30.1	102,830	11,599

落

府 縣 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
秋 田	31.1	78,073	29,477
富 山	64.1	100,148	27,711
靜 岡	0.9	2,570	480
愛 知	140.6	636,863	251,730
三 重	32.6	85,029	24,553
岡 山	14.9	31,941	10,093
廣 島	43.1	168,946	52,667
愛 媛	0.2	800	160
高 知	—	31,681	11,061

落は秋田の外大抵早取蔬菜として栽培家は相當の利益を収めつゝあり、愛知、廣島の産最も多く、一地方として五萬圓以上の産額あるもの次の如し。

愛知縣中島郡平和村地方	20 町步	60,000 圓
同縣海部郡佐屋村地方	25 町步	70,000 圓
大阪府中河内郡久寶寺村	13 町步	52,800 圓

鵲 豆

愛 知	23.6	47,895	16,265
-----	------	--------	--------

絲 瓜

沖 繩	17.6	18,993	4,147
-----	------	--------	-------

菠 蓆 草

靜 岡	26.8	71,120	14,857
-----	------	--------	--------

府 縣 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
愛 知	105.1	178,223	83,483
岡 山	60.3	115,093	43,050
高 知	49.9	108,555	42,267
長 崎	15.5	54,895	15,215
沖 繩	9.4	27,700	4,011

浸し物として最も嗜好せらる、鐵分及ビタミンAの含量多きを以て最も貴重なる蔬菜とせらるゝに至り販賣用及自家用として栽培するもの激増しつつあり。

一地方として有名なるは大阪府下城東町にして作付反別 60 町步産額 120,000 圓と稱せらる。

藤 蓬

愛 知	0.5	250	374
-----	-----	-----	-----

野 蜀 葵

府 郡 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額
千 葉	217.6	188,913	130,872
東 京	121.9	590,742	163,951
愛 知	4.6	11,712	10,833
滋 賀	7.3	12,459	4,061
愛 媛	0.3	900	450

茗 荷

青 森	40.6	52,004	27,276
愛 知	3.0	8,324	4,066

茗 菹

道 府 縣 名	作 付 反 別	收 穫 高	價 額	備 考
北 海 道	299.3	768,278	391,408	長 薯 數字に疑あり
青 森	102.6	327,421	170,141	
岩 手	88.2	188,088	109,519	
福 島	1.0	300	1,500	
茨 城	125.7	294,424	197,818	

道府縣名	作付反別	收穫高	價額	備考
埼玉	294.0	854,457	787,321	佛掌薯 長薯
"	38.0	83,367	73,838	
千葉	196.0	51,995	28,601	佛掌薯
静岡	6.9	12,360	10,507	
愛知	92.3	203,836	244,617	
三重	72.8	129,967	191,590	
滋賀	29.9	53,594	52,218	
岡山	91.6	119,794	95,921	
高松	—	8,323	12,395	
長崎	2.6	4,570	7,035	

東北地方の産は多くは一年芋にして其他の地方の産は埼玉の一部を除くの外は佛掌薯系のもの大部分を占む山芋はその獨特の風味を愛するもの多く頗る高價に取引せらる、埼玉縣北足立都中部地方（尾間木三寶村附近）には一集團百町歩産額 300,640 圓を有する所あり。

蕪 菜

沖繩	1.0	3,285	329
----	-----	-------	-----

扁 蒲

府縣名	作付反別	收穫高	價額	備考
茨城	198.7	1,384,964	142,333	殆ど畑山葵なり
富山	5.6	1,682	5,345	
三重	10.8	2,497	8,899	
滋賀	197.5	91,734	136,102	
沖繩	12.2	28,839	3,082	
栃木	2,232.2	657,714	1,882,581	

菘

府縣名	作付反別	收穫高	價額	備考
秋田	34.6	29,442	16,245	數字に疑あり
山形	34.8	65,902	32,188	
茨城	17.2	381,821	74,609	
埼玉	62.7	15,284	36,150	
千葉	668.9	1,837,410	393,981	

府縣名	作付反別	收穫高	價額	備考
富山	48.0	95,633	15,084	花生
岡	105.5	4,461	44,629	
三重	102.1	161,927	39,534	
廣島	111.0	401,277	111,613	
高知	30.1	947	15,852	
長崎	24.1	41,902	9,567	
宮崎	54.4	110,020	46,675	
鹿兒島	447.8	142,579	222,627	
愛知	60.9	3,969	60,938	
沖繩	45.5	112,492	17,577	
滋賀	5.1	21,420	6,420	

落 花 生

山梨	19.7	61,929	10,783
----	------	--------	--------

苦 瓜

沖繩	17.1	19,258	3,996
----	------	--------	-------

山 葵

府縣名	作付反別	收穫高	價額	備考
静岡	115.4	123,780	372,870	殆ど畑山葵なり
長野	68.4	190,327	1,168,858	
奈良	69.0	119,082	417,710	
山口	346.5	34,723	203,191	
石川	3.1	1,850	8,270	
廣島	5.8	5,065	35,058	
愛知	2	30	240	
島根	—	13,319	134,180	
和歌山	—	2,000	800	
愛媛	5	100	400	
高知	—	490	1,250	
佐賀	—	31	174	

近年長野縣穂高町の栽培は實に異彩を放てり、静岡縣の産は所謂本場物として最高價に取引せらる、現在頗る有利なる作物なれどもその特殊のものにして必需的且普遍的のものに非ざるを以て之が需要には自ら限度あるを知らざるべからず。産額五萬圓以上を有する地方下の如し。

長野縣南安曇郡穂高町附近	51 町歩	1,053,175 圓
奈良縣添上郡東山村	8 町歩	75,000 圓
同 山邊郡波多野村	18 町歩	52,000 圓

わけ分 葱

愛 知	55.4	153,238	44,226
-----	------	---------	--------

第五章 不 時 栽 培

I 温 床 栽 培

醸熱物による木框栽培は従前促成栽培の代名詞の如き觀ありしも、その栽培管理は容易ならず、殊に床温の持續せざることは、就中經營者を苦ましめたる所なり、爲に框内に熱管を通じて醸熱温度の補給をなし、又は全然之にのみよりて栽培を試むるものを生ずるに至りしも、尙之に満足すること能ずして今日静岡縣濱名郡下の栽培家が施設せる如き小規模の硝子室による者漸く多きを加へんとす。

かくして在來法による木框栽培は天與の暖地の外漸次其領域を狭めらるゝの状態なり。然れども作物の種類により、生産時期により、又は農閑の勞力利用等に於ては、寧之によるを有利とする場合あり。故に小資本による經營又は副業的經營に於ては今日尙増加の趨勢にあり。

從來促成栽培に於て最著名なるは愛知、静岡、千葉、神奈川の諸縣なりしが今回の統計によれば茨城、山口、福岡の諸縣亦著しく發展せるを示せり。

栽培作物はその府縣、地方、及時好によりて異なるも大體最多く栽培せらるゝ胡瓜、茄子にして菜豆、蕃茄、蕃椒、落等之に次ぐものゝ如し。

次表は各府縣の調査に基き綜合表示せるものなれども、中に苗物及花卉を混入せるものありたるを以てそれ等の判然したるものは之を除外せるも尙其點不明なるものは止なく其儘算入せり。

次に各府縣の概況を掲げ、併せて主要生産縣に就きその郡市別統計を擧ぐべし。

温 床 府 縣 別 統 計

府縣名	框 數	産 額	作 物 名	主 要 郡 市 名
宮 城	25	369	茄子、トマト、胡瓜、落	仙臺市、名取郡
福 島	277	3,590	茄子、胡瓜、野蜀葵	双葉郡、石城郡、田村郡

府縣名	框 數	産 額	作 物 名	主 要 郡 市 名
茨 城	11,939	222,664	茄子、胡瓜、野蜀葵	新治郡、西茨城郡、眞壁郡、結城郡、猿島郡
栃 木	403	3,300	茄子、胡瓜、菜豆、落	河内郡、芳賀郡、鹽谷郡
埼 玉	69	1,371	茄子、胡瓜、菜豆、南瓜、	比企郡、北葛飾郡
千 葉	4,617	136,890	茄子、胡瓜、南瓜、冬瓜、メロン	安房郡、市原郡、海上郡
東 京	2,906	92,320		荏原郡、豊多摩郡、南足立郡、南葛飾郡、北多摩郡
神奈川	2,060	30,900		久良岐郡、橋樹郡、三浦郡、中郡、高座郡
新 潟	730	9,900		長岡市、南蒲原郡、刈羽郡
石 川	173	2,332	トマト、胡瓜、茄子	石川郡、河北郡、鹿島郡
島 根	1,100	—	茄子、胡瓜	八束郡、簸川郡、那賀郡
山 梨	467	26,078	胡瓜	中巨摩郡
靜 岡	10,049	124,536	茄子、胡瓜、越瓜、トマト	清水市、濱名郡、磐田郡、安部郡、富士郡、駿東郡
愛 知	20,642	303,910	茄子、胡瓜、南瓜、落	中島郡、西春日井郡、知多郡、海部郡、名古屋、市、豊橋市、幡豆郡、西加茂郡、渥美郡、碧海郡
三 重	670	14,780	茄子、胡瓜、山椒、越瓜、	三重郡、津市
滋 賀	108	1,631	茄子、胡瓜、越瓜、山椒、トマト、菜豆、落	
京 都	2,176	55,658	茄子、胡瓜、越瓜、トマト、山椒、蕃椒	京都市、葛野郡、紀伊郡、乙訓郡、久世郡
大 阪	265	—	茄子、胡瓜、トマト、落	泉北郡、南河内郡、中河内郡、三島郡
兵 庫	115	—	茄子、胡瓜、落、チンヤ	明石市
岡 山	136	120	茄子、胡瓜、山椒、紫蘇	小田郡
鳥 取	130	—		
廣 島	779	12,000	胡瓜、落	廣島市
山 口	3,980	64,870	茄子、胡瓜、トマト、落、落、落	豊浦郡、宇部市、佐波郡、吉敷郡
愛 媛	384	3,325	胡瓜、茄子、トマト	松山市、伊豫郡
徳 島	232	3,480	茄子、胡瓜	名東郡、勝浦郡、板野郡、
福 岡	7,956	26,445	茄子、胡瓜	遠賀郡、粕屋郡、門司市、上郡、京都郡、田川郡、三井郡、平良郡、筑紫郡
佐 賀	741	—		東松浦郡
長 崎	1,034	2,870	茄子、胡瓜、トマト、菜豆、山椒	長崎市、佐世保市、南高來郡、北松浦郡
熊 本	500	5,000	茄子、胡瓜、白芋、山椒	
宮 崎	295	—	茄子、胡瓜	宮崎市、都城市、宮崎郡、東臼杵郡
鹿 兒 島	62	1,250	茄子、胡瓜	揖宿郡、鹿兒島郡

主要生産縣郡市別統計

郡 市 別	框 數	産 額	作 物 名	備 考
愛 知 縣				
名 古 屋 市	1,298	38,940	茄子	次第に花卉栽培に變化しつつあり
豊 橋 市	121	2,410	茄子	早熟栽培より促成に進みつつあり
寶 飯 郡	83	2,490	胡瓜、茄子	早熟栽培増加しつつあり
豆 郡	302	9,060	胡瓜、茄子	

郡 市 別	框 數	産 額	作 物 名	備 考
西加茂郡	53	1,940	胡瓜、茄子	
南設樂郡	45	900	胡瓜、茄子	
北設樂郡	13	260	茄子	
渥美郡	1,055	31,650	胡瓜、茄子、南瓜	早熟栽培増加しつつあり
額田郡	97	2,910	胡瓜、落	
碧海郡	4,942	28,860	胡瓜、茄子	早熟栽培増加しつつあり
東春日井郡	78	1,560	胡瓜	
中島郡	830	8,300	落	
西春日井郡	914	27,420	茄子	
知多郡	6,000	30,000	落	
海部郡	4,811	48,110	落	栽培増加しつつあり
茨城縣				
新治郡	3,050	46,900	胡瓜、茄子	縣下を通じて増加の傾向
西茨城郡	4,500	67,500	胡瓜、茄子	胡瓜より茄子その他の種類に移らんとする傾向ある地方あり
東茨城郡	800	12,000	胡瓜、茄子	
那珂郡	800	11,160	胡瓜、ミツバ	
眞壁郡	1,100	16,500	胡瓜	
行方郡	400	6,000	胡瓜	
結城郡	2,000	30,000	胡瓜	
猿島郡	2,289	23,604	胡瓜、茄子	
静岡縣				
清水市	3,600	57,600	胡瓜、トマト	増加しつつあり
濱松市	12	156	胡瓜、茄子	増減なし
沼津市	30	480	胡瓜、茄子、南瓜	"
濱名郡	535	9,420	胡瓜、茄子	増加しつつあり
引佐郡	18	30	茄子	
磐田郡	262	3,308	胡瓜	増減なし
周智郡	21	210	胡瓜	
志田郡	73	534	茄子、胡瓜	
安部郡	5,758	5,708	胡瓜、茄子	増減なし
富士郡	143	1,001	胡瓜、茄子	
駿東郡	123	1,024	胡瓜、南瓜	
加茂郡	11	65	胡瓜、南瓜	

II 温室栽培

十年以前に於ては温室栽培經營者の數は全國を通じて指を屈するに過ぎざりしも最近其の増加實に著しきものあり。温室は木框栽培に比して經費を要する事多きも栽培管理容易にして従つて優品を産するを得。今

日市場にては優品に對しては充分其價値を認め高價に取引せらるゝを以て温室栽培は比較的有利に經營せられ従て之が栽培を企圖するもの甚多し。

次表は府縣により葡萄花卉を記入したるものあるも温室は往々此等のものに對して併用せらるゝを常とするを以て蔬菜以外の記載を特に抹殺せず其儘之を掲げたり。

次に各府縣の概況を擧げ最後に愛知、静岡、東京、神奈川、京都の諸府縣に就きその郡市別統計を記すべし。

温室栽培府縣別統計

府 縣 名	棟 數	坪 數	産 額	作 物 名
宮 城	3	10	55	メロン、胡瓜、茄子
福 島	4	62	2,120	メロン、胡瓜、莢豌豆
茨 城	2	75		トマト
埼 玉	1	32		メロン、トマト、茄子
千 葉	8	276		メロン、胡瓜、茄子、冬瓜、南瓜
東 京		6,209		
神 奈 川		4,271	213,550	
静 岡	253	4,199	114,269	メロン、胡瓜、茄子、トマト
愛 知	212	4,590	202,490	メロン、胡瓜、茄子、トマト
滋 賀	2	5	25	胡瓜、茄子
京 都	53	3,360	83,440	メロン、胡瓜、茄子、トマト
奈 良	5	300	40,000	胡瓜、茄子、蕎麥、
大 阪	15	685		蕎麥、鵲豆、メロン、胡瓜、茄子
兵 庫	8	111		トマト
鳥 取	3	15		メロン、胡瓜、茄子、トマト
廣 島	36	446		メロン
愛 媛	1	3	35	胡瓜
德 島	1	3		
福 岡	3	80	1,720	
熊 本	3	80	1,800	メロン、胡瓜、茄子、トマト
大 分	3	60	500	

主要栽培府縣郡市別統計

郡 市 別	棟 數	坪 數	産 額	作 物 名	備 考
東 京 府					
荏 原 郡		3,500			府下を通じて蔬菜栽培は總坪數の約15%位なるべし
豊 多 摩 郡		1,012			

都 市 別	棟 数	坪 数	産 額	作 物 名	備 考
北 豊 島 郡		200			
南 足 立 郡		722			
南 葛 飾 郡		755			
北 多 摩 郡		20			
愛 知 縣					
名 古 屋 市	50	2,710	135,500	茄子	花卉栽培に傾きつつあり
豊 橋 市	5	51	2,550	茄子、トマト	
岡 崎 市	3	22	880	茄子	花卉栽培の方多し
八 名 郡	7	130	3,900	茄子	
寶 飯 郡	20	347	13,880	胡瓜	
幡 豆 郡	7	84	3,360	胡瓜	
南 設 楽 郡	2	20	600	胡瓜	
北 設 楽 郡	1	2	80		
渥 美 郡	12	187	5,350	胡瓜	
知 多 郡	12	192	7,660	メロン	増加の傾向
神 奈 川 縣					
橋 樹 郡		273			
中 郡		465			
高 座 郡		463			
足 柄 上 郡		60			
靜 岡 縣					
清 水 市	13	109	1,862	胡瓜、トマト、メロン	増加しつつあり
濱 名 郡	84	1,491	44,718	メロン、茄子、胡瓜、越瓜、トマト	"
引 佐 郡	5	55	1,005	胡瓜、茄子、トマト	
磐 田 郡	107	1,494	37,292	胡瓜、メロン	増加の傾向
周 智 郡	7	82	2,232	胡瓜	"
榛 原 郡	2	29	500	トマト、	
志 太 郡	2	20	340	胡瓜、トマト	
安 部 郡	9	365	8,350	茄子、胡瓜、トマト	増減なし
庵 原 郡	8	153	3,225	メロン、トマト	
駿 東 郡	1	8	120	メロン	
加 茂 郡	8	300	14,650	メロン、胡瓜	
京 都 府					
葛 野 郡	7	575	23,250	茄子、胡瓜、トマト	
紀 伊 郡	2	125	5,000	茄子、蕃椒	
乙 訓 郡	4	265	7,200	トマト、メロン、胡瓜、茄子	
宇 治 郡	9	1,680	30,000	メロン、胡瓜	
久 世 郡	8	296	8,600	メロン、茄子、胡瓜、蕃椒	
綾 喜 郡	1	14	50	胡瓜	

III 軟 化 栽 培

軟化法は促成栽培と異り東北地方より九州に及び各地夫々之を行ひ得る範圍廣し。軟化品はその性質上多量に消費せらるゝものに非れども生活の向上に伴ふて漸次その需要を増加すべし。

軟白品の主なるものは土當歸、野蜀葵、芽薑、茗荷、芽芋、豆モヤシ等にして土當歸の醸熟軟白は大阪、京都、愛知に最能く發達し、關東地方のものは寒土當歸に屬す。野蜀葵は千葉、東京、埼玉を主とし、薑は静岡、埼玉、京都盛にして茗荷は京都埼玉に優品を産し、豆モヤシは東北地方に多し最近最注目せられつゝあるものに石刁柏あり、數年ならずして相當の發展を見るべし。その他洋菜としてチョリー、エンディーフ、ダンチリオン等漸次市場に知らるゝに至るべし。

次表は報告を得たる各府縣の概況なり。

軟化栽培府縣別統計

府縣名	坪数	産 額	作 物 名	備 考
宮 城		150	土當歸、茗荷	漸次増加の傾向あり
山 形		8,000	大豆のモヤシ	年々増加の傾向あり
福 島		1,150	寒土當歸、野蜀葵、土當歸、石刁柏、茗荷	双葉郡、石城郡
埼 玉		35,770	野蜀葵、芽薑	増加の傾向あり
千 葉		82,824	野蜀葵、土當歸、芽芋、蘿蔔	稍増加の見込なり
石 川		765	野蜀葵、芽薑、芽芋、土當歸、大根モヤシ	益々増加の傾向あり
愛 知		357,500	土當歸、芽薑	漸次増加の見込なり
三 重		5,100	落、土當歸、芽薑	増加の見込なり
京 都		1,000	薑	蒲生郡
滋 賀		780	土當歸、石刁柏、筍、葱	漸次増加の見込なり
大 阪		94,070	土當歸、紫蘇、蓼、芽薑、芽芋、蕨	増加の傾向あり
兵 庫	240	3,757	土當歸	"
岡 山		1,630	苺	漸次増加せんとしつつあり
廣 島		5,000	土當歸、	漸次發達せんとするの傾向あり
山 口		5,240	蕨、芽薑、土當歸、野蜀葵、芽芋、芹	増加の傾向あり
愛 媛		710	芽薑、土當歸、落	逐年増加の傾向あり
長 崎		1,000	芽薑、芽芋、野蜀葵	今後益々増加の傾向あり
熊 本		5,000	根芋、茗荷、芽薑、大豆モヤシ	
大 分		1,480	芽芋	漸次盛んとなりつつあり
鹿 兒 島		117	芽芋、山椒	

第六章 採種栽培

採種に關する統計は正鵠を得たるものと稱し難く、次表に現はれたる數字は甚少きに失すと認めらる。今一例として蘿蔔に就て見るに全國作付反別は 104,937.9 町歩なり。乃ち之に反當五合の種子を要するものとするれば 5,246,895 石となり、次表の合計數と略合致するを見る。然れども實際農家の播種量は到底反當五合に止まるものにあらず、少くとも其二倍以上を使用すべきは實際家の承認する所なるべく、殊に都會地附近若しくは或る地方によりては特に厚播きするか、又は特種の栽培をなして、その幼弱なるものを需要すること多く、此等の場合に於ては數倍以上に達するもの少からざるべし。又自家用採種に至りては到底之を統計に計上するを得ず、且つ商人の經營による委託栽培等の數字は頗る疑はしきものあり、而も多く隱蔽せらるゝの實情なり。

愛知縣の報告によれば以前より宮重大根種子は尾張一萬石と稱せられ實際精細なる數字を集め得れば合計七千石乃至八千石に達すべしとのことにして、同縣にはその他尙五、六種の蘿蔔品種あり夫々相當の採種を行ひつゝあるも計上せられず、即愛知縣下に於ては各種蘿蔔の種子を合算すれば或は一萬石を超ゆることなしとせず。

又練馬大根は關東地方に於ける蘿蔔品種の主要なるものなるが故にその種子は著しき量に上らざるべからず、然るに本統計にはその報告を脱せり、現在東京府の蘿蔔栽培面積は 3,418.5 町歩にして反當五合を播種するものとするも、170,925 石を要するを知る。而して東京の蘿蔔は殆ど盡く練馬種なるべきが故に、少くとも本場練馬地方に於て右量の生産をなしつゝあることを想像し得べし。況やその隣縣千葉、茨城、神奈川埼玉等に於ける同種の栽培は實に甚少にあらず、即練馬大根の採種はその栽培分布區域より察し、最低 600 石を下らざるべし。

かくの如くにして蘿蔔種子は之を全國的に見る時は頗る多額の生産と之に伴ふ消費あることを推定し得。

蘿蔔以外の種類に就ても亦同様に推定するを得べし。

以上述ぶる處の如く次表の統計は實際と相距る遠きものあるべしと雖も他に資料なきを以て止むなく府縣より報告ありたる分につき其儘を列擧せん。

菫 豆

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
新 潟	町 2.0	石 20.0	円	佛國大英及米國大英種
岩 手	町 3.0	石 60.0	円 1,800	商人委託、年々増加の傾向あり

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
岩 手	町 1.5	石 4.9	円 1,290	個人採種、衰退の傾向
茨 城	町 0.05	石 0.3	125	郡農會委託採種
千 葉		石 0.7	350	種苗委託採種増加の傾向
新 潟	町 15.0	石 20.0		羽節成種
石 川	町 3.9	石 5.3	円 5,250	廣島市農會の委託により採種す其他本縣試験場の委託採種あり。本縣以外の縣よりの需も多し益々隆々の傾向あり。品種金澤節成
福 岡		石 0.5	300	個人採種、久留米市

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
新 潟	町 5.0	石 5.0	円	越 瓜 高田種

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
岡 山		石 5.0	円 30	南 瓜 商人の手を経て九州方面へ販賣す増加の傾向あり

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
山 口	町 0.2	石 0.2	円 90	西 瓜 組合委託、増加の傾向あり

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
岩 手		石 40.9	円 6,000	甜 瓜 現状維持
秋 田		石 0.1		山本郡

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
岩 手	町 1.0	石 2.0	円 2,000	茄 子 個人採種、年々増加
秋 田		石 0.7		鹿角郡、山本郡、河邊郡
千 葉		石 0.3	120	種苗委託採種、年々増加
新 潟	町 0.4	石 0.1		魚沼種
島 根	町 1.2	石 0.5		津田種
三 重	町 0.1	石 0.3	180	安濃郡

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考	
福 宮	岡 崎	町	0.1	50	個人採種 佐土原長茄子及宮崎真黒種、共に縣内の需要に應ずるに止る
		石	0.2		

蘿 蔔

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考	
岩 宮	手 城	5.6	81.0	12,150	個人採種、年々減少の傾向あり
秋 福	田 島	0.2	1.4		宮重種、縣農會直營、年々増加の傾向あり
茨 埼	城 玉		26.0		南秋田郡、河邊郡
千 新	葉 瀨	1.5	114.0	11,600	實行組合採種、増加しつつあり
愛 三	知 重	10.0	100.0	5,000	種苗商の委託採種をなす
滋 京	賀 部	5.0			北足立郡、委託採種
岡 廣	山 島		27.6	2,760	種苗商委託採種
山 愛	口 媛	3.0	13.0		津島屋種
福 大	岡 分	534.6	5,346.0	314,760	各郡一圓に採種し、宮重、方領を主とす
鹿 兒	島	0.3	0.4	150	組合採種、増加の見込
		0.2	4.0	200	商人委託、益々増加の傾向あり
		68.0	431.7	20,730	京都市、葛野郡、乙訓郡、紀伊郡、宇治郡、綴喜郡、相樂郡
		0.2	3.0	39	農會幹旋、縣内に於て使用せらる、増加の傾向あり
		0.7	4.3	437	安佐郡、沼隈郡
		3.1	24.7	3,705	阿武郡、吉敷郡
		4.0	40.0	2,800	個人販賣、現状維持
		1.2	7.5	988	久留米市、築上郡、京部郡、田川郡、早良郡
		0.2	0.9	135	漸次増加の見込
		1.3	4.0	660	櫻島大根、宮重、練馬等あり

蕪 菁

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考	
新 高	瀨 知	町	30.0	100.0	寄居種 愛知郡、西春日井郡、丹羽郡、中島郡、等商人委託、海部郡一採種組合 蒲生郡にて日野蕪菁採種す、組合委託、増加の傾向あり 京都市、葛野郡、乙訓郡、紀伊郡、綴喜郡 八東郡、津田蕪菁を採種す
滋 京	賀 都	9.8	12.0	4,350	
島	根	2.1	8.0	421	
		15.0	73.8	4,017	
		5.5	33.0		

胡 蘿 蔔

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考	
岩 秋	手 田	町	3.0	92.0	個人採種、小賣又は卸賣にして年々衰退の傾向あり
			0.4		山本郡

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考		
茨 埼	城 玉	町	5.1	51.0	3,100	多賀郡農會委託採種による札幌胡蘿蔔あり
千 新	葉 瀨	1.0			北足立郡	
長 愛	野 知		1.2	120	採種組合生産	
三 滋	賀 部	1.5	15.0		曾根胡蘿蔔	
兵 廣	庫 島	20.0		20,000	行商を以て他府縣へ販賣しつつあり、著しく増加、長地胡蘿蔔種	
香 宮	川 崎	2.6	13.0	2,600	名古屋市、愛知郡、丹羽郡	
		0.2	3.0	150	組合あり、漸次増加の見込なり	
		0.3	3.8	190	採種組合、商人委託採種、益々増加の傾向あり	
		0.3	101.7	2,990	主として種苗商の委託採種なり、其他に採種販賣するものなし	
		0.01	0.3	27	個人採種の上販賣す	
		24.0	100.0 乃至 130.0	十石=廿五	高松市、香川郡、専ら大阪地方に販出せられ大阪金時胡蘿蔔として供給せらる	
			10.0	1,500	赤江胡蘿蔔種、個人採種、熊本の一部及鹿兒島の各地に販出せらる	

牛 蒡

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考		
岩 宮	手 城	町	4.4	42.0	4,200	盛岡市外、岩手郡
秋 茨	田 城	0.2	1.7		瀧の川種、縣農會直營、年々増加	
埼 埼	玉		0.7		山本郡	
千 石	葉 川	5.2	103.0	5,300	稲敷郡、東茨城郡、久慈郡	
愛 廣	知 島	7.0			北足立郡	
山 愛	口 媛	1.5	4.0	800	採種組合生産、減少の傾向あり	
三	重	0.1	0.8	320	採種組合あり寺井牛蒡の名聲を博しつつあり	
		2.0	12.0	2,400	西春日井、丹羽、中島、寶飯、八名郡	
		0.5	1.7	433	個人採種の上販賣す	
		1.0	15.0	2,250	萩牛蒡、農會經營、増加の傾向あり	
		2.0	20.0	1,700	個人販賣、現状維持	
		0.3	0.5	150	採種組合あり、漸次増加の見込あり	

里 芋

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考		
岩 滋	手 賀	町	13.8	44,900	89,800	個人採種、現状維持の状態にあり
廣	島	0.7	1,400	350	商人委託、現状維持の状態にあり	
		1.0	4,000	1,000	個人採種の上販賣す	

薑

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考		
千	葉	町	1.0	6,000	3,000	採種組合生産、稍増加の傾向あり

葱 頭

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
新 石 茨	町 5.0 1.2 5畝	石 15.0 2.5 0.3	円 2,000 125	エロー・グローブ・ダンバース種其他各種採種組合、縣外よりの需要増加に伴ひ益發展せんとす 多賀郡、個人採種

葱

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
秋 茨 埼 千 新 石 滋 京 山	町 0.05 2.0 1.0 1.0 0.3 1.6 0.2	石 0.2 0.3 27.0 3.0 3.0 9.5 6.7 7.9	円 125 6,450 1,200 57 2,031 15	山本郡 多賀郡農會委託採種 北足立郡 東葛飾郡 中島葱、五千石葱、島上葱 商人委託採種をなす、益々増加の傾向あり 京都市、乙訓郡、相樂郡 個人販賣

漬 菜

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
岩 宮 福 茨 埼 長 愛 新 京 岡 廣 山 福 大 鹿	町 1.5 0.8 1.6 26.0 12.0 4.2 20.7 42.5 6.6 0.4 0.3 0.1 0.3 1.2 0.1	石 15.0 1.7 160.0 250.0 18.0 173.0 148.9 38.0 3.6 1.6 0.2 2.6 0.5 0.7	円 1,500 1,500 15,000 1,800 17,300 2,314 620 232 12 404 150 140	個人採種、現状維持 縣農會直營、漸次増加しつつあり 實行組合採種、増加しつつあり 採種組合、年々増加しつつあり 委託採種 採種組合あり、年々増加の傾向 名古屋市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡、中島郡 海部郡、知多郡、渥美郡 満日、白莖、大沼、長岡菜等なり 壬生菜種、京都市、紀伊郡、乙訓郡、相樂郡 農會斡旋、岡山縣内にて使用せらる、増加の傾向あり 農會採種にて農會員に配付す 個人採種の上販賣す 農事組合、委託採種、増加の傾向なり 漸次増加の見込 始良郡

甘 藍

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
岩 福 茨 宮 新 愛 福 大	町 1.0 0.1 0.1 0.1 1.5 2.6 3.0 0.2	石 2.0 0.1 0.1 4.0 0.6 0.7 0.1	円 2,000 300 1,800 950 225	個人採種、年々増加の傾向あり 縣農會直營、漸次増加の傾向あり 個人採種 縣農會直營、漸次増加 サクセツション種 名古屋市、渥美郡 農事組合、郡農會採種 漸次増加す

薯

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
岩 三 廣	町 2.1 10.0	貫 250 30,000 9,000	円 625 30,000 270	個人採種の上販賣す、年々減少す 多氣郡 個人採種の上販賣す

山

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
奈 良	町 18.0	貫 6,975	円 21,945	近年稍増加す

苘

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
奈 良	町 2.5	貫 10.0	円 2,000	増減なし

菠

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
愛 奈	町 7.7 2.5	石 65.0 75.0	円 1,950 1,065	名古屋市、知多郡 商人委託、増加の傾向あり

蒿

府 縣 名	反 別	收 量	價 額	備 考
奈 良	町 1.0	貫 3.0	円 420	商人委託、増加の見込

第 七 章 加 工

加工の統計も亦正確なりと稱し難し是れその性質上調査容易ならざる爲と、近時加工法の進歩により追々農家の手を離れて商人、會社等によりて生産せられ商人會社等は種々なる事情により其實際を發表するを好まざる等其主因ならん。然れども實際加工品の生産額はその現はれたるものに就て見れば著しき高額に上るものなり。今之を栽培上の生産物と比較するときは愛知縣は採種栽培に於て有數の所なるも蘿蔔その他の種子總産額は約三十五萬圓に過ぎざるに同縣の加工品總額は 4,124,903 圓にして單に蘿蔔切干のみを以てするも 781,279 圓なり。又三重縣には一組合及二ヶ村の澤庵漬生産地ありて總額八十五萬圓を産し恰も同縣の生蘿

葡總生産額に匹敵す。

かくの如く數字上より見て加工品は頗る重要な位置を占むるものなるが故に農家が適當に之を行はゞ時に生産過剰を調節し、又餘剩勞力を利用して相當の副収入を得其經濟を潤澤ならしむるを得べし。

蕃 茄 加 工 品 (ソース、ケチャップ、パルプ)

府 縣 名	數 量	價 額	備 考
茨 城	1,090 ^石	65,274 ^円	稲敷郡、猿島郡、那珂郡
愛 知	102,000 ^箱	851,000 ^円	知多郡、名古屋市、愛知郡、西春日井郡、トマトソース、ケチャップ
罐 詰			
石 川	76,920 ^價	32,267 ^円	筍、漬物類
愛 知	11,200 ^打	521,000 ^円	名古屋市、知多郡、西春日井郡、落、筍、土當歸、グリーンピース
漬 物			
愛 知	3,154,644 ^貫	1,980,624 ^円	名古屋市、知多郡、西春日井郡、碧海郡、澤庵漬、柏漬、蓮漬、刻漬
三 重	108,501 ^樽	851,000 ^円	三重郡、鈴鹿郡、度會郡
山 口	42,144 ^樽	225,375 ^円	吉敷郡南部
徳 島	122,000 ^樽	540,000 ^円	板野郡、麻植郡
愛 媛	62,030 ^貫	33,439 ^円	松山市、澤庵漬、淺漬、伊豫緋蕪菁漬、
乾 物			
愛 知	1,090,826 ^貫	781,279 ^円	中島郡、丹羽郡、知多郡、碧海郡、寶飯郡、海部郡、渥美郡、一宮市、蘿蔔切干、干蘆
玉 重	1,078,294 ^貫	19,663 ^円	北足立郡、南足立郡、入間郡
三 重	100,010 ^貫	27,100 ^円	志摩郡、鈴鹿郡、甘藷切干、蘿蔔切干
愛 媛	694,784 ^貫	209,566 ^円	越智郡、新居郡、宇摩郡、伊豫郡、北宇和郡、南宇和郡、干蘆、乾芋坐、干蘆、甘藷切干、蘿蔔切干
菌 茸			
石 川	5,000 ^價	1,600 ^円	

第 八 章 道 府 縣 の 概 況

I 全國的に見たる道府縣の蔬菜栽培上の位置

大正十三年度に於ける統計數字を基礎として道府縣の全蔬菜作付反別及生産價額を全國の夫れに對比し又蔬菜の各種類別に付其作付反別及生産價額を夫々全國の作付反別及生産價額に對比して大小の順序に依り順位を設けて表示し一見全國に於ける蔬菜生産總額に對する其府縣の栽培狀況を明ならしむる爲次表を作れり。

道 府 縣 名	全面積	全蔬菜		豌豆		蠶豆		筍		苜蓿		菜豆	
		反別	價額	反別	價額	反別	價額	反別	價額	反別	價額	反別	價額
北 海	1	1	1	1	1	41	40			2	2	1	1
道 森	8	30	30	32	26					15	17	2	3
青 森	2	34	35	18	21	45	46	39	42	10	11	4	7
岩 手	16	25	32	25	25	43	44	32	37	13	8	6	8
宮 城	6	19	19	17	15	44	43	42	40	25	25	5	6
秋 田	9	32	23	20	16	46	45	40	38			17	27
山 形	3	15	18	27	14	42	39	19	26	29	26	11	13
福 馬	23	4	6	6	9	20	24	15	33	26	29	3	5
茨 城	20	14	20	44	42	35	37	22	28	20	22	13	11
栃 木	21	18	16	41	37	38	38	41	41	28	27	12	16
群 馬	39	9	4	40	38	25	22	38	34			15	15
千 葉	27	5	8	4	10	8	13	44	43	6	7	8	10
東 京	42	7	2	38	33	36	33	17	3	18	14	10	2
神 奈 川	44	26	15	34	7	30	20	34	19	3	3	22	19
新 潟	5	3	5	30	31	23	28	29	32	11	15	9	14
富 士 宮	33	43	36	43	39	40	42	37	35	30	32	45	45
石 川	34	44	39	24	20	32	32	18	18	22	24	28	28
福 山	38	46	46	42	44	33	34	31	27	34	30	40	41
山 梨	32	45	44	45	41	37	36	43	39			20	22
長 岐	4	20	21	31	24	39	41	36	36	4	5	7	4
岐 阜	7	23	27	22	17	24	21	16	29	31	19	21	20
靜 岡	14	10	10	10	6	31	30	12	20	9	4	29	12
愛 三	28	6	3	7	4	27	27	30	15	8	9	39	35
滋 賀	25	29	33	21	22	11	12	26	17	17	21	30	33
京 都	37	38	38	15	11	19	19	24	16	21	20	24	24
大 阪	31	27	14	8	3	17	15	2	1	24	18	19	9
和 歌 山	47	16	9	2	2	5	3	13	2	32	35	38	32
兵 庫	12	11	14	5	5	3	1	14	11	1	1	25	18
廣 島	40	35	25	36	29	7	7	33	24	33	37	43	39
山 口	30	42	43	35	35	13	11	21	23	37	34	42	40
徳 島	41	41	45	14	19	21	17	25	30	27	28	16	17
香 川	19	37	40	29	27	22	26	7	10	23	38	32	31
愛 媛	18	4	31	11	13	10	9	11	12	14	12	34	42
高 松	11	12	17	9	8	12	10	9	13	7	10	31	29
廣 島	24	17	22	16	30	14	18	4	6	5	6	35	38
山 口	35	33	34	37	40	16	14	6	7			23	21
徳 島	46	39	42	46	45	9	4	27	22	35	31	47	43
香 川	26	22	24	28	36	6	8	8	8	38	39	44	44
愛 媛	17	40	41	13	13	34	15	10	21			14	23
高 松	29	2	7	12	32	1	2	1	4	16	16	27	25
福 岡	43	28	37	39	46	2	6	35	34			4	46
佐 賀	36	21	29	26	24	15	16	23	25	12	13	18	26
長 門	15	8	12	19	34	4	5	3	5	39	36	33	36
熊 野	22	31	23	23	23	23	23	5	9	19	23	26	30
大 分	13	36	28	47	47	28	31	20	14			37	37
宮 崎	10	1	11	33	43	29	29	23	31	36	33	46	47
鹿 兒 島	45	47	47	3	12	18	25					36	34

道府縣名	葱		食用百合		蓮 根		慈 姑		漬 菜		甘 藍		蕎 麥	
	反別	價額	反別	價額	反別	價額	反別	價額	反別	價額	反別	價額	反別	價額
北海道	1	1	1	1	36	37	15	16	1	3	1	1	3	2
青森	20	23	2	8	39	43			14	21	6	7	16	12
岩手	26	25	4	5	34	34	29	26	20	27	5	5	13	16
宮城	15	19	24	29	23	30	7	10	13	18	12	18	31	38
秋田	16	15	17	17	33	39	23	31	15	22	3	3	15	23
山形	17	20	13	16	43	44	36	37	15	14	10	6	18	11
福島	11	14	29	30	32	33	16	17	12	11	8	11	35	42
茨城	4	5	33	34	12	11	38	39	2	2	28	29	6	5
栃木	9	16			35	35			11	12	21	23	14	18
群馬	7	13			31	31			7	7	15	17	26	34
埼玉県	3	3	25	25	9	8	1	1	5	4	20	20	22	14
千葉県	2	2	22	23	4	4	39	38	17	17	19	21	12	17
東京都	10	4	21	20	3	2	2	2	4	1	4	25	5	3
神奈川県	8	6	30	32	14	9	5	4	27	16	16	15	23	26
新潟県	5	8	3	2	13	12	4	5	6	9	9	9	19	24
富山県	34	33	27	21	29	23	37	29	39	36	42	41	42	41
石川県	39	35	19	19	10	10	14	11	36	37	37	39	33	36
福井県	44	40	31	31	37	32	23	24	45	43	41	40	29	33
山梨県	33	30			23	26			23	26	27	27	44	46
長野県	12	10	15	15	20	21	34	32	3	5	2	4	27	22
岐阜県	23	27	9	12	17	18	13	13	35	33	29	31	15	25
静岡県	13	11	35	35	11	15	30	24	18	24	13	16	11	10
愛知県	6	7	5	4	1	3	8	12	11	15	14	13	24	28
三重県	25	26	7	6	25	25	21	23	32	35	40	42	20	27
滋賀県	27	29	10	9	40	42	11	14	40	41	43	46	7	8
京都府	18	12	6	3	18	24	3	3	31	25	35	33	17	15
大阪府	31	17	23	22	16	16	12	7	37	30	11	10	10	4
兵庫県	21	21	14	11	19	20	19	18	22	23	33	36	33	29
奈良県	28	34	8	7			31	33	32	34	47	47	37	13
和歌山県	45	46	20	24	30	29	23	27	46	46	46	44	45	45
鳥取県	38	39	18	14			6	9	43	41	36	33	8	6
島根県	30	32	16	18	27	27	35	30	33	35	39	37	1	32
岡山県	32	31	12	10	6	6	22	15	21	23	34	32	9	7
広島県	14	9	11	13	7	7	9	8	8	8	23	24	21	20
徳島県	22	18	37	33	5	5	25	25	10	10	30	28	39	40
香川県	41	43	36	37	33	33	32	33	42	42	25	26	32	35
愛媛県	43	44	39	39	24	22	33	35	4	45	45	43	2	1
高知県			23	26	22	17	27	22	3	39	31	30	41	43
福岡県	36	37			41	36			41	40	44	45	43	44
佐賀県	19	22	32	27	2	1	20	21	9	6	7	8	30	30
熊本県	42	41	2	33	8	13	24	23	28	32	32	34	46	21
大分県	37	42	34	23	15	14	10	6	30	31	24	22	40	19
宮崎県	35	36	38	36	23	23	17	20	19	20	26	25	34	39
鹿児島県	29	28			21	19	18	19	26	19	22	19	23	31
沖縄県	40	38			42	41			29	29	33	35	36	37
	24	24			43	40			16	13	17	14	4	9
	26	45			45				47	47	18	12		

II 道府縣別概況

1 北海道

蔬菜總 作付反別 114,963.8町
生産價額 31,348,261圓

全國的位置 反別 第一位
價額 第一位

我國蔬菜の大部分は本道の風土に適し、就中西洋種蔬菜の大部分及豌豆、菜豆、南瓜等は最好適す。而もその洋菜栽培の創始古くして、甘藍玉葱、石刁柏及洋種豌豆、菜豆等他府縣に先じて優良なるものを生産し、内地蔬菜栽培の嚮導となれるもの甚多し。かくの如く諸種の蔬菜に富み、且つ面積廣大なるが故に、二十六種の蔬菜中その作付反別の全國に冠たるもの豌豆、菜豆、胡瓜、南瓜、西瓜、甜瓜、蕃茄、蘿蔔、蕪菁、胡蘿蔔、牛蒡、葱、越瓜、百合、漬菜、甘藍の十六種に及ぶ。

土地廣大なるを以て經營は寧粗放的なれども尙相當優品を産す。今後輸送法の進歩及販賣方法の改善に従ひて一層栽培法の進歩を促し優品を産すべきが故に、本道蔬菜の將來は刮目して觀るべきものあり。蕃茄、石刁柏、豌豆等の加工品又將來本道に俟つ處多きものあり。

尙本道は統計に現はれざるも、採種栽培は廣く行はれ各地種苗店の委託栽培等恐らく全國に冠たるものなるべし。本道は融雪後溫暖期を通して雨量少きが故に採種栽培には最好適し、土地廣きが故に之を行ひ得る範圍亦廣し。將來に於ける採種栽培は東北地方と共に最囑望せらるゝ所なり。

2 青森縣

蔬菜總 作付反別 7,443.8町
生産價額 4,181,709圓

全國的位置 反別 第三十位
價額 第三十位

本縣は苹果の著名なる生産地なるも蔬菜方面には何等著れたるものを見ざるの現状なり、然れども今後は相當の發達をなすべきの趨勢にあり大正九年の作付反別七百八町九反、價額三百四十四萬八千二百七圓なりしものが、大正十三年には七千七百四十三町八反、四百十八萬一千七百九圓となり、その全國的地位に於て作付反別第三十二位より第三十位に、價額第三十四位より第三十位に進めり。

氣候比較的冷涼なるが故に、一般早取品には望なきも、貯藏及輸送に耐ふるものを關東以西の市場に出荷するに於ては季節はづれ品として溫暖地の市場に相當歡迎せらるべきか。

3 岩 手 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	6,719.7町 3,315,100圓
全國的位置	反別 價額	第三十四位 第三十五位

本縣は大正九年より見るときは反別價額共に減少し特に秀でたる蔬菜あるを見ず。稍々聲價あるものに甘藍及食用百合あれども是尙主要なる位置を占むるものに非ず。一般東北地方の状態として本縣蔬菜もその發展には相當前途あるものゝ如し。

特産的種類としては南部長茄子、南部甘藍、南部白牛蒡を擧ぐべし。

4 宮 城 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	7,873.1町 3,852,909圓
全國的位置	反別 價額	第二十五位 第三十二位

本縣も亦大正九年より見るときは反別、價額共に減少し、蔬菜栽培は甚不振なれども、その採種栽培は縣農會直營のもの大部分にして相當發達の途次にあり、特に聲價あるものに松島白菜あり。その他統計に現はれざるも本縣の芹栽培は夙に世に知られたるものなり。

5 秋 田 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	8,780.7町 5,937,716圓
全國的位置	反別 價額	第十九位 第十九位

本縣も亦栽培の振はざるを見る、稍々知られたるものに葱、能代人參河邊長茄子あり、蒞は名物なるも蔬菜としての價値を問ひ難し。採種栽培、加工等又特筆すべきものなし。

6 山 形 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	6,832.4町 4,592,987圓
全國的位置	反別 價額	第三十二位 第二十六位

大正九年には反別第三十四位、價額第三十二位なりしも大正十三年には反別第三十二位、價額第二十六位となり、東北地方としては異數の發達をなせり、然れども特に知られたる蔬菜もなく、近年甘藍の栽培最注目すべきものとす。

7 福 島 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	10,270.6町 6,128,284圓
全國的位置	反別 價額	第十五位 第十八位

大正九年以來統計上何等の變異を認めず、但甘藍、葱頭、蓮根等に限り近來漸次増加の傾向あり。世に知られたるものに早生小南瓜、葉込胡瓜あり、最近甚好評なる會津栗南瓜は本縣内に於て初めて世に紹介せられたるものなり。

本縣は東北地方としては溫暖なる方なるが故に極めて小數の温室、木框栽培等あるも未だ問題とするに足らず、採種栽培としては商人委託の白菜の採種少からざるものあれども計數的に明瞭ならず。

8 茨 城 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	16,050.7町 9,413,918圓
全國的位置	反別 價額	第四位 第六位

本縣は全國有數の蔬菜栽培地にして大正九年以來計數的に幾分頽勢を示すも、その漬菜、茄子、牛蒡の如き全國の第二位に居り、胡瓜、胡蘿蔔、菜豆又一、二位の間にあり。近く大都會を控へ著しく地の利を得つゝあるを以て之等の栽培はよく發達普及し、今後尙大に期待すべきものあり。特産品として有名なるは茨城白菜にして夙に全國に其名を知らる。

露地栽培の普及につれ、促成栽培亦盛にして今日の努力は充分報ひられつゝあるが如きも、將來に於ては神奈川以西の溫暖なる地方に拮抗するは容易ならざるべし。

採種栽培亦盛なり、最聲價を得たるものは白菜類にして、その他は主に胡蘿蔔、胡瓜、牛蒡等なり、之等の大部分は稻敷郡にありて商人委託のもの多く稍々信を置き難きも多賀、久慈、茨城、諸郡に散在せる小數のものは農會委託又は組合の經營に係るものなり。

9 栃 木 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	10,280.4町 5,665,965圓
全國的位置	反別 價額	第十四位 第二十位

大正九年に比し大正十三年は大なる減少を示し反別第十位價額第十一位なりしものが最近反別第十四位價額第二十位に下れり。蓋し養蠶の關係にあらざるなき乎。里芋は實に本縣の特産にして、その他漬菜、蘿蔔の如き、本縣としては重要なれども全國的に見れば反別十一位産額二十位にあり著しく見劣りせらる。本縣特産品としての扁蒲は特用作物に於ける麻と共に一大異彩を放てり。

10 群馬縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	9,632.8町 6,299,102圓
全國的位置	反別 價額	第十八位 第十六位

全國的位置に於ては大正九年より十三年の方下位にあれども、その反別及價額の實際に至りては相當の増加を示せり。栃木縣と同じく養蠶極めて盛なるが故に園藝方面には幾分手の及ばざる所あり。本縣の特産は下仁田葱及赤羽南瓜にして下仁田葱は夙に其聲價を知られ三俣葱、亦最近世に紹介せられつゝあり。促成栽培、採種栽培に至りては未だ特筆すべきものを見ず。

11 埼玉縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	12,243.3町 10,493,416圓
全國的位置	反別 價額	第九位 第四位

本縣は武蔵平野の東北部に位する小縣なれども土地概ね平坦にして耕作面積廣く地味亦蔬菜に適し且つ近く大都會を擁し頗る有利なる位置を領す。故に各地に各種蔬菜の特産地を有し蔬菜栽培地として重要な地位を占む。

促成栽培、採種栽培、加工等に至りては特筆すべきもの無きも雜蔬菜の種類は極めて多く、従つて之が生産巨額なるが如し。

12 千葉縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	15,051.3町 8,785,419圓
全國的位置	反別 價額	第五位 第八位

本縣も亦平野に富み、蔬菜栽培に適する所多く、且つ氣候溫暖にして温室栽培・促成栽培に過せる所少からず。而して近く東京、横濱の大市場を擁するが故に蔬菜栽培地として最有利なる位置にあるも、その販賣方法及栽培技術に至りては尙改良の餘地極めて多し、今後充分覺醒し着々改善するに於ては蓋し著しき發展をなすべし。

採種栽培は印旛郡八街附近にて商人委託のもの頗る多きが如きも、その數字明ならず、特産品として擧ぐべきものに早生種南瓜、蠶豆、牛蒡西瓜あり。

13 東京府

蔬菜總	作付反別 生産價額	13,676.9町 21,428,890圓
全國的位置	反別 價額	第七位 第二位

大都會の郊外に位し而も土地平坦地味肥沃にして各種蔬菜に適するを以て、栽培家は最有利なる經營をなしつゝあり。全面積 183,230 方里にして全國の第四十二位に居るも、その蔬菜作付反別は第七位を占め、價額に至りては北海道を除きては實に首位にあり。早く既に蔬菜栽培の發達せると土質良好なる所より下記の如き特産品又は優秀品甚多し。

練馬大根、瀧野川胡蘿蔔、同牛蒡、千住葱、龜戸大根、早生小燕、居木橋南瓜、菊座南瓜、節成胡瓜、蓮根、漬瓜、甘藍

數字上明ならざるもその特産地特産種の多き處より、それ等の作物の採種栽培亦盛にして就中、大根、葱、胡瓜最著しく、甘藍中野種の如きは個人的のものなれども又異彩なり。

促成栽培又發達しかの砂村（砂町となる）の如き昔より此の種栽培の名所なり。最近温室の建築頗る多くメロン、蕃茄、胡瓜等の促成最盛なり。

14 神奈川縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	7,854.8町 6,823,167圓
全國的位置	反別 價額	第二十六位 第十五位

本縣も亦東京及横濱の大都市を控へ氣候溫暖にして蔬菜栽培上重要な位置を占むるも、土地狹小なる爲全國的位置に於ては東京、埼玉、千葉と大なる懸隔を有す、氣候溫暖なるが故に早熟栽培、促成栽培益増加の趨勢にあり。

採種栽培加工等特筆すべきものを見ず。

15 新潟縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	16,873.3町 10,176,700圓
全國的位置	反別 價額	第三位 第五位

本縣は有名なる越後平野を擁し、その信濃川沿岸一帯の地は實に蔬菜栽培に好適し、特産野菜又多く、將來頗る有望なる蔬菜供給地たるべし。夙に採種栽培熱心に獎勵せられ、能く堅實なる發達をなしつゝあり、

土地廣く地味適し、害敵少く且つ梅雨なきが故に採種栽培上大に注目すべきものあり。主要なる採種統計を擧ぐれば次の如し。

種	類	品	種	反別	收量	備考
胡	瓜	刈羽節成		15.0	21.0	特産品
越	瓜	高田越瓜		5.0	5.0	
茄	子	魚沼巾着		0.4	0.4	特産品
玉	葱	主としてエーローゲンパース		5.0	15.0	特産品
葱		中島葱、島上葱、五千石葱		1.0	3.0	
甘	藍	サクセスシヨン		1.5	4.0	
大	根	津島屋		2.0	13.0	特産品
人	參	曾根人參		1.5	15.0	
白	菜	満日白菜		1.5	6.0	
體	菜	白莖體菜		30.0	100.0	
蕪	菁	寄居蕪菁		30.0	100.0	特産品
菘		大沼菜		8.0	30.0	
菘		長岡菜		3.0	12.0	
豌豆	豆	佛國大莢、米國大莢		2.0	20.0	

16 富 山 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	4,303.1町 3,236,535圓
全國的位置	反別 價額	第四十三位 第三十六位

全面積狹小従つて耕地殊に畑地に乏しく、且つ其位置の關係上蔬菜供給地として大なる發展を望み難し。西伯利亞方面に輸出の道充分に開かるゝに至らば生産者の幸なり。曾て聲價ありし黒部地方の西瓜も現今の儘にてはその全國的位置漸次退歩するを免れず。

17 石 川 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	4,104.5町 2,792,216圓
全國的位置	反別 價額	第四十四位 第三十九位

本縣も亦その作付反別甚少く、統計上最近何等の發展を見ず。然れども甘藍、玉葱、蓮根、牛蒡、筍等多少輸出的販路を有し、今後はその栽培面積を増加すべし。特産品としては小阪の蓮根最有名にして、赤井牛蒡稍々知られたり。

溫床栽培は各地に之を試みつゝあるも到底東海道方面の敵にあらず。

採種栽培としては葱、玉葱、牛蒡、胡瓜等を擧ぐべきも、その産額多からず。加工品には筍罐詰及漬物罐詰等あり。

18 福 井 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	3,196.8町 1,963,003圓
全國的位置	反別 價額	第四十六位 第四十六位

最も特色なき縣とすべし。大正九年以來、反別價額共に減少し内地府縣の中最貧弱なる順位に在り。

19 山 梨 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	3,248.9町 2,259,719圓
全國的位置	反別 價額	第四十五位 第四十四位

本縣は養蠶及葡萄栽培盛にして蔬菜の栽培は寧閑却せられ。本表に現はれたる主要蔬菜に就て見るも今後多くの發展を望み難し。採種栽培及加工は殆ど顧みられず。促或栽培は中巨摩郡龍王村最古く發達して有名なるもその他は殆ど問題とするに足らず。

20 長 野 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	8,424.8町 5,570,615圓
全國的位置	反別 價額	第二十位 第二十一位

本縣は山嶽多く養蠶盛にして蔬菜栽培に手の及ばざるが如き所あれども工場、溫泉等少からざる爲之が消費は比較的大なり。大正九年以來統計上殆ど變化を示さざるは蓋し爾來引續き養蠶の有利なりし爲ならん。

最近山葵、甘藍の栽培著しく發達し穂高町の山葵、輕井澤附近及桔梗ヶ原の甘藍は實に全國に冠たり。その他菘、越瓜、牛蒡等は市場に其名を知らるるのみならず特産品としては羽廣菜、野澤菜を擧ぐべし。不時栽培は殆ど顧みられず。採種栽培は長地の人參最知らる。

21 岐 阜 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	8,134.7町 4,540,481圓
全國的位置	反別 價額	第二十三位 第二十七位

長野縣と同じく山嶽多く縣の全面積に比し蔬菜の作付反別少し。大正九年に比すれば反別は減少したるも價額に於ては略等しく自給自足の状態と認めらる。島南瓜、島大根夙に知られ、又守口大根最有名なり。

促成、採種栽培及加工等見るべきものなし。

22 静 岡 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	11,725.1町 7,815,395圓
全國的位置	反別 價額	第十位 第十位

氣候溫暖にして海岸一帯よく蔬菜の栽培に適し交通の便亦良好なるを以て斯業は夙に發達し特に早熟栽培に於て一大異彩を放てり。生産家はそれぞれ相當確實なる販路を有するが故にその生産品は比較的高價に且順調に販賣せらる。大正九年度に於て反別十二位價額十三位なるに對し十三年は兩者共に十位に進めり。露地品としては田方郡の胡蘿蔔、濱名郡の牛蒡、久能（安倍郡）及楊原（沼津市）の胡瓜、清水の苺、天城の山葵、白濱の豌豆最も著はれ、六月芋、熊野芋、見付南瓜又知られたり。促成栽培又夙に秀で清水市外の久能村、濱名郡下の芳川、豊濱村等その産額頗る多し。採種栽培に付ては調査なきも里芋、苺苗、生薑、甘藍（豊田早生）山葵苗等合算すれば相當の額に上るべきものと認めらる。加工品の統計亦不明なるも甘藷煮芋、生薑漬、山葵漬等は其産額全國的に冠たるものなるべし。

23 愛 知 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	14,233.9町 11,007,066圓
全國的位置	反別 價額	第六位 第三位

本縣は濃尾平野の大部分を占め各種蔬菜の適地に富めるを以て古來之が栽培に於て一頭地を抜き各種蔬菜に特産品少からず。又枇杷島の如き全國的大市場と名古屋の如き大消費地を有し其配給の圓滑消費の甚大なると共に之が生産は逐年増進しつつあり。

大正九年以來反別の増加は殆ど認められざるも、價額に於ては二百萬圓餘の増加を示し、全國第三位にあり。特産品の主なるもの次の如し。

宮重大根、方領大根、堀江大根、春福大根、美濃早生大根、大治蕪菁、愛知白菜、野崎白菜、野崎甘藍、橘田茄子、早生欸冬、蓮根、ジキ南瓜。

促成品の栽培又極めて能く普及し温室栽培に於て二十萬圓、木框栽培に於て三十萬圓以上を産す、唯本縣の促成栽培は單に技術の巧妙なるに恃んでその施設の進まざるが爲に、栽培坪數に比して生産額少き憾あり。

り。

本縣の採種栽培は實に全國中の偉觀にして統計に表はれたるものは約三十五萬圓なるも調査漏れのもの少からざるべきが故に實際額は五六十萬圓を下らざるべし。

加工品としての澤庵漬及切干大根は古來有名なり。最近は罐詰類の發達著しく又ソース、ケチャップの製造最も注目すべし。

24 三 重 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	7,503.0町 3,740,307圓
全國的位置	反別 價額	第二十九位 第三十三位

大正九年以後反別、價額共に減少を示し數字上東北諸縣の如き現況にあるも、不時栽培加工等は相當留意せられつつあるが如し。不時栽培品の主なるものは、胡瓜、越瓜、茄子にして加工品は澤庵漬を主とし、甘藷切干亦少からず。特産品としての薯蕷は夙に有名にして、種子の供給亦少からざるが如し。

25 滋 賀 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	5,381.2町 2,830,792圓
全國的位置	反別 價額	第三十八位 第三十八位

蕪菁、扁蒲の如く多少世に知られたるものあるも他に特色あるものを見ず。大正九年以來反別、價額共に減少の傾向にあり。促成、採種、加工亦見るべきものなし。

26 京 都 府

蔬菜總	作付反別 生産價額	7,773.4町 7,161,950圓
全國的位置	反別 價額	第二十七位 第十三位

舊都を中心とするを以て蔬菜の栽培夙に發達し、現今尙蔬菜栽培地として全國に推稱されつつあり。大正九年の反別三十位價額二十六位なるに對し十三年は二十七位及十三位に進み頗る有利なる趨勢にあり。聖護院大根、聖護院蕪、聖護院胡瓜、鹿ヶ谷南瓜、桂瓜、九條葱、壬生菜、醋莖菜、京菜、茂木茄子等特産品甚多し。

促成栽培又夙に發達し、現今淀地方の胡瓜最有名なり。加工の統計を脱せるも筈は全國に於ても有名なる産地にして之が罐詰も相當の額に達すべく、グリーンピー罐詰及漬物類亦少からざるが如し。

27 大 阪 府

蔬菜總	作付反別 生産價額	10,036.9町 8,523,527圓
全國的位置	反別 價額	第十六位 第九位

同府は面積に於て全國中最小なるも阪神の大都市を控ふるのみならず地勢平坦にして蔬菜栽培に適せると裏作に利用せらるゝこと多き爲、その栽培面積は全國中の十六位、價額は九位に在り。

從來有名なるものに蕪菁、玉葱、西瓜、胡蘿蔔、土當歸等あり。就中泉州玉葱は全國第一にして、その他特産品としては大阪市姫島町の一寸蠶豆、今宮の金時人參等知られたり。

不時品としては温室栽培最盛にして木框栽培は著しからず。採種及加工に付ては統計なきを以て不明なり。

28 兵 庫 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	11,497.3町 6,897,963圓
全國的位置	反別 價額	第十一位 第十四位

大正九年以來反別、價額共多少の増加を示すも阪、神の大市場を控へたる割合に發達せず是蓋し阪、神、明石、姫路附近の地方は極めてよく發達せるも北部山間地方の發達之に伴はざる爲なるべし。特に有名なるは苺にして鳴尾地方夙に顯はれ里芋石川種亦知られたり促成栽培としては温室8棟100餘坪、木框100餘にして産額多からず採種栽培としては揖保郡網干町の金時人參を擧ぐべく反別三町收量百石餘、價額約三千圓あり。

29 奈 良 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	6,643.9町 4,601,793圓
全國的位置	反別 價額	第三十五位 第二十五位

本縣は全面積狭小且つ山嶽に富み耕地に乏しけれども盆地一帯はよく蔬菜の栽培に適す。近年最も聲價を高めたる大和西瓜は主として此の盆地に産す。磯城郡最多く生駒、北葛城、之に次ぎ、山邊、添上の諸郡にも普及せり。畑山葵も頗る有名にしてその生産額は長野縣に次で第二位にあり添上郡東山村、山邊郡丹波市町及波多野村最盛なり。近年添上郡一部に秋胡瓜の栽培著しく發達し、十二年度統計には十萬圓と稱すれども最近は三十圓に上るといふ。その他特産品としては牛蒡、薯蕷蕃椒を

擧ぐべく、不時品としては温室五棟、三百坪の外見るべきものなし採種栽培中には下記の如きものもあれども、何れも商人委托のものなり。蒔蘿草七十五石、玉葱五十石、蒿苳三十石、蒿蒿十石、山葵約七千貫。

30 和 歌 山 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	4,344.0町 2,473,837圓
全國的位置	反別 價額	第四十二位 第四十五位

本縣は全面積に於て全國の三十位に居るも、山多くして平地甚乏しきが故に蔬菜の作付反別は四十二位にあり、統計上大正九年以後反別價額共に減少せり。然れども北方京、阪、神の大市場に近接するを以て氣候温暖なる海濱地に於ける早熟、促成栽培は今後極めて有望なるものと認めらる。採種、加工の計上すべきものなし。

31 鳥 取 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	4,570.1町 2,142,869圓
全國的位置	反別 價額	第四十一位 第四十五位

大正九年以來反別、價額共に多少の増加を示せるも全國的位置に於て甚低し。從來西瓜、米子蕪菁、行徳茄子、牛蒡等多少の特産品なきに非れども其の産額著しからず。促成、採種、加工共に記すべきものなし。

32 島 根 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	6,249.1町 2,704,534圓
全國的位置	反別 價額	第三十七位 第四十位

大正九年以來反別、價額共に相當の増加を示し連年若干發展の趨勢にあり、山葵、百合、津田茄子、津田蕪稍知らる。促成、採種、加工の統計なし。

33 岡 山 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	7,935.1町 4,004,176圓
全國的位置	反別 價額	第二十四位 第三十一位

大正九年に比し反別に於ては減せるも價額は幾分の増加を示し、その趨勢上變化を認めず。

果樹に秀でたる本縣は蔬菜に於ては寧自給自足の状態なり。特産品としては新泊南瓜を推すべし。促成、採種、加工殆ど擧ぐべきものなし。

34 廣 島 縣

蔬菜總 作付反別 10,698.7町
生産價額 6,165,938圓

全國的位置 反別 第十二位
價額 第十七位

中國地方に於て知られたる蔬菜地なれども最近著しき發展を見ず。特産品としては廣島赤花蠶豆、廣島菜、廣甘藍、ウグル大根等を擧ぐべく、促成栽培は殆ど廣島市にのみ行はるゝもその産額は比較的多し、主として胡瓜、土當歸、落を栽培す、採種は特産品に就て行はるゝ以外少量なり。

35 山 口 縣

蔬菜總 作付反別 9,746.9町
生産價額 5,570,572圓

全國的位置 反別 第十位
價額 第二十二位

大正九年以來著しき増減なきも最近頃に發展の趨勢にあり。統計上山葵及促成栽培の額著し。特産的のものとしては横野千成茄子、萩牛蒡を推すべく、採種栽培は萩牛蒡稍々大量にして、その他葱、西瓜、大根等小數の生産あり。加工品としては吉敷郡下の澤庵漬二十餘萬圓を擧ぐべし。

36 德 島 縣

蔬菜總 作付反別 6,779.9町
生産價額 3,499,900圓

全國的位置 反別 第三十三位
價額 第三十四位

栽培方面には特色なき縣の一なり最近統計上殆ど増減なし。不時栽培としては海岸地方に少數の木框あるのみ。加工品としての澤庵漬は有名にして左の統計あり。

地 方 名	樽 數	價 額	備 考
板野郡藍園村	65,000	260,000	一般製造者ハ阪神地方ニ販賣ス
同 北島村	18,000	90,000	
同 堀江村	16,000	80,000	
同 應神村	10,000	50,000	
麻植郡鷹島町	12,000	60,000	

37 香 川 縣

蔬菜總 作付反別 5,079.1町
生産價額 2,627,440圓

全國的位置 反別 第三十九位
價額 第四十二位

本縣は全面積頗る狹小、従つて耕作反別亦乏し、大正九年以來生産額は寧減少せり。本縣の促成は木框を用ゐず、皆藁圍温床にして總坪數約三千坪産額一萬圓と稱せられ、主として胡瓜を栽培す。採種栽培としては殆ど胡蘿蔔のみにして、その年産額百乃至百五十石にして大阪金時人參の採種地なりといふ。加工品の統計なし。

38 愛 媛 縣

蔬菜總 作付反別 8,256.9町
生産價額 4,661,701圓

全國的位置 反別 第二十二位
價額 第二十四位

四國第一の園藝地にして、蔬菜の作付反別及價額亦其首位にあり、然れども最近特に發展の迹を認めず。促成及採種共に振はず、木框の數は四百に充たず。採種は大根、牛蒡の極めて少量を生産するのみ。加工品約二十五萬圓、その主なるものは乾大根、甘藷切干、干瓢、澤庵、伊豫緋蕪漬等なり。

39 高 知 縣

蔬菜總 作付反別 5,030.8町
生産價額 2,682,427圓

全國的位置 反別 第四十位
價額 第四十一位

四國に於て最近數字上發達の跡を印せるものを本縣とす。蓋し従前の發達鈍かりしと暖地なる特長を利用して早熟栽培等有利なるものの栽培を行ふに至りたる爲なるべく、今後交通機關の發達と共に尙大に發展の餘地を有す。促成、採種、加工の統計を脱す。

40 福 岡 縣

蔬菜總 作付反別 * 10,892.9町
生産價額 8,986,307圓

全國的位置 反別 第二位
價額 第七位

本縣は平野廣く耕地面積最廣し。炭坑多く都市に富み人口稠密にして蔬菜の消費多きため縣外より移入する量少からざるも、縣内の栽培亦盛にしてその作付反別は内地中の最高位にあり。全國的位置に於ては大正九年に比し大正十三年の方高位にあるも、その實際反別及價額は共に著しき減少を示せり。蓋し一般不況と炭坑不況の爲需要の減少せる影響ならん。筍、蓮根、葱頭の産額著しく、特産品としては三毛門南瓜、博多茄子、博多胡瓜、四十日大根、早生扁蒲を擧ぐべきも著しきものにあらず。

促成栽培は數字上甚多額にして主として木框栽培なり。採種栽培としては白菜、大根、南瓜、茄子、胡瓜、甘藍等その種目及生産地方多けれども特に著しきものなく略自給自足の状態と見るべし。加工の統計なし。

41 佐 賀 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	7,572.6町 2,980,678圓
全國的位置	反別 價額	第二十八位 第三十七位

全面積に比し相當耕作反別を有し自給自足の状態なり。蠶豆、菜豆の産額多し。促成採種加工調査せるものなし。

42 長 崎 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	8,319.0町 4,200,396圓
全國的位置	反別 價額	第二十一位 第二十九位

大正九年に比し反別、價額共に減少せり。南瓜の栽培特に多く長崎白菜世に知られたり。促成栽培の殆ど見るべきものなく、採種栽培としては大根、白菜、蕪菁、甘藍等あるも殆ど自家用の範圍を出てす。加工の統計なし。

43 熊 本 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	13,209.1町 7,510,938圓
全國的位置	反別 價額	第七位 第十二位

大正九年以後數字上發展の趨勢にあらず。但し西瓜、筍、蓮根、南瓜葱頭、甘藍、蕃茄等増加の傾向にして餘は漸次減少しつつあり縣外移出の主なるものは人吉牛蒡にして年額二十萬圓と稱せられ、その他西瓜、青芋、南瓜、茄子も若干北九州に移出せられつつあり。特産品としては熊本巾着茄子なるべし。促成栽培軟化栽培殆ど云ふに足らず、産額一萬圓内外のものなり。

44 大 分 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	7,229.8町 4,617,709圓
全國的位置	反別 價額	第三十一位 第二十三位

山嶽多く平野に乏し。蔬菜栽培は多く沿海地に於て行はる。最近發展せるものあるを見ず。促成栽培は海岸及温泉地等に於て有利なる經營を

なし得べきも、未だ進境にあるものと見るを得ず。採種栽培又云ふに足らず。加工統計なし。

45 宮 崎 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	6,299.4町 4,411,924圓
全國的位置	反別 價額	第三十位 第二十八位

九州にては鹿兒島に次ぎ大面積を有するも蔬菜の作付反別は之に伴はず。蓋し從來交通不便なりし爲自給自足に甘んじたりし爲にして今後交通機關の發達に伴ひ、且つ天惠の暖地なるが爲に相當發達すべきものと認めらる。近時早熟栽培大に注目せられ、促成栽培は東臼杵郡下に發達しその他宮崎、都城等に多少存在すれども總計二百乃至三百坪に過ぎず何れも木框栽培なり。採種栽培としては赤江人參を擧ぐべく多少縣外に移出す。加工品としては切干大根相當あるも數字明ならず。

46 鹿 兒 島 縣

蔬菜總	作付反別 生産價額	10,581.6町 7,690,484圓
全國的位置	反別 價額	第十三位 第十一位

九州最大の縣なれども蔬菜の作付反別に於ては九州中第三位、價額に於ては第二位にあり。最近の趨勢著しき増加を示し、宮崎と同じく温暖なる所に於ける早熟栽培は多少注目に値す。特産品としては櫻島大根の外なし。採種、加工、促成殆ど見るに足らず。

47 沖 繩 縣

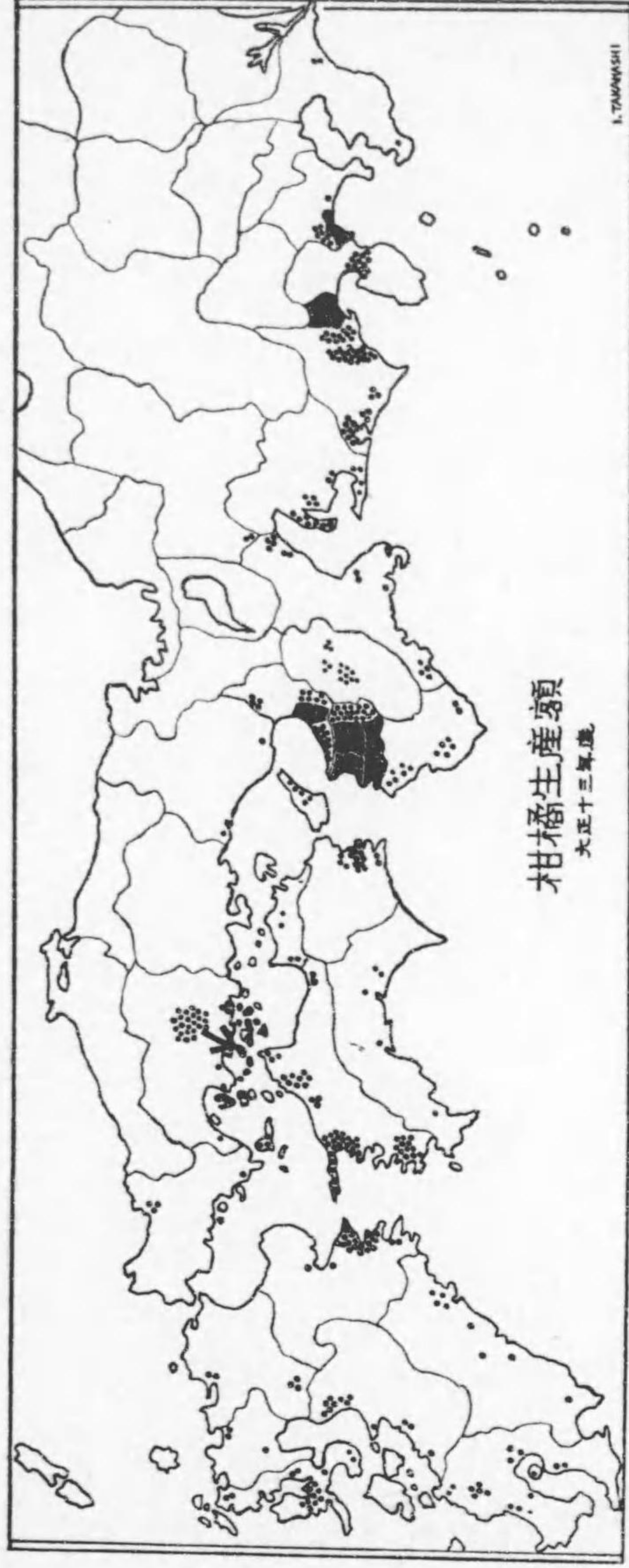
蔬菜總	作付反別 生産價額	2,593.4町 933,879圓
全國的位置	反別 價額	第四十七位 第四十七位

本縣の産業は甚貧弱なり、近年政府の産業助成の計畫實施せられ園藝方面に於ては特に蔬菜栽培の試験研究、指導獎勵並に販賣斡旋等夫々畫策せられつつあり。天然の温暖なる氣候を利用して早熟品を内地市場に供給するが如きことを行はゞ相當の經營をなすを得べし。甘藍、菜豆、蠶豆、胡瓜、茄子、西瓜等の内地普通品缺乏の時期に於ける移出事業は島民の努力如何により將來發展し得べき可能性多し。

後 編

果樹栽培の状況





柑橘生産額
大正十三年産

I. TANAKAWA SHI





目次

1. 果實總産額	1
2. 道府縣の主要果實産額	1
3. 柑 橘	3
(1) 柑橘の累年統計	3
(2) 主要府縣別柑橘統計	4
(3) 蜜柑類(温州, 紀州の類)統計	6
(4) 主要府縣別蜜柑類(州温, 紀州の類)統計	6
(5) ネーブル、オレンジ統計	7
(6) 主要府縣別ネーブル、オレンジ統計	8
(7) 夏橙統計	8
(8) 主要府縣別夏橙統計	9
(9) 其の他の柑橘類の統計	9
主要府縣に於ける蜜柑類(温州, 紀州の類)の栽培概況及び統計	9
4. 梨 (和梨及洋梨)	21
梨の累年統計	21
主要府縣別統計	22
主要府縣の栽培概況及び統計	24
5. 苹 果	36
苹果累年統計	36
主要道府縣別統計	36
主要道府縣の栽培概況及び統計	37
6. 桃	41
桃累年統計	41
主要府縣別統計	41
主要府縣の栽培概況及び統計	43
7. 葡 萄	49
葡萄累年統計	49
主要道府縣別統計	49
主要道府縣の栽培概況及び統計	50
8. 枇 杷	56
枇杷累年統計	56

主要府縣別統計56
 主要府縣の栽培概況及び統計57

9. 櫻 桃59
 櫻桃累年統計59
 主要道府縣別統計59
 主要道府縣の栽培概況及び統計59

10. 柿61
 柿累年統計61
 府縣別統計62
 各府縣の主要栽培品種又は代表的品種63

11. 乾柿65
 乾柿累年統計65
 主要府縣別統計65

12. 梅66
 梅道累年統計66
 道府縣別統計67

後 編 果樹栽培の状況

1. 果 實 總 産 額

我國の主要果實の總産額は大正十三年の統計に依れば 8421 萬圓にして柑橘類は其の主位を占め全産額の 29.3% に當り柿は第二位にして 23.6%、苹果は 8.1%、葡萄は 6.7%、桃は 6.4% に相當せり。大正十三年度の各種別産額は次ぎの如し。

大正十三年度各種果實産額

種	類	價 額
柑 橘 類	(各種合計)	24,698,164
柿	(乾柿を含む)	19,936,024
梨	(洋梨を含む)	13,226,265
苹 果		6,373,223
梅		6,525,459
葡 萄		5,631,692
桃		5,372,833
枇 杷		1,719,422
櫻 桃		717,880
計		84,210,962

實際の産額は此の統計に現はれたる數字よりも多かるべく、更に栗及び其の他の果實を合せたる我國果實の實際の生産額は凡そ 1 億萬圓に達すべし。

2. 道府縣の主要果實産額

大正四年に於ける主要果實(栗其の他を含まず)の總産額は 2,789 圓にして、静岡最も多く和歌山、神奈川、福岡、兵庫、廣島、愛媛、愛知、大阪、福島、長野……の順位なりしが大正十三年には静岡、和歌山、青森、大阪、神奈川、愛媛、廣島、熊本、長野……の順位となり多少の變動を來せり。今大正四年と大正十三年に於ける各道府縣の主要果實の總産額と各其の國産額に對する割合並に大正四年に對する大正十三年の増

減割合を表示すれば次ぎの如し。

大正四年及大正十三年に於ける主要果實の道府縣別總
産額並に全國産額に對する割合

道 府 縣 名	價 額		全國ノ産額ニ對スル%		九 箇 年 間 二 於 合	
	大正四年	大正十三年	大正四年	大正十三年	増	減
靜 岡	1,825,936	6,533,765	6.54	7.76	1.22	
和 歌 山	1,796,484	5,254,743	6.34	6.33		0.11
青 森	764,618	4,141,906	2.74	4.92	2.18	
大 阪	934,012	3,784,989	3.35	4.49	1.14	
神 奈 川	1,266,324	3,742,617	4.54	4.44		0.10
愛 媛	984,130	3,135,008	3.53	3.72	0.19	
廣 島	983,530	3,092,314	3.54	3.67	0.13	
熊 本	487,478	2,442,464	1.75	2.90	1.15	
長 野	822,871	2,403,174	2.95	2.86		0.09
福 岡	1,001,019	2,379,039	3.59	2.83		0.76
新 潟	790,157	2,378,413	2.83	2.82		0.01
大 岡 山	645,160	2,325,969	2.31	2.76	0.45	
福 島	741,743	2,235,719	2.66	2.65		0.01
鹿 兒 島	823,761	2,039,595	2.97	2.42		0.55
北 海 道	363,793	1,978,678	1.30	2.35	1.05	
千 葉	418,288	1,867,334	1.50	2.22	0.72	
愛 知	605,246	1,805,723	2.17	2.14		0.03
山 梨	838,042	1,676,435	3.00	1.99		1.01
奈 良	467,512	1,673,953	1.68	1.99	0.31	
兵 庫	623,135	1,612,512	2.23	1.91		0.32
長 崎	1,026,431	1,588,540	3.68	1.89		1.79
佐 賀	575,198	1,588,323	2.06	1.89		0.17
茨 城	438,719	1,521,617	1.57	1.81	0.24	
山 形	551,047	1,515,341	1.98	1.80		0.18
京 都	425,189	1,474,103	1.52	1.75	0.23	
秋 田	476,753	1,272,363	1.71	1.51		0.20
三 重	629,024	1,262,266	2.26	1.49		0.77
德 島	486,856	1,229,688	1.75	1.46		0.29
山 口	436,354	1,204,593	1.56	1.43		0.13
山 崎	340,546	1,157,103	1.22	1.37	0.15	
岐 阜	537,224	1,151,804	1.93	1.37		0.56
香 川	294,847	1,143,194	1.06	1.36	0.30	
香 川	393,266	1,132,293	1.41	1.35		0.06
香 川	380,543	1,057,002	1.36	1.26		0.10

道 府 縣 名	價 額		全國ノ産額ニ對スル%		九 箇 年 間 二 於 合	
	大正四年	大正十三年	大正四年	大正十三年	増	減
東 京	334,855	1,020,024	1.42	1.21		0.21
宮 崎	330,471	977,347	1.18	1.16		0.02
栃 木	453,693	922,346	1.63	1.09		0.44
群 馬	319,642	868,574	1.15	1.03		0.12
鳥 取	284,693	839,459	1.02	1.00		0.02
石 川	348,405	821,069	1.25	0.98		0.27
宮 城	335,136	762,587	1.38	0.91		0.47
高 知	301,510	754,428	1.08	0.90		0.18
富 山	255,712	676,311	0.92	0.80		0.12
滋 賀	263,065	607,628	0.94	0.72		0.22
岩 手	204,315	604,054	0.73	0.72		0.01
福 井	267,761	477,426	0.96	0.57		0.39
沖 繩	30,133	56,172	0.11	0.07		0.04

本表に依り最近 9 箇年間の道府縣に於ける果實栽培の消長を見るに靜岡縣は大正四年に全國産額の6.54%の産額ありしものが大正十三年には1.22%を増して7.76%となり果樹栽培上より見たる其の地位を更に高めたり。青森縣は全國産額に對する歩合の増加靜岡より多く2.18%を増し大正四年に第十三位なりしものが大正十三年には第三位となり其の他大阪、熊本、鹿兒島等も亦各1%以上の増加を來せり。然るに兵庫縣の如きは却つて1.79%の減少を來し、愛知、秋田、埼玉等も亦之れに次で産額を減少せり。愛知及び埼玉の如きは蔬菜栽培の著しき發展のために果樹栽培の進歩を阻害せられたる點なきにあらざるべきも、兵庫の如く經濟上最も優越なる地位を有する地方に於ける果樹栽培の衰退を見たるは甚だ奇異とする所なり。

3. 柑 橘

(1) 柑橘の累年統計

年 次	樹 數	收 量	年 次	樹 數	收 量	價 額
明 治 38 年	9,053,194	23,227,716	明 治 44 年	20,145,028	57,841,051	—
" 39 "	10,504,207	26,012,254	大 正 1 "	21,581,760	71,894,305	—
" 40 "	11,483,456	34,532,862	" 2 "	22,760,809	72,930,067	—
" 41 "	13,418,471	31,204,933	" 3 "	24,338,306	63,079,750	—
" 42 "	18,194,103	45,301,123	" 4 "	24,932,172	61,760,725	8,372,789
" 43 "	18,863,291	48,863,443	" 5 "	25,931,070	85,577,191	10,510,913

年次	樹數	收量	價額	年次	樹數	收量	價額
大正 6	26,922,626	46,560,842	9,543,110	大正10年	—	15,532,390	5,688,026
" 7	25,795,251	60,627,488	15,367,428	" 11 "	25,465,345	75,957,429	22,560,439
" 8	27,934,127	73,706,313	20,936,835	" 12 "	25,433,783	75,428,717	23,731,261
" 9	26,774,329	79,000,351	24,302,204	" 13 "	25,437,902	74,922,148	24,698,164

我國に於ける果實の統計は明治三十八年以降明なるも三十七年以前は詳ならず。本表に於て明治四十二年以降の樹數及び數量共に著しく増せるは其の年より新に統計に加はれる果實の種類増加せるに依るものにして、大正六年の收量の減少せるは同年の寒害の影響に依るものなるべく大正十年の産額甚だ少なきは統計年度改正の結果に基くものなり。

累年統計表に依り其の趨勢を通覽するに大正八年迄は年々樹數を増し明治三十八年の樹數に比し十四箇年間に於て三倍に達せり。然るに其の後増加せず、收量は大正五年に最高を示し明治三十八年を100とせば369に當るも其の後大正十三年迄には8,000萬貫以上に達せし事なし。價額統計は大正三年以前不明なるも大正四年に於て初めて明となれり。今大正十三年の價額を大正四年の夫れに比すれば約三倍に達せるも是れ寧ろ單價の騰貴に依るものと見るを至當とすべし。然れども統計上の數字は一般に實際より甚だ少なき傾向あるを以て眞の收量は最近年平均8,000萬貫以上に達すべきは疑なき所なり。

(2) 主要府縣別柑橘統計

府縣名	明治三十八年樹數	大正八年樹數	大正十三年			明治三十八年ノ樹數(100)ニ對スル%		大正十三年ノ收量ニ對スル%
			樹數	收量	價額	大正八年	大正十三年	
和歌山	3,727,125	5,109,433	4,557,475	16,270,550	4,581,944	137	112	21.7
静岡	864,227	3,329,711	3,303,299	11,986,707	3,549,649	385	382	16.0
大阪	1,527,791	1,747,785	1,912,916	5,755,114	2,020,142	114	125	7.7
愛媛	322,364	1,663,395	1,406,725	5,904,465	1,697,095	516	496	7.9
大分	527,615	1,441,808	1,574,732	2,910,578	1,039,379	273	296	3.9
廣島	379,234	1,262,034	1,362,191	3,919,402	1,495,960	351	359	5.2
鹿兒島	660,032	987,559	1,146,705	2,218,552	948,209	149	173	3.0
福岡	542,515	1,197,353	1,055,168	2,092,120	833,397	220	194	2.8
神奈川	301,369	849,344	813,213	4,294,502	1,415,847	281	269	5.7
山口	666,989	2,025,274	796,536	2,250,425	554,419	303	119	3.0
徳島	293,477	827,625	727,157	2,265,374	605,032	251	210	3.0
熊本	252,876	723,519	695,916	1,281,955	879,427	286	275	1.7

府縣名	明治三十八年樹數	大正八年樹數	大正十三年			明治三十八年ノ樹數(100)ニ對スル%		大正十三年ノ收量ニ對スル%
			樹數	收量	價額	大正八年	大正十三年	
三重	169,074	700,980	672,596	1,689,544	619,231	414	397	2.3
愛知	674,255	859,484	599,380	1,740,650	593,554	120	88	2.3
長崎	527,530	621,486	566,303	1,309,126	550,707	117	107	1.8
宮崎	132,151	499,902	490,025	890,435	336,738	377	370	1.2
香川	295,642	483,793	476,126	910,906	376,021	163	161	1.2
佐賀	152,688	431,466	419,232	1,051,740	334,515	282	261	1.4
千葉	182,237	410,179	407,448	787,631	235,518	241	223	1.1
奈良	155,481	532,959	394,899	1,402,165	537,748	374	253	1.9
高知	184,054	422,932	380,605	597,557	249,236	229	206	0.8
岐阜	51,088	168,448	236,304	321,923	121,955	329	560	0.4
兵庫	291,710	297,390	249,692	838,018	249,737	147	124	1.1

大正十三年に於ける和歌山縣の樹數は明治三十八年に比し22%を増せるも其の増加の割合は他府縣に比し甚だ少なし、即ち明治三十八年に於ける和歌山の樹數は全國柑橘總樹數の29%に當れるも、大正十三年に於ては其の比は17.6%に降り大正八年に比し55萬餘本の實際的減少を示せり。

静岡縣の樹數は明治三十八年より大正八年頃迄の間に著しき増加を來し其の十四年間に385%に増せるも其の後は増加せず。明治三十八年の全國樹數に對する静岡の樹數の比は僅かに6.7%に過ぎざりしものが大正八年には其の比12.5%に達せり。和歌山静岡兩縣の收量の合計は全國收量の凡そ38%(大正十三年)に當れるも兩縣共特に前者に於て近年著しく樹數を減せるは小蜜柑、八代蜜柑等の園地の改良整理に依るものなるべく今後收量は増加することあるも兩縣共に反別の増加は過去に見るが如きこと無かるべし。

其の他主要栽培地中明治三十八年以降大正八年迄に樹數の増加最も著しかりしは愛媛にして三重、宮崎及び廣島等之れに次げり。即ち愛媛は此の十四年間に五倍以上に樹數を増し急速の發展を爲せるも大正八年後の減少も亦少なからず。

明治三十八年以後大正八年迄の増加歩合の最も少なきは大阪、長崎及び愛知にして就中愛知の如きは其の後の減少最も著しく大正十三年に於ける樹數は十九年前の明治三十八年の88%に過ぎず(多くの府縣に於て大正八年以後樹數を減少せるに拘はらず廣島、大阪、大分及び鹿兒島等は近年相當増加せり)大正八年後の樹數の減少歩合の特に著しきは山口

縣にして奈良之れに次ぎ五年間に前者は凡そ60%後者は32%を失ひ徳島も亦12%を減せり。岐阜の樹數の最近甚だしく増加せるは統計上の誤りにはあらざるか。

(3) 蜜柑類(温州紀州の類)統計

年	次	樹 數	收 量	價 額
明 治	42 年	11,775,153	27,698,458	—
大 正	3 "	15,806,932	39,931,887	—
"	8 "	18,447,424	50,147,065	14,879,629
"	13 "	18,589,334	53,599,191	18,623,143

即ち大正十三年は十五年前の明治四十二年に比し樹數に於て58%を加へ收量は明治四十二年は甚だ不作の年なりしを以て明治四十三年の收量36,692千貫を標準とすれば大正十三年は46%の増加に當り、價額は大正四年の5,908千圓に對し9年間に31.6%を増加せるも之れ主として單價の騰貴に依るものにして此の間に蜜柑類の價格は22割の騰貴を示せり。蜜柑類の最高收量は大正五年の5,791萬貫にして、最近數年間は樹數も收量も増加の傾向を認めず。

(4) 主要府縣蜜柑類(温州紀州の類)統計

府 縣 名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 正 十 三 年	大正十三年 全額ノ對ス ル%
和 歌 山	3,041,590	3,959,269	3,688,933	13,014,287	3,771,293	130	121	24.3
靜 岡	716,167	2,897,811	2,851,299	10,043,09	3,018,101	405	398	18.9
大 阪	1,351,701	1,587,084	1,796,390	5,301,679	1,915,605	116	133	9.0
大 分	237,966	781,406	1,223,667	2,034,540	760,616	323	514	3.8
廣 島	115,205	847,658	1,007,541	2,470,516	959,924	736	875	4.6
愛 媛	123,407	916,831	975,412	2,767,454	995,673	743	790	5.2
神 奈 川	279,503	818,085	787,621	4,206,640	1,380,978	293	282	7.8
鹿 兒 島	283,184	418,022	613,553	989,704	538,236	148	217	1.9
福 岡	196,216	638,970	591,373	1,115,120	502,881	326	301	2.1
愛 知	635,157	764,470	510,210	1,430,041	504,220	120	80	2.7
三 重	136,011	538,517	510,163	1,215,787	476,104	397	375	2.3
熊 本	112,290	489,936	466,901	935,671	669,591	436	416	1.8
徳 島	130,720	409,899	390,215	1,404,581	393,691	311	239	2.6
長 崎	462,262	418,487	351,231	850,885	385,217	91	77	1.6
奈 良	127,142	484,715	349,433	1,341,918	503,501	381	274	2.5
佐 賀	137,502	297,300	308,915	789,988	300,212	216	225	1.5

府 縣 名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三年 全額ノ對ス ル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 正 十 三 年	
宮 崎	39,840	300,196	300,104	494,382	205,699	734	733	0.9
山 口	77,051	238,833	288,773	574,830	222,064	310	375	1.1
香 川	36,584	342,002	278,338	471,301	219,375	935	761	0.8
岐 阜	3,479	153,036	270,443	299,348	111,951	440	777	0.6
千 葉	134,031	270,998	245,927	422,938	171,125	202	183	0.8
高 知	100,347	151,120	198,672	345,903	149,433	151	198	0.6

本表に依り蜜柑類の樹數の明治三十八年より大正八年迄の變化を見るに静岡、廣島、愛媛、熊本、宮崎、香川及び岐阜等は増加歩合甚だ多く又最近(大正八年より十三年迄)の増加の割合は大分、廣島、鹿兒島、岐阜及び高知等最も著しく、山口は柑橋總樹數(前表)に於て最近の減少著しきも蜜柑類に於ては反對に甚だ増加し、又愛媛、高知、宮崎及び佐賀等も同様の現象を示せり、之れ主として夏橙及び其の他の雜柑類が温州蜜柑に改植せられたるに依るべし。奈良及び香川等は近年著しく樹數を減じ、愛知の如きも大正十三年度の樹數の割合は十九年前の80%に減じ大阪も最近尙僅かに増せるも十九年間の増加歩合33%に過ぎず、長崎の樹數の減少せるはルビー蠟蟲及矢根介殼蟲等の蔓延被害其の一因たるべく熊本の樹數の最近減せるは小蜜柑樹の整理に依るものなるべし。

之を要するに温州蜜柑は明治の中葉より大正の初葉に至る間に各地に盛に栽植せられたるも、愛知、奈良、香川、福岡、三重、千葉等は近年次第に減少し、大分、廣島、愛媛、鹿兒島、高知等は最近の増殖歩合多く、我が蜜柑類の栽培が大體に於て漸次南方暖地に増加する傾向あるを示せり。而して此の傾向は今後尙持續すべきを豫想せらる。

(5) ネーブル・オレンジ統計

年	次	樹 數	收 量	價 額
明 治	42 年	627,662	651,227	—
大 正	3 "	1,495,100	2,075,227	—
"	8 "	1,746,132	3,200,743	1,489,047
"	13 "	1,388,806	3,175,350	1,740,776

本種も亦大正八年迄は年々樹數を増し大正八年の樹數を明治四十二年に比すれば278%に當り、收量は大正九年の3,457千貫を最高とし之れを

明治四十二年に比すれば531%に當れり。本種は初め栽培法當を得ざる爲め結果少なく之れを伐截せしものもありて近年寧ろ樹數は減少せるも栽培法の改善に依り熱心なる栽培家は多大の収益を擧ぐるに至り、收量は尙今後増加すべく適地に於ける増殖も再び起るに至るべし。

(6) 主要府縣別ネーブル・オレンジ統計

府 縣 名	明治四十 二年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三 年ニ於ケル 收量ニ對 スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大正十三年	
廣 島	51,845	186,186	169,654	543,001	319,840	359	327	17.1
和 歌 山	59,815	148,801	164,319	531,425	240,357	249	275	16.7
靜 岡	63,174	163,617	140,319	368,845	169,863	259	222	11.6
愛 媛	41,597	159,249	125,985	298,354	146,565	383	351	9.4
大 分	73, 23	257,370	101,515	200,395	131,607	350	138	6.3
鹿 兒 島	27,644	74,797	70,799	107,548	67,785	271	256	3.4
福 岡	12,043	101,722	67,913	120,922	80,613	84	56	4.0
德 島	49,939	84,977	67,317	167,184	64,965	170	135	5.2
熊 本	27,489	61,166	63,082	107,317	95,801	223	229	3.4
香 川	35,773	84,023	62,440	111,950	65,018	235	175	3.5
高 知	52,434	87,158	57,636	55,928	32,850	166	110	1.7

即ち明治四十二年に於ては樹數大分最も多く静岡之れに次ぎ大正八年に大分は明治三十八年の350%に増加したるも大正十三年には著しく減じ第五位に下れり。現在栽培盛にして良品を産せるは廣島縣にして東京市場にありても同縣産は第一位にあり、されど九州、四國の南部暖地の風土は廣島よりも一層本種は適し之等地方の産果は廣島産に優れるを以て將來鹿兒島、熊本、宮崎、高知及び愛媛等の暖地に於ては再び本種の増加を見るに至るべし。

(7) 夏 橙 統 計

年	次	樹 數	收 量	價 額
明 治	42 年	2,706,002	9,902,233	—
大 正	3 "	3,674,532	12,830,434	—
"	8 "	5,085,282	13,953,433	2,840,891
"	13 "	3,231,048	12,681,101	2,848,734

夏橙は樹勢強健栽培容易なるが爲めに一時各地に栽培せられ大正八年の樹數は明治四十二年の樹數に比し188%に増し、收量は大正五年に最高に達せしも大正六年の寒害に依り其の後著しき減收を來せり。近年其

の收量は略舊に復せるも普通生食用としての價値は他の果實に劣るが故に價格比較的安く、栽培の利益少なきを以て増殖無きのみならず却つて樹數を減じつつあり、然れども夏橙は調理に依る利用の途甚だ廣きを以て新調理法の宣傳に依り栽培の利益を相當高め得べし。

(8) 主要府縣別夏橙統計

府 縣 名	明治四十 二年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三 年ニ於ケル 收量ニ對 スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大正十三年	
和 歌 山	422,989	800,591	536,365	2,137,398	410,682	189	127	16.8
愛 媛	2,6025	510,736	429,820	2,602,145	509,731	185	158	20.5
山 口	515,283	1,653,211	396,950	1,180,602	258,564	321	77	11.7
靜 岡	41,167	185,069	221,948	1,135,073	252,103	450	539	9.0
福 岡	169,947	253,663	194,648	465,843	134,933	149	115	3.7
大 分	166,032	268,763	148,208	418,445	86,990	162	89	3.3
長 崎	52,830	104,098	123,778	358,567	99,222	197	234	2.8
廣 島	230,001	141,275	121,499	654,241	140,620	61	53	5.1
德 島	91,235	104,723	107,951	330,230	75,775	115	118	2.6
大 阪	167,927	152,000	101,189	410,007	87,498	91	60	3.2
兵 庫	10,562	91,302	93,967	431,279	94,052	865	890	3.4

明治四十二年に於ては樹數山口最も多く和歌山、廣島の順序なりしが大正八年には山口の樹數は明治四十二年の321%に達し、兵庫及び静岡の増加歩合は一層多し。然るに大正十三年に於ける山口の樹數は十五年前の77%に減少し第三位に降れり、其の他和歌山、愛媛、福岡、廣島及び大阪等も近年樹數減少し、就中廣島及び德島は甚だし。

(9) 其の他の柑橘類の統計

年	次	樹 數	收 量	價 額
明 治	42 年	3,105,286	7,031,095	—
大 正	3 "	3,361,692	8,242,332	—
"	8 "	2,955,378	6,404,567	1,727,268
"	13 "	2,178,714	5,466,506	1,485,461

雜柑類の樹數は大正二年の3,419千本、收量は大正元年の10,299千貫を最高とし爾後共に年々減少せり。之れ栽培の利益少なき之等の種類が他の良種に接換え又は植換えられ或は廢園となれるが爲めにして二三の地方的特殊品種を除き今後更に減少すべし。

主要府縣に於ける蜜柑類(温州紀州の類)の栽培概況及び統計

(1) 和歌山縣

本縣は栽培の歴史古く栽培品種も多く現在總反別凡そ530町歩にして温州蜜柑3,200町歩、小蜜柑700町歩、八代蜜柑350町歩、夏橙600町歩、ネーブル・オレンジ250町歩、金柑100町歩、柑子80町歩、その他雜柑類あり。(但し反別は實際の狀況に鑑み推定に依るものにして統計數字と一致せず) 本縣の柑橘反別は大正六年を最高とし(5,897町) 小蜜柑、八代蜜柑等の淘汰及び園の整理に依り年々反別を減じつゝあり。栽培反別最も多きは有田郡にして那賀郡之に次ぎ、海草郡及び伊都郡亦多し。之れを各種別に見れば温州は那賀、有田、海草、伊都の順にして、小蜜柑及び八代は主として海草及び有田に栽培せられ、夏橙も亦有田及び海草に多く、ネーブルは那賀に最も多し。

主要郡別統計 (那賀、海草、伊都は大正十三年度、他は大正十二年度統計)

郡	名	反別	收量	價額
有	田	1,761	5,280,115	1,296,906
那	賀	1,374	5,979,730	1,379,731
海	草	1,038	4,864,819	1,434,433
伊	都	623	1,876,750	436,939
日	高	218	596,425	137,696
西	牟婁	215	471,962	160,399
東	牟婁	102	226,001	64,842

主要町村別統計 (統計年度同)

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
有	田	箕島町	113	154	海	草	加茂村	27	259
"	"	保田村	153	211	"	"	濱中村	201	384
"	"	宮原村	190	165	"	"	東山東村	173	204
"	"	田殿村	233	46	"	"	大崎村	152	165
"	"	藤並村	154	46	"	"	椒村	99	117
"	"	生石村	110	51	"	"	仁養村	77	82
"	"	島屋城村	174	85	"	"	大野村	44	89
"	"	御靈村	109	73	"	"	巽村	41	60
"	"	石垣村	95	18	那	賀	粉河村	110	—
"	"	田栖川村	110	8	"	"	川原村	130	—
"	"	南廣村	80	44	"	"	上名手村	190	—
"	"	糸我村	76	37	"	"	麻生津村	240	—
"	"	五西月村	67	49	"	"	奥安樂川村	210	—

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
那	賀	龍門村	120	—	日	高	丹生村	41	133
伊	都	見好村	230	—	"	"	矢田村	40	51
"	"	笠田村	75	—	"	"	上南郷村	45	23
"	"	九度山村	70	—	西	牟婁	上秋津村	81	69
"	"	大谷村	50	—	"	"	三栖村	52	48

(2) 静岡縣

本縣の柑橘栽培反別凡そ5,000町歩、近年園の整理に依り樹數は寧ろ減少しつゝあるも收量は尙増加の傾向あり。和歌山の如く栽培品種多からず、全反別の凡そ82%は温州蜜柑にして夏橙は凡そ8%、ネーブル・オレンジは凡そ6%、雜柑類は僅かに4%位に過ぎず。庵原郡の栽培反別は凡そ2,000町歩、全國の柑橘産地中反別産額共に郡として之れに及ぶものなし。本縣のネーブル・オレンジは田方郡に産額多く亦良品を産し、夏橙は庵原及び濱名の兩郡に多し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹數	收量	價額
庵	原	958,035	4,839,530	1,326,371
志	太	595,701	2,121,414	622,172
安	倍	406,854	604,034	256,541
田	方	303,502	1,118,601	471,544
引	佐	231,338	873,934	250,207
濱	名	274,654	993,842	196,078
小	笠	120,114	265,641	82,292

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
庵	原	庵原村	585	666	志	太	岡部町	223	146
"	"	高部村	340	358	"	"	葉梨村	178	231
"	"	由比町	231	314	安	倍	長田村	203	—
"	"	興津町	218	266	"	"	麻機村	132	—
"	"	小島村	173	176	"	"	千代田村	80	—
"	"	蒲原町	110	116	田	方	西浦村	300	200
"	"	袖師村	103	104	"	"	内浦村	59	80
"	"	富士川町	75	78	濱	名	知波田村	50	67
"	"	飯田村	58	59	引	佐	三ヶ日町	123	190
"	"	西奈村	96	97					

本統計の數字は各郡農會の推定に依るものなり。

(3) 大 阪 府

所謂泉州蜜柑の産地にして古來貯藏を以て其の名高く最近20年間樹數の増加は甚だ少なく近年園の整理と栽培の改善とに着手するもの増加するに至れり。全樹數の凡そ94%は蜜柑類にして、夏橙は5%、其の他の種類は甚だ少し。同府反別の凡そ半は泉北郡にあり、泉南郡之れに次ぐり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
泉	北	955,611	3,060,028	880,758
泉	南	412,761	1,221,412	309,140
南	河	270,961	696,094	252,043
豐	能	161,730	464,563	166,213

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡	町 村	反別	産額	價額	郡	町 村	反別	産額	價額
泉	北 郡 南松尾村	160	1,200	160	泉	北 郡 南池田村	91	365	98
"	山瀧村	132	850	112	泉	南 郡 南葛城村	146	583	87
"	横山村	321	2,495	367	"	西葛城村	130	650	98
"	南横山村	81	320	58					

山瀧村は梨、葡萄増殖の結果柑橘は多少衰退の傾向あり

(4) 愛 媛 縣

本縣の柑橘園の推定反別凡そ2,200町歩にして其の60%は温州蜜柑類27%は夏橙、8%はネーブル・オレンジにして雜柑類は凡そ5%なり。

温州蜜柑は尙増殖せられつゝあるも、夏橙は減少しつゝあり。温州蜜柑の栽培反別は温泉郡及北宇和郡最も多く、越智郡、西宇和郡、伊豫郡等順次之れに次ぎ、夏橙は西宇和郡最も多く同郡柑橘園の半以上は本種なり、北宇和にも亦多し。ネーブル・オレンジは西宇和の反別最も多く産額未だ多からざるも優品を産す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	收 量	價 額
西	宇	和	484	2,282,696
温	泉	438	808,361	369,813

郡	名	反 別	收 量	價 額
北	宇	和	398	1,277,026
越	智	320	689,187	239,691
伊	豫	176	294,310	99,460
宇	摩	133	211,371	62,451

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町 村	反 別	産 額	郡	町 村	反 別	産 額
西	宇和郡 三崎村	102	800	北	宇和郡 立間尻村	40	63
"	真穴村	62	118	越	智郡 關前村	53	223
"	矢野崎村	41	193	伊	豫郡 原町村	49	574
温	泉郡 東中島村	112	217	宇	摩郡 川瀧村	46	68
北	宇和郡 立間村	195	788	東	宇和郡 玉津村	80	284
"	喜佐方村	71	194				

* 三崎村は殆んど全部夏橙なり。
立間村、喜佐方村、關前村及び原町村等は近年現状維持其の他の町村は反別増加しつゝあり。

(5) 廣 島 縣

本縣の柑橘栽培反別凡そ2,000町歩にして温州蜜柑は凡そ其の68%早生温州6%、ネーブル・オレンジ12%、夏橙9%、雜柑類5%に當り、温州は尙増殖せられ早生温州も幾分増加し、夏橙は減少しつゝあり。豊田郡大長村は栽培の中心地にして栽培家甚だ熱心にして収益多く全國の模範たるも傾斜は急にして階段狭く樹齡の増加と共に管理の困難を加ふべし。ネーブル・オレンジは御調郡に比較的多く良品を産し聲價高し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
豐	田	716,873	2,313,893	780,566
安	藝	332,634	604,186	227,809
御	調	165,643	702,053	357,264
佐	伯	52,484	102,527	43,121
賀	茂	52,307	100,370	41,439

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町 村	反 別	價 額	郡	町 村	反 別	價 額
豐	田 郡 大長村	285	353	豐	田 郡 東野村	163	76
"	久友村	293	210	御	調 郡 田熊村	130	200
"	豊濱村	164	151				

(10) 山 口 縣

本縣の柑橘栽培反別凡そ 1,200町步其の50%は夏橙、37%は温州蜜柑、5%はネーブル・オレンジ8%は雜柑類なり。夏橙は主として阿武郡に栽培せられ大正十一年度の産額50萬圓に達せるも寒害と管理不良のために收量激減し近年樹數の減少亦甚だし。温州は大半大島郡よりの生産に係り近時増殖せられつゝあり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
阿 武	(95%は夏橙)	288,635	38,178	14,704
大 島		164,971	330,132	98,109
熊 毛		72,170	105,210	49,135

主要町村別統計 (平 年)

郡 町 村	樹 數	收 量	價 額	郡 町 村	樹 數	收 量	價 額
阿武郡萩 町	1,000	200	千円	大島郡久賀 町	368	121	千円
大島郡日瓦居村	45	97	38				

(11) 德 島 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ 1,000町步にして温州54%、ネーブル・オレンジ9%、夏橙14%、雜柑類22%にして温州は新植せらるゝものあるも他は稍減じつゝあり。雜柑中の主要品種は鳴門柑なり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
勝 浦		294,929	1,100,740	299,701
那 賀		127,353	208,221	46,093
名 東		75,762	268,730	65,997

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡 町 村	樹 數	價 額	郡 町 村	樹 數	價 額
勝浦郡多家良村	87	34	勝浦郡生比奈村	28	20
" 棚野村	95	160	" 高鋒村	59	49

(12) 熊 本 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ 1,000町步にして、蜜柑類68%、ネーブル・オレンジ9%、夏橙10%、雜柑類13%位なり。蜜柑類中には凡そ其の25

%位の小蜜柑あり。雜柑中重要なるものは金柑子及び文旦類なり。現在栽培盛なるは玉名、飽託兩郡なるも今後發展の餘地は宇土、八代及び葦北地方に多し。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
玉 名		217,449	179,133	125,994
飽 託		125,957	195,126	178,943
八 代		81,566	155,108	73,965
葦 北		64,126	131,849	72,560
宇 土		41,329	47,441	21,196

玉名及び宇土は收量の實際は之れより余程多かるべし。

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
玉名郡小天村	350	220	飽託郡河内村	16	120

(13) 三 重 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ 900町步、其の76%は蜜柑類、11%は夏橙7%はネーブル・オレンジなり。統計上には近年増加の傾向を認めず。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
南 牟 婁		126,629	431,192	137,220
三 重		87,394	159,494	63,780
桑 名		80,648	363,665	152,369
多 氣		60,100	197,167	72,518
度 會		59,789	125,783	44,363

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
桑名郡多度村	55	93	三重郡河原田村	36	43
" 深谷村	35	45	多氣郡佐奈村	49	57

(14) 愛 知 縣

明治三十八年に於ける本縣柑橘の地位は和歌山、大阪、静岡に次で第四位にあり、大正八年頃迄は増加せりと雖其の増加歩合は他府縣に比し

甚だ少なく、大正十年の寒害に依り縣下を通じて三割以上の反別を減じ大正十三年の樹數より推察すれば反別凡そ900町歩第十四位に下り、一部の海岸地方の外今後反別更に減少すべし。全柑橘の85%は温州、10%は夏橙にしてネーブル、オレンジは2%餘に過ぎず。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
知	多	300,839 ^本	695,923 ^貫	197,070 ^円
寶	飯	103,485	193,348	89,124
渥	美	78,938	381,302	—
碧	海	78,889	393,204	102,534

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
知	多	郡上野村	135 ^町	58 ^{千円}	寶	飯	郡蒲郡町	80 ^町	23 ^{千円}
		内海町	75	37					

(15) 長 崎 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ800餘町歩(統計より推定)統計上の樹數は近年減少しつつあるも、縣は今後十ヶ年を期し1000町歩の増殖を期し農事試験場に於て其の優良系の苗木養成を計畫しつつあり。全樹數の63%は温州蜜柑、11%は夏橙、4%はネーブル、オレンジ22%は雜柑類にして其の内には文旦類も多し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
西	彼	263,133 ^本	1,045,946 ^貫	412,803 ^円
東	彼	81,814	162,942	57,535
北	松	74,176	187,712	77,034
北	高	69,918	102,862	43,571
南	高	66,511	154,058	68,043

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
西	彼	郡伊木力村	100 ^町	251 ^{千円}	西	彼	郡長與村	100 ^町	123 ^{千円}

(16) 宮 崎 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ700餘町歩、内温州61%、日向夏蜜柑、夏橙及びネーブル、オレンジ各5%内外、雜柑類24%にして温州蜜柑は近年尙増殖せられつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東	白	104,147 ^本	447,694 ^貫	108,865 ^円
南	那	98,304	135,442	51,990
宮	崎	73,987	133,837	63,702
東	諸	61,673	117,051	46,288
兒	湯	48,224	82,963	41,416

(17) 佐 賀 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ600餘町歩、内温州74%、ネーブル、オレンジ5%、夏橙13%、雜柑類8%。近年樹數の増加と共に栽培の改善をなすもの漸次増加しつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東	松	197,949 ^本	539,937 ^貫	177,173 ^円
杵	島	49,121	130,402	47,746
小	城	43,477	132,768	58,330

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反別	收量	價額	郡	町	村	反別	收量	價額
東	松	郡彭木村	66 ^町	28 ^{千貫}	57 ^{千円}	東	松	郡玉島村	79 ^町	35 ^{千貫}	69 ^{千円}

(18) 香 川 縣

本縣の柑橘栽培推定反別600餘町歩、内59%は温州、13%はネーブル、オレンジ、18%は夏橙、10%は雜柑類なり。一時盛んに増殖せられしも近年樹數減少しつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
三	豐	152,280 ^本	230,982 ^貫	84,264 ^円
綾	歌	71,119	203,041	124,883
香	川	53,803	75,025	48,936

香川郡下笠井村、同香西町。綾歌郡松山村、同川津村。三豊郡仁尾町同五郷村等は栽培多し。

(19) 千 葉 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ 600 餘町歩、内温州60%、夏橙13%、ネーブル、オレンジ4%、雜柑類23%。今後増加の見込なく反別は寧ろ減少すべし。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
安 房		78,315 ^本	123,043 ^實	53,970 ^円
山 武		54,774	161,274	50,532

(20) 奈 良 縣

本縣の柑橘栽培推定反別 400 餘町歩、内温州蜜柑 0%、夏橙 5%、雜柑類 3%、ネーブル、オレンジ 2%。温州の九割は尾張系にして多く貯藏せらる。近年反別著しく減少しつつあり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
吉 野		147,702 ^本	931,969 ^實	349,117 ^円
磯 城		62,324	266,024	85,123
山 邊		45,055	326,824	100,449

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡	町 村	反 別	價 額	郡	町 村	反 別	價 額
吉 野 郡	下 市 町	31 ^町	109 ^{千円}	山 邊 郡	朝 和 村	55 ^町	49 ^{千円}
"	白 銀 村	83	150				

(21) 高 知 縣

本縣の柑橘栽培推定反別凡そ 400 餘町歩、内温州52%、ネーブル、オレンジ16%、夏橙 9%、雜柑類23%にして雜柑類中の主要なるものは日向夏蜜柑なり。本縣の柑橘近年不振、只日向夏蜜柑は増殖の傾向あり。

主要郡別統計

郡	名	樹 數	收 量	價 額
香 美		66,450 ^本	167,812 ^實	66,260 ^円
幡 多		57,694	80,120	33,722

郡	名	樹 數	收 量	價 額
長 岡		47,431 ^本	84,36 ^實	33,431 ^円
吾 川		45,725	85,242	32,840

香美郡山北村は反別凡そ50町歩、産額 8 萬圓あるも栽培振はず。

(22) 岐 阜 縣

本縣の柑橘栽培推定反別 300 餘町歩、海津郡の一部に限られ95%は温州なり、近年寒害のため産額著しく減少今後増殖の見込なし。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
海 津		231,689 ^本	243,296 ^實	88,639 ^円

主要栽培町村は海津郡石津村 200 町歩、同郡城山村90町歩なり。

(23) 兵 庫 縣

本縣の柑橘栽培推定反別 300 餘町歩、内温州43%、夏橙38%、ネーブル、オレンジ7%、雜柑類12%にして雜柑類の大部分は鳴門蜜柑なり。本縣柑橘の大部分は淡路に産す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
津 名		111,063 ^本	476,643 ^實	125,021 ^円
武 庫		52,968	102,981	33,488
赤 穂		8,200	73,470	27,582

夏橙及鳴門蜜柑は津名郡各町村に分布し。赤穂郡赤穂町及び齋屋村に於て温州の栽培は次第に發展しつつあり。

4. 梨 (和梨及び洋梨)

梨の累年統計

年 次	樹 數	收 量	年 次	樹 數	收 量
明 治 38 年	4,305,458 ^本	15,211,265 ^實	明 治 43 年	6,470,737 ^本	19,623,396 ^實
" 39 年	4,907,242	13,883,693	" 44 年	7,452,739	18,815,777
" 40 年	5,322,467	14,349,107	大 正 1 年	7,949,286	20,551,755
" 41 年	5,317,499	14,759,359	" 2 年	8,654,937	21,441,765
" 42 年	5,897,347	17,287,134	" 3 年	8,455,803	20,847,354

年 次	樹 數	收 量	價 額	年 次	樹 數	收 量	價 額
大正 4 年	9,042,271	22,336,633	4,579,194	大正 9 年	9,496,939	27,659,238	14,432,815
" 5 年	9,647,229	24,635,600	5,243,971	" 10 年	9,495,011	30,123,501	15,097,954
" 6 年	9,807,223	29,429,812	6,965,532	" 11 年	9,558,737	29,566,482	13,903,925
" 7 年	10,021,226	27,823,932	9,524,452	" 12 年	9,344,038	27,554,428	13,437,306
" 8 年	9,601,096	27,726,480	14,062,692	" 13 年	10,251,332	28,157,913	13,226,265

梨の樹數は明治三十八年以來大正七年頃迄は年々増加し、明治三十八年を100とし大正八年の統計を之に比すれば樹數は223%に當り、收量は182%に相當せり。而して價額は大正八年を大正四年(100とし)に比較すれば308%に當れり。即ち大正八年迄十五ヶ年間に反別、收量共に二倍内外の増加を示し價額は大正四年より大正八年迄の四ヶ年間に三倍餘に達せるも是れ主として單價の騰貴に依るものにして大正四年の一貫匁單價は二十錢五厘なりしものが大正八年には五十錢七厘となれり。

然るに大正八年以後は樹數と收量も年に依り多少の相違ありと雖全く増加の傾向を認めず、價額は單價の下落に依り多少減せり。(大正十三年の平均單價四十七錢)

尙我國の統計は和梨と洋梨とを區別せるも誤り甚だ多きを以て本統計には總て之れを合計せるものを示せり。

主要府縣別統計

府 縣 名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三年 ノ收量ニ 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 十 三 年	
愛 媛	124,607	1,218,235	1,113,533	2,271,947	746,051	977	893	8.07
靜 岡	153,722	521,987	876,737	5,075,730	2,094,321	340	570	18.03
大 阪	76,093	113,525	417,256	336,363	155,778	162	548	1.19
熊 本	63,596	246,290	401,511	728,095	488,983	287	631	2.59
千 葉	131,694	399,262	394,212	1,259,306	549,854	303	299	4.47
岡 山	267,398	383,713	339,417	758,943	442,033	143	126	2.70
福 島	188,652	412,232	329,549	1,137,375	551,701	218	175	4.04
秋 田	64,623	342,148	314,181	763,902	375,602	529	486	2.71
福 岡	66,175	218,095	295,245	665,394	431,658	329	446	2.33
新 潟	292,919	321,919	280,732	1,763,848	683,893	109	96	6.25
島 根	49,516	250,421	267,999	489,520	258,455	506	537	1.73
鹿 兒 島	54,457	230,016	267,798	404,283	217,959	423	492	1.44
茨 城	114,086	347,816	266,174	1,430,838	469,881	304	233	5.12
山 形	154,112	181,167	159,744	554,366	309,435	117	123	1.97

府 縣 名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三年 ノ收量ニ 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 十 三 年	
大 分	83,572	186,072	186,374	345,758	225,161	222	223	1.23
長 崎	30,171	192,092	186,200	366,617	217,813	637	617	1.30
德 島	26,448	199,167	184,731	423,376	191,466	753	698	1.50
石 川	63,866	143,535	178,749	729,913	263,720	224	279	2.59
高 知	53,499	131,580	171,525	426,123	200,252	245	321	1.48
宮 城	116,617	246,938	168,277	408,205	239,944	211	144	1.45
宮 崎	39,499	174,427	167,833	301,023	204,047	441	425	1.10
鳥 取	36,609	192,309	167,310	495,858	238,230	535	457	1.76
奈 良	499,828	250,813	163,181	564,538	276,382	50	33	2.01
群 馬	79,900	216,175	161,997	613,453	236,509	221	165	2.17
栃 木	106,684	135,131	156,886	489,539	248,216	127	147	1.74
愛 知	101,921	207,180	157,739	506,577	209,689	203	151	1.80
神 奈 川	95,781	211,702	153,126	877,225	398,937	221	159	3.12
廣 島	186,538	152,800	151,254	204,391	107,605	82	81	0.73
佐 賀	22,102	141,077	141,379	259,600	161,015	638	637	0.96
京 都	170,342	222,482	132,283	455,388	188,032	131	78	1.62
東 京	123,523	132,829	112,114	566,433	419,751	107	91	2.01
埼 玉	66,675	121,635	112,039	455,403	318,266	182	168	1.62
三 重	20,193	137,115	100,956	160,487	95,646	679	500	0.57

明治三十八年に於て樹數の最も多かりしは奈良にして新潟、岡山等之れに次ぎ、福島、山形、静岡、千葉、愛媛の順位なりしも其の後大正八年迄の増加歩合は愛媛第一位を占め明治三十八年の樹數を100とすれば大正八年は977%に達し、静岡、千葉も各300%を越ゆ。岡山、山形、新潟等は増加歩合著しからず、奈良の如きは却て此の期間に樹數を半減せり。即ち大正八年に於ける樹數の順位は愛媛第一位となり、静岡は愛媛に次ぐも尙其の半に達せず、福島、千葉、岡山、茨城、秋田、新潟等順次之れに次げり。然るに大正八年後の樹數の増減には少なからざる變化を來たし愛媛、福島、秋田、茨城、徳島、宮城、群馬及び愛知等の諸縣は相當樹數を減少せり。此の期間に於て樹數の増加の著しきは静岡、大阪、熊本にして福岡、鹿兒島、島根、石川、高知等亦之れに次で増加歩合多し。而して大正十三年に於ける樹數の順位は前表の順序の如くとなれり。然るに其の收量は必ずしも樹數の多少に一致せず静岡の樹數は愛媛に比し少なきも收量は愛媛の二倍以上となり、愛媛第二位にして新潟、茨城、千葉、福島の順位となり、大阪は樹數に於て第三位なるも樹

齡若く収量は未だ極めて少なし。價額に於ても静岡は特に多く愛媛、新潟、福島、千葉、茨城の順位なり。

梨も亦近年の全國産額略々一定し需用の状態より見て今後甚だしき増植の餘地なく市場に於ける競争激烈となるに伴ひ不適當の地に作られたるもの及び經營當を得ざるものは淘汰せられて劣敗の地位に立ち衰退を招致し數年後に於ける統計上には更に又變化を見るに至らん。

主要府縣の栽培概況及び統計

(1) 愛 媛 縣

本縣に於ける梨の栽培推定反別凡そ1200餘町歩、其の大半は温泉郡にして伊豫、越智の兩郡之れに次げり。本縣の梨園は殆んど未墾の傾斜地を拓きて作れるものにして果實の肥大充分ならざるもの多く収量も比較的少なく、且つ一農家の栽培反別比較的多くして管理の周到なるを得難く加ふるに近年價格の下落は栽培の利益を少なからしめ年々反別を減少しつつあり。重なる品種は長十郎、獨逸、早生赤、二十世紀、明月、晚三吉、今村秋等にして、獨逸、今村秋及び早生赤等の減少特に多し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
温	泉		605	1,459,547		449,520	
伊	豫		167	365,210		122,861	
越	智		161	192,873		78,333	
西	字	和	53	62,651		27,588	

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反別	收	量	郡	町	村	反別	收	量
温	泉	浅海村	61	200		温	泉	潮見村	21	60	
"	"	難波村	102	160		"	"	小野村	45	33	
"	"	和氣村	60	179		伊	豫	原町村	65	166	
"	"	新濱村	49	187		"	"	砥部村	37	96	
"	"	桑原村	55	296		"	"	南伊豫村	32	31	
"	"	久米村	23	300		西	字	和郡 神山村	29	2)	

(2) 静 岡 縣

本縣の梨栽培樹數は愛媛縣に比し少なきも反別は兩縣大差なかるべく縣下全産額の凡そ六割は富士郡に産出せられ、富士梨業組合は生産物の販賣に對し遺憾なき活動をなしつつあり、志太郡の反別は富士郡に次で多きも大部分若樹にして収量は未だ少なし。全縣を通じて最近反別の増

加なし。總て水田地又は平地の畑地に栽培せられ収量多く一農家經營反別は平均三乃至四反歩位に過ぎず。品種は殆んど長十郎種にして他種は甚だ少なし。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
富	士		337,750	3,192,655		1,291,769	
志	太		329,508	886,020		361,974	
安	倍		78,500	856,500		349,780	
庵	原		57,480	421,830		211,425	

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反別	價	額	郡	町	村	反別	價	額
富	士	加島村	205	670		庵	原	蒲原町	45	150	
"	"	田子浦村	138	356		志	太	相川村	187	133	
"	"	岩松村	59	92							

(3) 大 阪 府

本府の梨は主として最近四、五ヶ年の栽植に依るものにして収量は未だ甚だ少なし。全反別の凡そ四分の三以上は北河内郡にあり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
北	河	内	317,740	121,865		54,647	
南	河	内	58,320	141,900		66,135	

主要町村別統計 (大正十二年度)

町	村	反別	價	額	郡	町	村	反別	價	額
北河内郡	九ヶ莊村	45	98		南河内郡	丹南村	32	65		

(4) 熊 本 縣

本縣の梨栽培推定反別凡そ400餘町歩、主産地は宇土玉名及び球磨の三郡にして前二者は多く傾斜地にして早期の販出に適し、後者は平坦地も多く中晩種の優品を産す。最近の新植は少なく又他の果樹に更へらるるものもあり。主要品種は長十郎、晚三吉、今村秋にして土佐錦、市原早生、國長、早生赤、二十世紀も栽培せらる。

主要郡別統計

郡	名	樹 數	收 量	價 額
宇	土	93,229 ^本	152,132 ^買	122,566 ^円
球	磨	63,658	117,965	105,032
玉	名	53,186	157,886	109,351
八	代	32,629	70,503	48,235
菊	地	27,500	41,300	33,105

主要町村統計

郡	町	村	反 別	價 額	郡	町	村	反 別	價 額									
玉	名	郡	八	幡	村	65	千円	50	宇	土	郡	不	知	火	村	50	千円	70

(5) 千 葉 縣

本縣の梨栽培推定反別凡そ500餘町歩、近年多少減少せる所あり。本縣の梨園は總て平地にして、品種は長十郎、早生赤、幸藏等多く眞籾、市原早生、世界一、獨逸等も栽培せられ全産額の凡そ70%は東葛飾郡より産出せらる。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額	
東	葛	飾	151,899 ^本	893,495 ^買	478,507 ^円
長	生	房	58,398	145,995	65,698
安	房	原	57,890	129,857	52,350
市	原		36,182	120,610	48,244

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反 別	價 額	郡	町	村	反 別	價 額										
東	葛	飾	郡	大	柏	村	73	千円	179	東	葛	飾	郡	八	幡	町	69	千円	180

(6) 岡 山 縣

本縣の梨栽培推定反別400餘町歩、栽培反別は近年寧ろ減少の傾向を示せり、又大正十三年度は特に早害を蒙り収量も減少せり。多く傾斜地に栽培せられ、品種は早生種に獨逸、中生種に長十郎、二十世紀、早生赤、晩生種に晩三吉を主として栽培す。

洋梨の栽培は浦鹽輸出杜絶以來著しく減少せるも近年内地の需用増加に伴ひ漸く現状維持の状態にあり。大正十三年に於ける洋梨の生産高は梨の全収量の6%に當り、品種はプレコース、パートレット、ヂュセス

ダングレーム、バスクラツサン等にして赤磐郡の生産最も多し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
上	道	72,656 ^本	191,737 ^買	109,838 ^円
淺	口	46,168	125,951	58,656
赤	磐	35,375	84,037	82,986
邑	久	43,609	37,057	16,231
兒	島	25,320	105,578	47,657

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反 別	價 額	郡	町	村	反 別	價 額									
赤	磐	郡	西	高	月	村	18	千円	24	淺	口	郡	富	田	村	16	千円	38
上	道	郡	雄	神	村	38	80	兒	島	郡	八	濱	町	31	61			

(7) 福 島 縣

本縣の梨栽培推定反別500餘町歩(甚だ疎植)、反別は近年減少しつつあり。品種は主として長十郎及び早生赤の二種にして平地に栽培せらる、明治三十八年に於ては産額全國第一位なりしも大正十三年の収量に於ては第六位に下れり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
信	夫	96,824 ^本	456,716 ^買	205,056 ^円
石	城	76,766	228,623	77,378
相	馬	34,835	166,891	61,096

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反 別	價 額	郡	町	村	反 別	價 額									
石	城	郡	赤	井	村	35	千円	53	信	夫	郡	笹	木	野	村	—	千円	50

(8) 秋 田 縣

本縣の梨栽培推定反別凡そ540餘町歩、樹數は大正八年後減少せり。重なる品種は長十郎及び早生赤の二種にして、眞籾、市原早生、太白、二十世紀及び明月も多少栽培せらる太白及二十世紀は將來増加の見込あり。洋梨は總産額の7%に當りプレコース及びパートレットの二種を主とし一時甚だ不況に陥りしも近年栽培安定し將來需用の増加に伴ひ増

植の見込あり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
北	秋	田	117	99,022	38,962		
山		本	115	208,930	75,520		
南	秋	田	75	134,476	55,554		
平		鹿	67	153,917	94,264		
鹿		角	63	60,441	43,908		

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
平鹿郡	醍醐	村	22	27	南秋田郡	天王	村	18	18
山本郡	檜	村	32	26					

(9) 福 岡 縣

栽培推定反別凡そ 400 餘町歩、縣内果實の需用甚だ多く年々反別を増加しつつあり。品種は市原早生、博多青、長十郎、二十世紀、太白、早生赤、今村秋、晩三吉等なり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
宗	像		36,382	145,691	58,885		
朝	倉		30,071	52,160	31,970		
京	都		27,376	92,180	64,526		
筑	紫		19,380	57,139	42,136		
粕	屋		11,996	53,471	53,476		

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
京都郡	仲津	村	35	46	宗像郡	神興	村	24	24
"	板郷	村	18	24	朝倉郡	秋月	村	23	40

京都郡仲津村及び同板郷村は其の一帯を新田原と稱し、落葉果樹集團的栽培地として名あり。

(10) 新 潟 縣

本縣の梨は反當栽植本數30—50本位なるを以て反別は 500 町歩以上に達すべし。品種は種々あるも近年早生赤、長十郎及び晩三吉の三種に更

新統一せられつゝあり、尙二十世紀は逐年増殖せられ居れり。大正十三年の樹數は大正八年に比し稍減じ最近は現状維持の状態なり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
北	蒲	原	92,513	755,040	295,804		
中	蒲	原	88,745	593,608	178,690		
西	蒲	原	20,259	224,884	113,000		
南	蒲	原	27,439	75,333	30,952		
中	頸	城	23,434	23,320	19,937		

(11) 島 根 縣

栽培推定反別凡そ 350 町に達するも纏れる産地なし、品種は長十郎を主とし今村秋、晩三吉、赤龍、早生赤及び二十世紀等あり、近年反別増加しつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
八	束		97,433	179,696	63,379		
能	義		50,095	108,624	65,568		
簸	川		38,243	55,500	38,491		

(12) 鹿 兒 島 縣

栽培推定反別凡そ 350 町歩、栽培反別は昨年来漸次増加しつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
肝	屬		45,942	61,572	25,776		
始	夏		39,977	55,770	43,684		
鹿	兒	島	39,482	36,720	16,495		
薩	摩		40,103	31,864	20,427		

(16) 茨 城 縣

栽培推定反別凡そ 350 町歩、品種は長十郎、真籙、市原早生、早生赤、太白、幸藏、古河等なり。大正九年頃より病蟲の被害甚だしく反別を減少せるも近年好況に向ひつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
眞	壁	119,917 ^本	747,150 ^貫	183,674 ^円
新	治	37,170	167,808	63,097
結	城	23,057	217,115	77,910

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反別	價額	郡	町	村	反別	價額
眞	壁	郡	40	100 ^{千円}	新	治	郡	15	30 ^{千円}
		關							
		本							
		村							
		川	35	90					
		西							
		村							

(14) 山 形 縣

栽培推定反別 250 餘町歩、最近は反別現状維持の状態なり。品種は長十郎、早生赤、晩三吉を主要なるものとす。洋梨は未だ栽培微々たるも増加の傾向を示しつつあり、品種はブレイクス、パートレット、デュセスダングレーム、ラフランス等なり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東	置	41,400 ^本	155,761 ^貫	81,722 ^円
東	村	33,545	87,892	40,498
飽	海	25,354	110,498	58,383

東置賜郡屋代村は反別35町歩、産額 4,3 萬圓あり。

(15) 大 分 縣

栽培推定反別凡そ 200 町歩にして尙増加の傾向あり。品種は長十郎、今村秋、晩三吉等なり。統計上 3 萬圓以上の産額あるは北海部郡のみなり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
北	海	43,395 ^本	71,500 ^貫	52,062 ^円

(16) 長 崎 縣

栽培反別凡そ 300 町歩、品種は長十郎を主とし太平、太白、國長、晩淡雪、晩三吉、今村秋等にして大正十年頃より害蟲被害多く柑橘に更新せらるるものあるの見込なり。

主要郡別統計

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東	彼	62,861 ^本	167,425 ^貫	93,205 ^円
西	彼	33,075	60,583	38,830
南	高	18,717	44,877	29,775
北	松	28,031	46,825	29,599

東彼杵郡福重村は栽培反別35町、産額 3,5 萬圓あり。

(17) 德 島 縣

推定反別凡そ 200 町歩、品種は主として長十郎にして晩三吉、今村秋等之に次ぎ、全産額の80%は板野郡に産す。反別減少しつつあり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
板	野	133,960 ^本	344,720 ^貫	165,730 ^円

板野郡大津村は反別凡そ 100 町歩、産額 103,000 圓あり、其他松茂、北島、堀江の各村及び那賀郡新野村も栽培盛なり。

(18) 石 川 縣

推定反別 200 餘町歩、品種は長十郎、晩三吉、早生赤、明月等にして近年増植せられつつあり、良品を産す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
石	川	100,598 ^本	512,168 ^貫	176,448 ^円
羽	咋	30,747	85,314	45,822

石川郡戸板村の反別80町歩其の産額 117,000 圓あり。其他同郡鞍月村、江沼郡黒崎村、羽咋郡羽咋町附近に栽培多し。

(19) 高 知 縣

推定反別凡そ 200 町歩、品種は長十郎を第一とし市原早生及び今村秋之に次く、反別は順次増加しつつあり。主産地は吾川、長岡兩郡の南部各数ヶ村なり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
長	岡	63,734 ^本	234,187 ^貫	92,695 ^円
吾	川	35,166	194,523	83,747

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
長岡郡十知村	50	50	長岡郡三里村	20	40

(20) 宮 城 縣

樹數は近年減少せるも是れ在來種及び古木の伐截に依るものにして良品種の栽植多少増加しつゝある關係上收量は漸次増加しつゝあり。品種は早生赤及長十郎多し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
宮	城	44,405	91,956	49,042
刈	田	29,511	65,976	33,291

(21) 宮 崎 縣

推定反別 200 餘町歩、長十郎は凡そ 80% を占め、早生赤、今村秋、晚三吉等多し。増植の餘地多きも大正十三年の樹數は大正八年に比し稍減せり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
西	諸 縣	31,680	106,612	63,435
北	諸 縣	31,000	19,907	17,326
南	那 珂	18,452	78,349	42,577
兒	湯	16,730	17,408	13,442
宮	崎	15,518	19,250	16,362

(22) 鳥 取 縣

栽培反別 200 町歩、最近増加しつゝあり。品種は長十郎、早生赤、二十世紀、晚三吉及び明月を主とし、本縣の二十世紀は品質優良にして特に世に知らる。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	收 量	價 額
東	伯	63.4	197,531	96,139
西	伯	42.0	92,898	45,889
岩	美	32.1	124,130	47,763

(23) 奈 良 縣

本縣は明治三十八年樹數に於て全國第一位を占めしも現在は第二十三

位に下り、三分の一に減少せり。品種は主として長十郎なるも混植用として二十世紀を植ゆるもの多し。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
生	駒	81,033	319,677	117,142
添	上	37,695	186,028	124,805
磯	城	27,487	115,925	42,918

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
生駒郡安堵村、本多村、本場村一圓	60	70	磯城郡耳成村	22	52
磯城郡川東村	52	54	*吉野大淀町	7	58

* 大淀町は大部分二十世紀にて益々發展の見込。

(24) 群 馬 縣

推定反別 200 餘町歩、品種は眞籾、獨逸、長十郎、早生赤、赤龍等多く近年樹數減少せり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
勢	多	49,185	138,638	56,034
碓	氷	35,917	162,287	62,551
多	野	22,275	71,925	32,134
邑	樂	19,569	91,781	49,483

(25) 栃 木 縣

推定反別凡そ 200 町歩、品種甚だ多く巾着及び早生赤は成績良好にして増加しつゝあり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
下 都	賀	28,645	27,879	43,102
那	須	27,389	50,287	30,002
芳	賀	21,730	89,607	40,853
河	内	17,893	66,031	38,900
鹽	谷	16,196	64,624	39,017

(26) 愛 知 縣

栽培反別 300 餘町歩、近年大に減少しつつあり。品種は主として長十郎にして、市原早生、二十世紀、晩三吉等も栽培せらる。碧海郡安城町附近に70町歩の集團栽培あり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
碧海郡	春日井	38,266 ^本	295,448 ^實	115,886 ^円
東 春 日 井		27,916	40,807	32,615

碧海郡安城町の反別は35町、産額22千圓なり。

(27) 神 奈 川 縣

栽培反別 200 町歩、近年減少しつつあり川崎附近特に著し。全産額の80%は橘樹郡より産出せらる。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	收 量	價 額
橘 樹 郡	樹	147 ^町	732,500 ^實	391,558 ^円

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
橘 樹 郡 稻 田 村	65 ^町	278 ^{千円}	橘 樹 郡 生 田 村	17 ^町	59 ^{千円}

(28) 廣 島 縣

大正八年に於ける樹數は明治三十八年に比し減少したるも其後殆んど増減なし。品種は長十郎30%、今村秋、晩三吉各5%、獨乙1%、其他なり、特に纏まれる産地なし。

(29) 佐 賀 縣

重なる品種は晩三吉、今村秋、長十郎、二十世紀等にして近年反別の變化なし。多くは傾斜地に栽培せられ概して成績良好ならず。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東 松 浦 小 城		31,021 ^本	61,560 ^實	23,590 ^円
		23,479	52,583	32,466

東松浦郡鬼塚村に稍纏りたる栽培あり。

(30) 京 都 府

明治三十八年の樹數は全國の産地として第五位にありしも大正十三年

は第三十位に降り。單植に依る結果不良なるは蟲害に依り一時甚だしく減收を見たる結果なるべし。大部分久世郡に産す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
久 世		—?	276,300 ^實	110,649 ^円

(31) 東 京 府

近年栽培稍衰退せり。品種は主として長十郎にして太平、眞鐘等も多少栽培せらる。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
荏 原 南 北	多 摩 多 摩	47,870 ^本 33,173 15,450	252,500 ^實 231,277 59,010	202,000 ^円 161,894 35,406

南多摩郡稲城村は栽培の中心地にして反別50町歩産額凡そ15萬圓あり。

(32) 埼 玉 縣

大正八年後樹數は減少せり。品種は長十郎及び早生赤を主とし眞鐘、獨逸、市原早生等もあり。殆ど總て縣内に消費せらる。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
兒 南 北	玉 崎 足 立	33,960 ^本 24,002 18,600	159,658 ^實 109,921 91,030	87,739 ^円 87,936 86,373

(33) 三 重 縣

大正八年後樹數を減せり、品種は多く長十郎なり。

主要郡市別統計 (大正十三年度)

郡 市	名	樹 數	收 量	價 額
一 津	志	25,825 ^本 40,080	53,575 ^實 68,830	36,122 ^円 34,471

其他の府縣

以上の外縣としては論ずるに足らざるも郡として多少纏まれる産額ある地方を列挙すれば次ぎの如し。

其他の府縣の主要郡別統計 (大正十三年度)

縣	郡	名	樹 數	收 量	價 額
香川縣	綾歌郡		54,298	87,815	49,074
長野縣	諏訪郡		14,070	91,194	43,880
岩手縣	氣仙郡		27,555	93,130	41,761

5. 苹 果

苹果累年統計

年 次	樹 數	收 量	年 次	樹 數	收 量	價 額
明治 38 年	1,811,980	6,070,647	大 正 4 年	3,296,586	7,065,156	1,600,336
" 39 年	2,002,714	5,668,559	" 5 年	3,412,335	9,296,249	2,019,103
" 40 年	2,151,344	6,703,209	" 6 年	4,061,742	10,036,601	2,754,702
" 41 年	2,484,017	5,187,385	" 7 年	4,033,949	6,694,626	3,633,767
" 42 年	2,279,362	6,308,481	" 8 年	3,357,143	5,988,845	4,045,165
" 43 年	2,615,956	12,743,145	" 9 年	3,365,366	7,710,996	4,863,151
" 44 年	2,574,055	10,789,840	" 10 年	3,163,087	7,257,859	5,457,874
大 正 1 年	2,823,146	8,381,909	" 11 年	3,048,011	17,279,977	6,557,648
" 2 年	2,902,720	9,502,829	" 12 年	3,140,606	8,001,182	5,621,075
" 3 年	3,257,934	9,537,262	" 13 年	2,814,607	10,627,866	6,373,213

明治三十八年後大正六年迄苹果の樹數は年々増加し、大正六年の樹數は明治三十八年の 100 に對し 224% に當り、大正六年の收量は明治 38 年の 167% に相當せり。然るに其の後樹數は寧ろ年々減少し大正十三年の樹數は大正六年の 69% となれり。收量は年に依り相違多きも多少増加の傾向あるを認めべし。大正十三年の價額は大正四年に比し 498% に激増せるも之れ主として單價の騰貴に依るものにして、即ち大正四年の苹果の一貫匁の單價は僅かに 23 錢弱なりしものが大正十三年には 60 錢となれり。

主要道府縣別統計

道府縣名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三年ノ收量ニ 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 正 十 三 年	
青 森	407,557	1,862,258	1,628,963	6,322,922	3,623,655	438	400	59.05
北 海 道	694,671	570,884	587,763	2,839,393	1,476,355	82	85	26.71
長 野	27,613	221,077	177,875	632,716	515,480	801	426	5.95
秋 田	81,975	287,233	174,415	426,036	390,316	350	212	4.00

道府縣名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三年ノ收量ニ 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 正 十 三 年	
岩 手	115,180	81,194	53,576	80,253	82,119	70	47	0.75
山 形	89,228	78,015	44,548	100,658	85,292	87	50	0.94
福 島	12,396	23,777	27,142	93,226	74,732	191	218	0.90
香 川	257,218	72,817	21,564	16,139	16,402	23	8	0.15
石 川	11,819	18,800	12,773	11,317	11,436	159	103	0.11
新 潟	21,447	16,551	10,402	18,532	14,924	77	49	0.17
島 根	1,967	26,227	8,583	5,494	6,048	1,290	479	0.05
鳥 取	1,375	17,740	6,591	8,064	9,108	1,852	479	0.93
岐 阜	974	12,264	5,891	4,117	5,628	1,259	605	0.01
愛 媛	37,062	26,855	5,837	5,116	4,732	72	16	0.05
富 山	222	7,317	5,671	7,459	8,745	3,294	2,554	0.07
宮 城	6,791	7,719	5,423	12,837	10,872	114	79	0.12
福 井	3,557	13,438	5,003	3,686	3,252	3,760	140	0.03
岡 山	6,156	27,302	4,500	5,445	7,095	411	73	0.05

青森縣の苹果生産は全國の過半を占む即ち樹數に於て 58%、收量に於て 59% に相當し、北海道は樹數收量共凡そ青森の三分の一に當り、長野・秋田の二縣之れに次げり。明治三十八年に於て香川は樹數第三位占め、愛媛亦第七位にありしが、大正八年迄には共に樹數甚だ減少し香川は僅かに其三分の一以下となり、愛媛は三分の一を減じ兩縣共其の後更に減少し今や僅かに昔の面影を留むるに過ぎず、所謂暖地の苹果栽培が全く失敗に終れるを示せり。又島根、鳥取、岐阜、富山、福井の諸縣は明治三十八年に比し大正八年は著しく増加せるも最近五ヶ年間に復た著しく減少せり。又大正十三年に於ける樹數を大正八年の夫れに比すれば青森其他の各府縣多少の減少を示せるも之を明治三十八年に比すれば青森及び長野の兩縣にありては四倍内外の増加を見秋田、福島は二倍以上の増進を示せり。

主要道府縣の栽培概況及び統計

(1) 青 森 縣

本縣の苹果栽培反別は 7,340 町歩にして其産額は全國に於ける産額の凡そ六割を占め、南津輕、中津輕兩郡の栽培最も多く近年北津輕の平野にも亦發展しつつあり。本縣の苹果は經營面積廣く肥培管理不充分なりし爲め一時病害の發生甚だしく殊に傾斜地にして肥料不足の園にありては一層樹勢を衰弱せしめ大正七、八年頃は收量激減し悲境に陥り栽培を

斷念せし者尠からざりしも農事試験場園藝部に於ける試験の結果之が適當なる防除方法明となり一般栽培家を啓發し其指導亦宜しきを得たるか爲め近年著しく其面目を改むるに至り新植を試むるもの増加せり。主要栽培品種は紅玉、國光の二種にして倭錦、旭、新倭錦、新紅玉、祝等も栽培せらる。

主要郡市別統計 (大正十三年度)

Table with columns: 郡, 市, 名, 反別, 收量, 價額. Rows include 南津輕, 中津輕, 北津輕, 三戸, 西津輕, 東津輕, 弘前.

主要町村別統計

Table with columns: 郡, 町村, 反別, 收量, 價額. Rows list various municipalities like 南津輕郡石川町, 大鰐町, 藤崎町, etc.

價格は一貫60銭として計算せるものなり。

(2) 北海道

大正十三年度北海道に於ける樹數は青森縣の36%、收量は45%に該當す。従來は多數の品種栽培せられ、栽培の方法も亦周到ならずして一時

樹數を減せしも、不適の品種は漸次淘汰せられ栽培も亦漸く集約となり收益を増し栽培反別も亦近年多少増加するに至れり。現在の栽培品種は紅玉最も多く、國光、倭錦、青龍、旭、祝、紅魁、黃魁等も栽培せられ緋衣は余市の特産種なり。主産地は余市附近及び札幌より旭川に至る平野なり。

主要地方別統計 (大正十二年度)

Table with columns: 市, 支廳, 名, 樹數, 收量, 價額. Rows include 後志, 網走, 空知, 石狩, 上川, 留萌, 札幌.

主要町村別統計 (大正十三年度)

Table with columns: 支廳, 町村, 樹數, 價額. Rows list municipalities like 後志, 空知, 石狩, etc.

(3) 長野縣

本縣苹果の栽培推定反別凡そ600町歩にして青森縣の約十分の一に該當す。大正十三年度に於ける樹數を大正八年度に比すれば相當の減少を示せるも收量は寧ろ増加せり。本縣の氣候風土は能く苹果に適當し居るを以て其生産及販賣に一段の努力をなすに於ては將來益々發展すべし。品種は倭錦最も多く紅玉、國光、祝、旭、柳玉、紅魁等之に次ぐ。主産地は長野市附近なりとす。

主要郡市別統計 (大正十二年度)

Table with columns: 郡, 市, 名, 樹數, 收量, 價額. Rows include 上水内, 長野, 更級, 小高, 下井.

主要市町村別統計 (大正十二年度)

郡 市、町 村	反 別	價 額	郡 市、町 村	反 別	價 額
*長 野 市	町 75	千円 141	更 級 郡 篠 井 町	町 30	千円 65
更 級 郡 共 和 村	35	71			

* 前表と價額相違するも本表の數字は長野縣立農事試験場の調査に依るものにして實際に近かるべし。

(4) 秋 田 縣

樹數に於ては長野縣と殆んど等しきも長野縣に比し疎植なるを以て反別は寧ろ數割多かるべし。青森縣等と同じく大正七、八年頃一時不況に陥りしも病害豫防劑の撒布と肥培の改善とに依り兩三年來樹勢恢復し良品を産するに至れり、苹果は本縣の最も主要なる果樹なるを以て生産者は其栽培及販賣に努力するに於ては今後相當の發展をなすべし。品種は國光及び紅玉を主とし、倭錦、柳玉は比較的少なく、旭、祝は現在は少なきも將來多少増加の傾向あり。

主要郡別統計

郡 名	反 別	收 量	價 額
平 鹿	町 116	實 245,000	円 217,649
鹿 角	188	79,130	86,680
雄 勝	48	28,055	41,090

主要町村別統計

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
鹿 角 郡 花 輪 町	町 60	千円 24	平 鹿 郡 増 田 町	町 60	千円 144
" 柴 平 村	72	29	" 醜 湖 村	20	49

(5) 岩 手 縣

推定反別凡そ200町歩、盛岡附近には祝、柳玉多く二戸其他には紅玉多し、縣は一般栽培法の改良を計ると共に反別を現在の七倍以上に達せしむべく奨励しつつあり。産額の比較的多きは二戸、岩手九戸の三郡なり。

(6) 山 形 縣

米澤地方に多少増殖せらるゝも他は現状維持なり、推定反別凡そ150町歩、品種は紅魁、祝、紅玉、倭錦なり。南村山、北村上の二郡及び米澤市に比較的多し。

(7) 福 島 縣

栽培反別凡そ100町歩に垂々とし近時逐年増加の傾向を有す、品種は新倭錦及び紅玉等にして本縣の苹果の大半は信夫郡に産す。

6. 桃

桃 累 年 統 計

年 次	樹 數	收 量	年 次	樹 數	收 量	價 額
明 治 38 年	4,507,349	5,413,099	大 正 4 年	7,438,389	12,116,250	2,213,437
" 39 年	4,521,962	6,536,649	" 5 年	7,678,034	12,964,142	2,314,173
" 40 年	4,773,673	7,071,779	" 6 年	7,478,093	13,393,913	2,918,968
" 41 年	5,089,876	9,515,270	" 7 年	7,295,375	12,407,970	3,772,911
" 42 年	5,762,547	9,848,184	" 8 年	7,256,805	12,803,160	6,033,877
" 43 年	6,129,178	9,169,477	" 9 年	7,016,180	13,168,224	5,705,838
" 44 年	6,457,232	9,414,237	" 10 年	6,698,543	11,065,483	5,818,606
大 正 1 年	6,788,741	10,962,415	" 11 年	6,236,467	10,558,144	4,817,751
" 2 年	6,501,388	10,796,235	" 12 年	6,548,546	11,235,927	5,315,622
" 3 年	7,119,255	10,463,266	" 13 年	6,822,514	10,171,680	5,372,833

桃は明治三十八年以後年々樹數を増し大正五年に最高潮に達し、之れを明治三十八年に比すれば170%に當り、收量は大正六年に最高を示し其明治三十八年に對する割合は248%に達せり。爾後樹數を減少せるも最近再び多少増加の傾向あり。今大正十三年の統計を五年前の大正八年に比較すれば樹數に於て6%、收量に於て凡そ20%の減少を見る。價額は十年前に比し243%に増せるも單價の騰貴と生産品の品質の改良に依るものにして大正四年に一貫18錢餘なりしもの大正十三年には52錢餘となれり。

主要府縣別統計

府 縣 名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三 年ノ產額ニ 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 正 十 三 年	
大 阪	117,655	346,049	728,808	684,493	246,057	294	619	5.74
大 岡	438,274	1,061,794	617,027	756,427	338,345	242	141	7.44
神 奈 川	60,437	332,375	582,768	1,223,869	1,091,754	550	964	12.03
新 潟	48,582	274,056	324,054	579,462	239,349	561	663	5.70
香 川	444,822	409,650	276,079	308,227	162,173	92	62	3.03
福 島	70,732	278,479	261,843	439,533	196,943	394	370	4.32
福 岡	74,113	260,618	229,538	253,677	157,612	352	298	2.49

府 縣 名	明治三十	大正八年	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹		大正十三年ノ樹	大正十三年ノ收量	大正十三年ノ價額
	八年樹數	樹 數	樹 數	收 量	價 額	數(100)ニ對スル%	大正八年			
愛 知	104,885	216,188	201,299	236,170	140,791	206	192	2,72		
廣 島	316,774	266,809	200,998	261,346	114,505	84	63	2,57		
京 都	78,976	140,695	169,306	315,001	124,594	178	214	3,10		
山 形	92,178	152,446	168,143	225,735	106,129	165	182	2,22		
兵 庫	212,230	196,840	160,769	255,144	93,741	93	76	2,51		
愛 媛	200,261	160,906	149,741	283,630	122,026	80	75	2,79		
千 葉	110,692	151,821	146,158	228,215	142,031	137	132	2,24		
群 馬	38,766	174,967	138,219	327,793	130,034	450	355	3,22		
靜 岡	22,230	147,757	137,580	277,581	164,487	647	603	2,73		
島 根	54,691	163,666	133,053	138,722	86,541	299	243	1,36		
宮 城	71,031	170,865	131,752	140,742	72,211	241	285	1,38		
長 野	103,563	138,529	120,388	337,937	154,871	134	116	3,32		
大 分	36,148	137,222	119,736	111,366	60,620	380	331	1,09		
秋 田	22,880	118,513	106,246	130,915	92,289	518	464	1,29		
茨 城	45,417	121,339	103,750	150,371	87,166	267	228	1,48		
德 島	112,488	113,255	100,416	85,952	27,550	101	91	0,85		
栃 木	21,522	121,339	97,649	195,332	83,867	534	454	1,92		
長 崎	59,006	106,415	95,720	127,375	81,323	180	162	1,25		
奈 良	41,085	94,313	92,489	323,187	99,842	230	225	3,23		
鹿 兒 島	137,890	93,890	90,650	150,235	84,210	68	66	1,48		
埼 玉	53,377	107,225	86,279	123,899	88,860	184	148	1,22		
石 川	47,727	23,253	84,182	154,630	114,964	49	176	1,52		
岩 手	30,419	70,551	82,461	100,990	60,878	232	271	0,98		
熊 本	39,354	78,746	77,535	101,670	69,724	200	197	1,00		
山 梨	14,838	79,345	48,422	111,618	65,219	534	326	1,10		
東 京	116,483	72,780	561,153	192,786	64,307	62	48	1,90		

明治三十八年に於て樹數は香川、岡山最も多く廣島之れに次ぎ兵庫、愛媛の順位なりしが大正八年迄には少なからざる變遷を示し神奈川、新潟、静岡、栃木、秋田、山梨等は何れも五倍以上増加せるに反し、香川、廣島、兵庫、愛媛、鹿兒島、石川及東京の如きは寧ろ減少せり。即ち大正八年に於ける樹數の順位は岡山第一位となり、香川、大阪、神奈川、福島、新潟、廣島、福岡の順位となれり。大正八年より大正十三年迄の増加歩合は神奈川及び大阪最も著しく、大正十三年に於ける樹數の順位は前表の順位之如くとなれり。前表に依り明治三十八年と大正十三年とを比較對照して主要府縣の桃栽培の變遷の状態を見るに明治三十八年に

於最栽培ても盛んなりし府縣中香川、廣島、兵庫、愛媛等の著しく衰退せし事、一時非常の發展を爲せる岡山縣は近年樹數及收量共甚だしく減せし事、大阪、神奈川等輸送販賣上に有利の地位を占むる府縣が年々順調なる發展をなせる事等は特に注目値すべし。然れども桃は北海道を除き何れの地方に於ても相當栽培せられつゝあり是れ其輸送の困難なるが爲めに各生産地は其消費地の附近に發達せざるべからざるに依れるものなるべし。

主要府縣の栽培概況及び統計

(1) 大 阪 府

本縣の桃は大正十三年の統計にては樹數第一位を占むるも收量は其第一位を占むる神奈川縣の半に過ぎず、而かも最近増殖するもの少なく却つて減少の傾向を示せり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
南 河 内		544,895	473,292	141,978
中 河 内		9,351	52,010	19,182
三 島		21,280	52,700	14,923
泉 南		19,319	50,881	22,616

(2) 岡 山 縣

本縣の桃栽培反別は縣全體より見れば減少しつゝあるも御津郡の如きは寧ろ年々増加せり。品種は早生としては魁、アムスデンジューン、土倉號、東雲、小林、大平、五十號、天津等にして、中生種としてはカールマン、伊島、離核、土用、晩生種としては白桃、上海、白露、三號、十一號、明月等なり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
御 津		225,623	236,062	116,997
赤 磐		56,636	93,350	51,343
浅 口		77,882	147,023	48,133
小 田		104,351	142,622	44,085
吉 備		32,537	29,935	13,822
部 窪		16,873	36,309	15,742

(3) 神 奈 川 縣

栽培は近時著しく發達し其反別-370 町歩に達し特に橘樹郡其他高座郡南部方面に於て急激なる發展を見たり。品種益々なるも同縣農事試験場に於て推稱せるものは早生として橘早生、日月桃、二宮ミュール、アムステンジューン、田中早生、小林、東雲、天津。中生としては傳十郎、晚五號、カールマン、早生水蜜、離核 晩生としては白桃、上海、金桃なり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反	別	收	量	價	額
橘	樹	220		462,840		436,088	
高	座	52		109,040		139,774	
中		49		103,320		96,529	
三	浦	13		27,720		11,656	

主要町村別統計 (大正十三年度)

郡	町	村	反	別	收	量	價	額	郡	町	村	反	別	收	量	價	額
橘樹郡	高津村	39		83	95			74	橘樹郡	稻田村	21		44				
"	大網村	24		50	68			54	高座郡	藤澤町	81		38				
"	中原村	29		61	75			75	"	茅ヶ崎町	25		53				

(4) 新 潟 縣

本縣の桃は從來著しく樹數を増加せるも今後斯の如き増加を期する事困難なるべく、近時新植又は改植せらるゝものは多く小林、橘早生、東雲等の早生種なりとす。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
刈	羽	105,880		176,144		74,255	
中	蒲原	64,197		190,812		80,141	
南	蒲原	52,786		62,129		22,366	

(5) 香 川 縣

現在栽培せられつゝある桃の推定反別凡そ 200 町歩、品種は離核、土用、天津、白桃、上海、土倉等にして今後尙其栽培は減少すべき傾向を有す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
綾	歌	117,366		186,678		102,468	
香	川	58,615		36,434		22,525	
大	川	40,336		33,696		17,504	

香川郡上笠居村、大川郡造田村、綾歌郡川津村等は栽培反別多し。

(6) 福 島 縣

栽培面積幾分づゝ増加し居れり。品種は天津、離核、晚五號、傳十郎、土用等なり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
伊	達	96,053		597,975		107,739	
信	夫	70,662		55,347		21,419	
北	會	52,500		105,781		10,452	
石	城	32,978		153,045		17,021	

(7) 福 岡 縣

近年同縣の桃栽培は面積に於て寧ろ減少せる傾向あるも品種の選擇と品質の向上に努めたる結果其生産價額は相當増加せり。品種はアムステンジューン、東雲、白桃、橘早生、旭、土用、天津、上海、傳十郎、魁等なり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹	數	收	量	價	額
京	都	47,253		103,956		51,978	
宗	像	22,872		38,319		17,753	

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡	町	村	反	別	價	額	郡	町	村	反	別	價	額
京都郡	仲津村	39		24		23	宗像郡	神興村	27		23		
"	碓郷村	36		21									

(8) 愛 知 縣

栽培反別 257 町歩餘、品種は魁、小林、カールマン、離核、天津等にして近年増殖せらるゝものは多く早生種なり。知多郡大府町、東春日井郡鷹來村、碧海郡明治村は著明なる産地にして就中大府町は地の利を得栽培盛んなり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
知 東 春 日 碧	多 井 海	65,338 ^本 41,391 25,238	33,798 ^貫 31,922 37,857	16,239 ^円 22,345 34,071

主要町村別統計 (大正十二年度)

郡	町	村	反 別	價 額	郡	町	村	反 別	價 額
東春日井郡	巖	來 村	52 ^町	40 ^{千円}	知 多 郡	大 府 町		27 ^町	10 ^{千円}

(9) 廣 島 縣

栽培推定反別凡そ200餘町歩、最近二十年間に樹數凡そ37%を減じ近年尙減少しつつあり。現在栽培せらるゝ品種中天津第一位を占め桃全體の35%に該當し上海、土用之れに次ぎ離核、六水、白桃等も亦相當栽培せらる。上海及天津は逐年減少し六水、白桃其他の早生種増加しつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
佐 豐	伯 田	90,856 ^本 21,442	84,258 ^貫 82,064	40,444 ^円 26,704

佐伯郡古田村は反別46町、産額23,000圓あり。

(10) 京 都 府

栽培反別は年々多少増加しつつあり。久世、綴喜の二郡に栽培多し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
久 綴	世 喜	36,587 ^本 27,282	71,015 ^貫 63,690	24,557 ^円 24,720

(11) 山 形 縣

部分的に減少せる地方あるも罐詰業の發達並に遠方の市場に輸送の端緒開かれたる結果多少縣としての樹數は増加の傾向を示しつつあり。品種は天津、日丸、カールマン、離核、上海等なり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額	
西 東 南	田 村 村	川 山 山	94,230 ^本 22,870 17,734	62,649 ^貫 48,699 60,650	18,779 ^円 26,093 24,831

(12) 兵 庫 縣

本縣の桃は主として川邊郡川西町及び其の附近に栽培せらるゝも、栽培増加の傾向なく却て幾分減少し樹は一般に既に老衰せるもの多きを以て生産力は一層減退しつつあり。品種は天津にして之れ亦改良を要すべき状態にあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
川 邊		71,725 ^本	165,054 ^貫	49,952 ^円

川邊郡川西村の反別凡そ65町歩、産額55,000圓あり。

(13) 愛 媛 縣

栽培反別192町歩餘、二十年前に比し樹數は25%減せり。品種は天津、離核、傳十郎、上海、白桃等にして全産額の74%は温泉郡に生産す、又同郡産額の八割は興居島に産す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	收 量	價 額
温 泉		138 ^町	208,197 ^貫	94,229 ^円

温泉郡興居島の栽培反別123町歩、産額17萬貫餘なり。

(14) 千 葉 縣

本縣の桃の栽培反別は變化甚だ少なく、品種は傳十郎、天津、田中早生等多く土用、橘早生、アムステンジューン、上海、離核、在來種等も栽培せらる。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東 君	葛 飾 津	26,251 ^本 14,186	88,452 ^貫 49,080	43,907 ^円 20,803

(15) 群 馬 縣

近年樹數は稍減少せり。品種は天津、雜核、土用、アムステンジュー

ン等多かりしも近年他の早生種の栽培増加の傾向あり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
勢 群 多	多 馬 野	14,412 14,762 11,239	39,025 38,035 31,674	16,688 11,830 15,310

(16) 静 岡 縣

大正八年頃迄は樹數増加せるも其の後は増加せず、沼津市附近に栽培最も多し。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
駿 富 濱	東 士 名	9,340 10,750 14,000	69,366 49,700 35,290	32,907 20,000 21,174

其他の府縣

以上の外郡として稍纏まれる産額ある地方を擧ぐれば下記の如し。

府	縣	郡	樹 數	收 量	價 額
埼 玉 縣	南 埼 玉 郡		9,182	48,004	不詳
東 京 府	荏 原 郡		22,345	77,960	46,770
枋 木 縣	芳 賀 郡		26,040	43,454	27,350
奈 良 縣	生 駒 郡		32,664	164,447	46,173
"	北 葛 城 郡		38,523	120,656	38,469
長 崎 縣	西 彼 杵 郡		23,313	40,238	22,261
鹿 兒 島 縣	肝 屬 郡		22,128	63,884	51,107
青 森 縣	三 戸 郡		22	171,188	不詳
長 野 縣	北 佐 久 郡		14,530	125,642	50,257
秋 田 縣	平 鹿 郡		32,955	47,553	42,802
福 井 縣	坂 井 郡		41,788	39,560	16,722
山 梨 縣	中 巨 摩 郡		14,573	77,700	23,310
富 山 縣	婦 負 郡		21,427	39,511	16,276
"	射 水 郡		35,658	73,084	29,243
島 根 縣	能 義 郡		38,024	69,603	34,802
茨 城 縣	新 治 郡		13,791	37,001	17,095
石 川 縣	石 川 郡		41,850	62,300	36,098
"	能 美 郡		19,500	34,630	40,717

7. 葡 萄

葡萄累年統計

年 次	樹 數	收 量	年 次	樹 數	收 量	價 額
明 治 38 年	1,102,838	1,783,944	大 正 4 年	2,854,975	4,528,581	1,097,835
" 39 "	1,197,239	1,892,160	" 5 "	3,381,310	4,984,923	1,231,528
" 40 "	1,513,994	2,546,413	" 6 "	3,459,518	5,194,111	1,515,550
" 41 "	1,641,298	2,718,311	" 7 "	3,639,448	5,639,020	2,235,913
" 42 "	1,875,099	3,135,998	" 8 "	3,461,676	6,245,751	3,514,556
" 43 "	1,962,363	3,321,707	" 9 "	3,618,995	6,756,488	3,880,097
" 44 "	2,429,213	3,456,232	" 10 "	3,383,877	6,294,165	3,945,938
大 正 1 "	2,570,310	3,679,444	" 11 "	3,932,843	6,847,514	4,262,728
" 2 "	2,703,506	3,798,586	" 12 "	4,049,932	7,384,196	4,625,505
" 3 "	2,800,465	3,954,880	" 13 "	4,331,363	7,980,813	5,631,692

大正十三年の樹數を明治三十八年及び大正八年に比すれば前者に對しては393%、後者に對しては125%に當り、即ち樹數は最近二十ヶ年間に凡そ四倍の増加を示せり。收量も亦年々増加し大正十三年の收量は明治三十八年の448%となれり。價額は最近九ヶ年間に514%に増せるも之れ單價の騰貴に因るもの多く大正四年には一貫匁の單價二十四錢餘なりしが大正十三年には七十錢餘となれり。大正十四年の收量は更に著しく増加せるも價格は下落を來たせしを以て將來の葡萄の増殖は從來の如く多からざるべし。

主要道府縣別統計

道府縣名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三年 ノ收量ニ 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 正 十 三 年	
岡 山	226,077	435,626	824,543	565,217	324,825	193	365	7.08
大 阪	26,376	110,933	417,864	1,293,056	1,041,758	421	1,584	16.20
長 野	44,032	324,678	3,247,474	628,128	332,955	737	868	7.87
廣 島	61,452	237,717	338,542	540,806	369,573	369	525	6.78
山 梨	76,112	152,993	291,926	1,395,923	1,106,862	291	384	17.49
北 海 道	53,768	123,799	183,073	131,786	143,817	230	340	1.65
青 森	8,775	166,503	172,091	101,012	87,407	1,897	1,940	1.27
茨 城	67,497	173,165	169,497	481,735	238,074	256	251	6.04
湯 島	26,494	164,359	165,572	583,689	323,136	620	625	7.31
山 形	13,316	113,942	141,616	285,671	238,354	856	1,063	3.58

道府縣名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三 年ノ樹數 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大正十三年	
福 岡	5,430	212,898	118,149	80,363	69,709	3,921	2,175	1.00
秋 田	3,554	148,586	102,735	145,839	103,425	4,181	2,891	1.83
福 島	42,029	92,843	100,773	174,614	74,738	221	240	2.19
兵 庫	94,124	79,836	87,143	135,911	73,537	85	93	1.70
群 馬	14,665	109,086	65,959	80,940	48,351	734	449	1.01
香 川	8,125	77,805	59,828	61,712	33,616	957	736	0.77
山 梨	2,489	36,291	59,671	15,617	17,558	1,487	2,446	0.20
栃 木	114,135	54,754	48,139	121,560	64,257	48	42	1.52
神 奈 川	23,336	33,770	44,137	134,799	88,272	145	189	1.69
奈 良	10,857	25,277	44,133	143,517	183,189	232	406	1.80
岩 手	3,530	29,790	43,360	58,820	45,619	843	1,223	0.71
埼 玉	14,174	67,931	43,184	71,598	45,954	479	305	0.90
京 都	7,457	35,715	42,441	117,671	79,536	478	569	1.40

明治三十八年に於て樹數は岡山最も多く栃木、兵庫、山梨、茨城、廣島の順位なりしが、大正八年には長野第二位となり、廣島、福岡、茨城、青森、新潟、山梨の順序となり、大正十三年には同じく岡山第一位にして大阪之れに次ぎ、長野、廣島、山梨の順位となれり。過去二十ヶ年間に大阪、長野の如きは著しく樹數を増し其の他青森、山形、福岡、秋田、山口、岩手等も増加歩合多く、兵庫、栃木は却つて減少せり。然れども葡萄は地方に依り反當栽培本數に甚だしき相違ありて樹數にのみ依りて正しき地位を比較し難し。其の收量の最も多きは山梨及び大阪にして長野、岡山、新潟、廣島の順位なり。即ち山梨、大阪兩府縣の産額は他に比し著しく多く兩府縣の合計收量は全國總産額の凡そ三分の一に當れり。

主要道府縣の栽培概況及び統計

(1) 岡 山 縣

最近數年間に特に急速の増加をなせるも今後は大なる増加を見ざるべし。品種はキャンベルス・アーリー、カトーバ、ナイアガラ、甲州及び甲州三尺を主とし、カトーバは反當百五十本位の密植をなし、甲州は十五本位の粗植なり。

本縣に於けるガラス室葡萄栽培は尙續々増加し、品種は主としてマスカット・オブ・アレキサンドリアなりとす。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡 名	樹 數	收 量	價 額
兒 島	336,549	166,999	64,565
淺 口	112,026	59,520	30,715
上 道	102,482	99,866	52,026
赤 磐	86,869	108,599	70,589
小 田	60,405	55,156	32,548

主要町村別統計

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
兒 島 郡 福 田 村	町 62	千円 75	上 道 郡 浮 田 村	町 14	千円 28
赤 磐 郡 西 高 月 村	12	26	御 津 郡 横 井 村	* 1,616	22

* ガラス室栽培

(2) 大 阪 府

最近六、七年間に著しく増殖せられたるも大正十四年度の豊産と市價暴落のためにデラウェア種は伐採するもの或は廢園となれるもの續出せり。中河内郡堅下村は主として甲州種を栽培し近年頓に増加し、南河内郡には主としてデラウェアを栽培したるも二、三年前より甲州種に更新するもの多し。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡 名	樹 數	收 量	價 額
南 河 内	190,835	553,067	313,510
中 河 内	27,278	295,320	354,384

主要町村別統計

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
中河内郡 堅下村	町 92	千円 350	南河内郡 駒ヶ谷村	町 48	千円 120
南河内郡 長野町	50	150	" 天野村	25	50

(3) 長 野 縣

葡萄は本縣の風土に恰適し歐州種も露地にて相當の成績を挙げつゝあり。東筑摩郡は縣下第一の産地なるも寒冷の爲め歐州種の栽培は比較的尠し。主なる品種はコンコード、ナイアガラなるも近年デラウェア、シヤスラーローズ等なりとす。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東	筑	171,466 ^本	241,166 ^貫	98,059 ^円
上	伊	25,678	25,750	14,678
上	高	19,335	59,235	31,961
小	縣	17,163	31,773	22,241
北	佐	15,270	32,823	19,692

(4) 廣 島 縣

近年の増殖著しく、品種はカトーバ32%、キャンベルス・アーリー30%、甲州18%、其の他20%にして、カトーバは漸次減じデラウエア之に代りつゝあり。

主要郡市別統計 (大正十三年度)

郡	市	名	樹 數	收 量	價 額
賀	茂	藝	99,007 ^本	231,705 ^貫	236,313 ^円
安	藝		91,500	91,287	31,816
廣	島		40,000	60,000	24,900
深	安		38,607	43,148	29,523

主要町村別統計

郡	町	村	反 別	價 額	郡	町	村	反 別	價 額
賀	茂	郡竹原町	町 60	千円 140	御	調	郡島崎町	町 10	千円 10
安	藝	郡仁保村	34	17	深	安	郡川口村	36	20

(5) 山 梨 縣

年々増殖せられ二十年前に比し樹數約四倍となれり、樹數は米國種遙かに多きも米國種中の主位を占むるデラウエア種の如き反當百五十本に對し甲州種は僅かに十本なるを以て甲州種栽培面積は其の他の品種の合計反別に約二倍すべし。種別統計を示せば次ぎの如し。

種別統計 (大正十三年度)

種	類	樹 數	收 量	價 額
甲	州	40,350 ^本	489,523 ^貫	654,823 ^円
米	國	251,566	906,399	452,024

大正十四年度の不良なる成績は粗暴栽培家に多大の教訓を與へ今後の栽培の改善に對し好影響を齎らすに至るべし、又近年免疫性砧木の効果を認むる者呈しく増加せり。中巨摩郡西野村、東八代郡富士見村等は祝、

勝沼の本場に比すれば反別未だ微々たりと雖栽培家は何れも熱心にして優品を産出するに至れり。

主要郡市別統計 (大正十三年度)

郡	市	名	樹 數	收 量	價 額
東	山	梨	61,745 ^本	472,050 ^貫	419,506 ^円
西	山	梨	123,981	230,071	165,537
東	八	代	42,676	491,959	385,275
北	巨	摩	27,092	82,231	27,106
甲		府	13,730	50,344	57,708
中	巨	摩	12,157	26,280	20,205
西	八	代	5,740	33,320	25,236

主要町村別統計

郡	町	村	反 別	價 額	郡	町	村	反 別	價 額
東	八	代	町 168	千円 206	西	山	梨	町 90	千円 135
"	"	相興村	88	154	"	"	甲運村	37	53
東	山	梨	76	133	北	巨	摩	80	80

(6) 北 海 道

栽培面積は漸次増加し生産過剰に陥らんとするの虞あり。病蟲害は内地府縣の如く甚だしからず栽培容易なり。寒害のため歐州種は少なく冬期は防寒の爲め枝を地上に横臥せしむ。

主要地方別統計 (大正十二年度)

地	方	樹 數	收 量	價 額
後	志	57,187 ^本	36,782 ^貫	40,466 ^円
石	狩	23,725	16,855	21,703
上	川	26,750	24,240	22,030
空	知	16,428	17,588	13,758

(7) 青 森 縣

年々増加の傾向を有し總て株仕立にして反當三百本位なるを以て樹數の割合には反別少なし。主として米國種を栽培す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	産 額
中	津	町 16	千円 20,045

(8) 茨 城 縣

近年栽培法の改善に留意するに至りデラウエアは栽植増加の傾向あり品種はデラウエアの外レディーワシントン、ナイアガラ、ペーコン、コンコード等なり。總て棚作なるも稲敷郡牛久村の神谷葡萄園は醸造用歐洲種を垣根作となし居れり、面積四百餘町歩あり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
稲 敷		134,890 ^本	400,269 ^貫	200,175 ^円
東 茨 城		8,038	32,956	10,580

(9) 新 潟 縣

數年前迄著しく増殖せられたるも爾來左したる増加を見ず。品種はデラウエア、キャンベルスアーリー最も多くブラック・ハンブルグ之れに次ぎ其の他シヤスラー・ローズ、アドリア、ジャン、善光寺等なり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
南 蒲 原		14,234 ^本	338,500 ^貫	152,325 ^円
北 蒲 原		19,199	67,064	61,081
中 蒲 原		15,958	55,212	27,658
中 頸 城		76,124	26,059	24,495
刈 羽		8,537	37,973	15,186

(10) 山 形 縣

本縣の葡萄栽培は急激の進歩をなし栽植反別の増加極めて著しく目下の趨勢により推考すれば收來葡萄は縣内果實の第一位を占むるに至るべし。歐洲種は能く露地に於て結實し品種は甲州、デラウエア、シヤスラー・フォンテンブロー、シヤスラー・ローズ、ブラック・ハンブルグ、ナイアガラ、キャンベルス・アーリー、ブライトン、ハーバート、コンコード等なり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東 置 賜		53,141 ^本	29,062 ^貫	109,277 ^円
東 村 山		23,169	59,509	32,629
南 村 山		13,327	26,600	22,942
東 田 川		5,530	30,978	25,285

主要町村別統計

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
東置賜郡 中川村	37 ^町	67 ^{千円}	東置賜郡 屋代町	35 ^町	18 ^{千円}
" 赤湯町	21	52			

(11) 福 岡 縣

品種はレディー・ワシントン、キャンベルス・アーリー、カトーバ、ダイアナ、ナイアガラ、ハイランド、ゼツシカ等なり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
京 部		38,450 ^本	57,670 ^貫	63,413 ^円

(12) 秋 田 縣

キャンベルス・アーリー種の本縣に適するを知るに至りてより急速に反別を増加したり。栽培品種は同種最も多くナイアガラ之れに次ぎ、其の他歐洲種ブラック・ハンブルグ、シヤスラー・フォンテンブロー、シヤスラー・ローズ、甲州及び米國種の各品種も栽培せらる。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	收 量	價 額
平 鹿		45 ^町	84,939 ^貫	56,397 ^円
仙 北		17	39,204	31,530

(13) 福 島 縣

栽培反別は減少しつつあり。品種は米國種の黒葡萄大部分を占む。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
伊 達		35,632 ^本	38,689 ^貫	18,446 ^円
北 會 津		8,231	30,487	9,949
耶 麻		12,500	28,717	10,050

(14) 兵 庫 縣

川邊郡伊丹町及び其の附近に主として栽培せられ明治三十八年頃に比し一時大に減退せるを以て近年再増加の傾向あるも尙未だ頽勢を挽回するに至らず。品種はカトーバ凡そ70%を占め、デラウエア20%、甲州10%の割なるもカトーバ漸次減少しつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡名	樹数	收量	價額
川邊	30,820 ^本	73,265 ^貫	23,446 ^円

其の他の府縣

以上の外一郡の産額稍纏まれる所を挙げれば下記の如し。

府縣郡	樹数	收量	價額
栃木縣 下部賀郡	16,877 ^本	49,004 ^貫	23,011 ^円
" 芳賀郡	4,863	30,473	11,849
神奈川縣 橋樹郡	14 ^町	33,540	12,753
奈良縣 生駒郡	9,807 ^本	70,186	24,327
" 北葛城郡	13,232	39,110	19,132
京都府 久世郡	14,120	60,580	20,343
千葉縣 東葛飾郡	16,788	72,505	26,687
東京府 荏原郡	9,210	43,250	21,625
静岡縣 濱名郡	23,676 ^町	32,345	32,345
和歌山縣 那賀郡	13	62,500	50,000

8. 枇 杷

枇杷累年統計

年次	樹数	收量	價額	年次	樹数	收量	價額
明治 42 年	841,974 ^本	1,875,154 ^貫	— ^円	大正 6 年	1,340,453 ^本	2,380,744 ^貫	683,440 ^円
" 43 "	1,010,549	2,522,894	—	" 7 "	1,374,912	2,515,729	844,995
" 44 "	1,109,042	2,535,197	—	" 8 "	1,324,992	2,596,843	1,303,693
大正 1 "	1,181,271	2,609,776	—	" 9 "	1,342,136	2,546,426	1,337,691
" 2 "	1,182,772	2,558,271	—	" 10 "	1,366,227	2,750,763	1,642,204
" 3 "	1,205,03	2,536,147	—	" 11 "	1,392,450	2,932,733	1,676,609
" 4 "	1,201,078	2,474,532	562,709	" 2 "	1,440,790	3,059,708	1,684,279
" 5 "	1,341,778	2,606,811	581,295	" 3 "	1,506,381	2,948,019	1,719,422

大正十三年に於ける樹数は明治四十二年に比し191%に増し收量は157%に増加せり。又最近の價額は大正四年の306%に相當するも單價の騰貴に依る所多く大正四年には一貫二十三錢弱のもの大正十四年には五十一錢餘となれり。

主要府縣別統計

府縣名	明治四十二年樹數	大正八年樹數	大正十三年			明治三十八年ノ樹數(100)ニ對スル%		大正十三年ノ全額ニ對スル%
			樹數	收量	價額	大正八年	大正十三年	
千葉	69,563 ^本	143,549 ^本	149,146 ^本	172,377 ^貫	176,013 ^円	206%	214%	5.85%
長崎	42,216	103,577	136,310	679,489	411,480	245%	323%	23.05%
兵庫	31,404	86,233	131,826	203,159	112,687	275%	419%	6.89%
鹿兒島	90,563	92,111	112,299	187,016	85,525	102%	124%	6.34%
和歌山	102,150	46,762	89,064	144,744	56,571	46%	87%	4.90%
福岡	67,148	80,694	80,525	144,829	94,256	120%	119%	4.91%
大分	—	64,863	79,800	111,489	74,007	—	—	3.78%
愛媛	61,202	95,045	77,048	229,567	97,948	155%	126%	7.78%
徳島	19,541	47,804	60,460	139,378	34,271	245%	309%	4.73%
高知	25,406	49,422	56,935	71,964	35,513	195%	224%	2.44%
愛知	20,089	52,711	48,786	78,918	37,049	262%	243%	2.68%
静岡	16,326	27,314	48,355	69,365	40,474	167%	296%	2.35%
香川	39,896	45,540	45,858	95,200	37,513	114%	115%	3.23%
廣島	33,092	40,543	42,307	103,233	51,147	123%	128%	3.50%
熊本	17,635	25,813	33,939	73,398	54,254	146%	192%	2.49%

明治四十二年に於て樹数は和歌山最も多く鹿兒島、千葉、福岡、愛媛長崎の順位なりしが大正八年には千葉第一位となり長崎、愛媛、鹿兒島兵庫、福岡の順となり、大正十三年には千葉、長崎、兵庫、鹿兒島、和歌山の順位となれり。大正十三年の收量に於ては長崎最も多く全産額の凡そ23%に當り、愛媛、兵庫、鹿兒島、千葉の順位なり。而して最近十五年間に於て樹数の増加の歩合の最も多きは兵庫、長崎等にして和歌山は寧ろ減少し樹數に對する收量の割合亦甚だ少なし。

主要府縣の栽培概況及び統計

(1) 千葉縣

本縣の枇杷の80%は安房に産し其の大部分は富浦村に栽培せられ反別年々増加しつつあり。何れも暖かき山腹に栽培せられ、品種は田中最も多く楠、福寺院も栽培せらる。

主要郡及町村別統計 (大正十三年度)

郡	町村	樹数	收量	價額
安房郡	富浦村	120,691 ^本	136,541 ^貫	157,464 ^円
安房郡	富浦村	85,380	不詳	152,830

(2) 長崎縣

栽培反別二百五十町歩、全産額の85%は西彼杵郡に産し、茂木町は其

の中心地たり。品種は總て茂木にして近年栽培方法改良せられ將來産額著しく増加すべく縣は今後十年を期し反別を五百町歩に増さんと計畫しつつあり。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
西 南	彼 杵 高 來	94,649 ^本	612,076 ^實	373,523 ^円
		17,149	46,129	24,532

主要町村別統計

郡 町 村	反 別	價 額	郡 町 村	反 別	價 額
西 彼 杵 郡 茂 木 町	120 ^町	291 ^{千円}	西 彼 杵 郡 日 見 村	30 ^町	35 ^{千円}

(3) 兵 庫 縣

本縣の枇杷の88%は津名郡(淡路)に産出せられ其の大部分は同郡野島村に産出し、初めは轟枇杷と稱し野生種を栽培したりしが現在は殆んど田中種に更新せられたり。

主要郡別及町村別統計 (大正十三年度)

郡 町 村	樹 數	收 量	價 額
津 名 郡	89,854 ^本	178,446 ^實	97,619 ^円
津 名 郡 野 島 村	40,680	115,000	不 詳

野島村の栽植反別四十五町歩にして實際の産額は十一萬圓に達すと稱せらる。

其 の 他 の 府 縣

以上の外主なる産地の郡別統計を示せば下記の如し。

府 縣 郡	樹 數	收 量	價 額
鹿兒島縣 鹿兒島郡	40,417 ^本	71,634 ^實	23,970 ^円
" 肝 屬 郡	16,412	27,841	25,056
和歌山縣 有 田 郡	39,930	119,754	34,695
" 海 草 郡	36,060	54,510	21,250
大 分 縣 北 海 部 郡	16,365	30,952	12,381
" 速 見 郡	12,509	24,291	24,129
" 大 分 郡	8,907	13,464	12,387
愛 媛 縣 溫 泉 郡	54 ^{町歩}	79,937	43,567
靜 岡 縣 濱 名 郡	18,598 ^本	23,722	16,791
" 庵 原 郡	9,521	16,134	11,957
廣 島 縣 佐 伯 郡	11,262	40,954	23,869
熊 本 縣 天 草 郡	9,237	37,048	25,233

9. 櫻 桃

櫻 桃 累 年 統 計

年 次	樹 數	收 量	價 額	年 次	樹 數	收 量	價 額
明 治 42 年	65,623 ^本	125,000 ^實	不 詳 ^円	大 正 6 年	191,558 ^本	313,100 ^實	227,118 ^円
" 43 "	84,311	178,563	"	" 7 "	196,781	374,904	326,078
" 44 "	106,753	237,826	"	" 8 "	204,450	457,567	462,748
大 正 1 "	112,782	283,208	"	" 9 "	201,832	366,139	398,074
" 2 "	152,377	259,186	"	" 10 "	214,638	490,148	563,699
" 3 "	157,563	309,666	"	" 11 "	220,310	505,070	624,766
" 4 "	173,413	319,771	172,271	" 12 "	226,333	515,322	650,667
" 5 "	179,220	314,831	178,418	" 13 "	238,693	544,857	717,830

櫻桃は年々樹數と産額を増し明治四十二年に比し大正十三年の樹數は364%、收量は436%に當れり。價額は九年前の418%に増せるも之れ亦單價の騰貴に依る所多く大正四年に於て一貫匁の單價五十四錢弱のものが大正十三年には一圓三十一錢餘となれり。

主要道府縣別統計

道府縣名	明治四十 二年樹數	大正八年 樹 數	大 正 十 三 年			明治四十二年ノ樹 數 100)ニ對スル%		大正十三年 ノ產額ニ 對スル%
			樹 數	收 量	價 額	大正八年	大 正 十 三 年	
福 島	14,022 ^本	59,382 ^本	74,076 ^本	128,257 ^實	170,282 ^円	423%	528%	23.52%
山 形	21,073	67,428	67,528	226,994	249,616	319%	320%	41.66%
秋 田	2,361	11,583	27,988	27,091	36,547	491%	1,185%	4.97%
北 海 道	12,291	24,511	27,582	89,387	127,472	199%	224%	16.41%
青 森	890	10,691	11,627	34,752	50,149	1,200%	1,310%	6.37%
長 野	610	3,267	5,207	8,026	17,237	536%	854%	1.47%
新 山	2,348	2,306	4,108	5,259	13,797	94%	171%	0.96%
山 梨	50	721	3,133	4,244	23,879	1,442%	6,266%	0.78%

山形は明治四十二年、大正八年共に第一位にあり大正十三年に至り樹數に於ては第二位に下れりと雖收量は第一位を占め全國産額の41%に相當す、福島は收量第二位にして全國産額の23%に相當せり。青森は大正八年迄の増植多く、秋田は近年の栽植多きを見るべし、北海道は樹數の増加著しからざるも收量は福島に次ぎ第三位にして全國收量の16%を産せり。

主要道府縣の栽培概況及び統計

(1) 山 形 縣

新に栽植するもの相當増加しつつあるも古木の更新せらるゝものあるを以て反別に於ては近年著しき増加なし。品種は日の出、黄玉、那翁を主とす。山形市米澤市及び東村山郡に栽培最も盛んなり。

主要郡別統計 (大正十二年度)

郡	市	名	樹 數	收 量	價 額
山		形	12,500 ^本	50,006 ^貫	75,000 ^円
東	村	山	13,888	48,630	68,541
米		澤	7,710	42,405	36,053
南	村	上	9,736	28,806	25,827

(2) 福 島 縣

栽培面積逐年増加し、主なる品種は日の出、黄玉及び那翁なり。全産額の83%は信夫、伊達の兩郡に産す。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
信	夫	29,589 ^本	77,934 ^貫	85,246 ^円
伊	達	10,850	28,574	36,860

信夫郡瀬ノ上町は栽培最も盛んにして産額五萬圓に達す。

(3) 秋 田 縣

品種は黄玉、那翁の二種多く果樹園として栽培せらるゝものは甚だ少なし。將來栽培の増加多からざるべし。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	收 量	價 額
平	鹿	21 ^町	14,473 ^貫	17,367 ^円

(4) 北 海 道

栽培面積は著しき増加なく近年實蠅の被害増加せり。品種は初日出、黄玉、養老、大紫、那翁、高砂等なり。

主要地方別統計 (大正十二年度)

地 方	樹 數	收 量	價 額
後 志	10,316 ^本	47,720 ^貫	41,012 ^円
石 狩	4,168	10,642	11,185
小 樽	4,000	15,300	22,950

(5) 青 森 縣

結果佳良なるも苹果栽培に壓倒せられ著しき發展を見ず。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	反 別	收 量	價 額
三	戸	16 ^町	20,045 ^貫	不詳
中	津	輕	12,294	"
南	津	輕	10,176	"

(6) 山 形 縣

山形、福島地方に比し熟期二十日内外早く關西及京濱地方に對する出荷の魁をなし収益多し。品種は日の出、黄玉、那翁の三種を主とす。今後著しき増殖はなかるべし。

主要郡別統計 (大正十三年度)

郡	名	樹 數	收 量	價 額
東	山	梨	1,140 ^本	2,732 ^貫
				15,528 ^円

(7) 長 野 縣

數年來栽培者急に増加せり、品種は那翁、養老、黄玉を主とす。埴科郡及附近各郡に栽培せらる。

10. 柿

柿 累 年 統 計

年 次	樹 數	收 量	年 次	樹 數	收 量	價 額
明 治 38 年	8,111,416 ^本	43,314,555 ^貫	大 正 4 年	10,511,726 ^本	47,913,990 ^貫	5,623,657 ^円
" 39 "	8,146,491	46,260,919	" 5 "	10,775,821	40,039,291	4,753,955
" 40 "	8,770,522	51,694,100	" 6 "	10,793,871	45,285,869	6,970,621
" 41 "	9,275,861	54,084,112	" 7 "	10,729,433	30,225,623	7,671,076
" 42 "	9,363,796	43,590,790	" 8 "	11,028,299	43,617,962	14,702,518
" 43 "	9,450,905	46,358,335	" 9 "	11,093,447	45,528,740	14,452,587
" 44 "	9,566,102	43,374,132	" 10 "	11,164,298	49,615,279	15,245,653
大 正 1 "	9,831,237	40,043,513	" 11 "	11,720,913	46,554,521	14,393,482
" 2 "	10,539,161	47,040,623	" 12 "	11,535,151	44,275,382	14,373,107
" 3 "	10,569,724	38,911,224	" 13 "	11,974,180	62,627,785	16,293,708

柿は未だ園地に栽培せらるゝもの甚だ少なく従つて其の統計は不備の

點多く特に樹數は一層信頼し得ざるべきも、統計に現はれたる數字に依れば年々増加し、大正十三年の樹數は明治三十八年を100をとし之に對比すれば147%となり、收量は同じく100に對し144%に相當せり。價額は大正四年を100とし其の290%に達せるも之れ亦單價の騰貴に依る所多く大正四年には一貫匁凡そ十二錢弱のものが大正十三年には甚だ豊産なりしに拘はらず二十六錢餘となれり。

府 縣 別 統 計

府 縣 名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大正十三 年樹數	大正十二、十三 年 平 均		明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三 年ノ全國ニ 對スル%
				收 量	價 額	大正八年	大正十三年	
長 野	263,771	335,295	396,681	3,498,656	820,666	127	150	5.59
福 島	227,696	335,321	425,963	3,080,064	502,517	147	186	4.92
岡 山	202,483	283,800	340,092	2,671,163	470,917	140	167	4.27
新 潟	349,701	524,970	497,632	2,370,482	1,903,011	150	142	3.79
佐 賀	198,240	230,478	288,668	2,342,237	447,368	141	145	3.74
熊 本	232,863	283,108	325,101	2,151,129	367,265	121	139	3.43
鹿 兒 島	197,878	320,404	535,637	1,678,637	371,896	152	270	2.68
兵 庫	268,633	440,445	455,963	1,575,443	539,175	163	169	2.52
京 都	136,514	370,331	296,613	1,559,034	431,249	271	217	2.49
山 口	221,680	390,503	310,748	1,470,263	274,525	176	140	2.35
福 岡	224,532	385,919	391,915	1,453,295	495,212	171	174	2.32
山 形	119,644	161,638	172,218	1,410,337	356,441	135	156	2.25
靜 岡	185,435	302,710	414,084	1,324,266	385,412	163	223	2.11
大 分	264,615	345,247	384,077	1,224,171	434,559	130	145	1.96
岐 阜	219,070	292,818	399,755	1,218,829	586,417	133	182	1.95
石 川	—	224,217	278,577	1,160,370	311,713	—	—	1.85
福 井	143,476	215,680	220,687	1,040,759	259,495	150	153	1.66
廣 島	233,584	349,722	380,146	990,447	501,746	123	134	1.58
茨 城	155,448	246,217	235,974	972,958	299,391	159	151	1.55
宮 崎	147,419	251,569	279,498	966,080	280,014	170	189	1.54
富 山	272,839	314,511	320,743	955,876	376,107	115	117	1.53
千 葉	558,509	314,310	304,747	953,735	233,752	56	54	1.52
奈 良	114,043	168,254	185,747	902,556	356,501	147	163	1.44
宮 城	123,851	230,192	249,361	899,129	203,378	185	201	1.44
愛 媛	133,805	226,335	239,666	887,462	232,078	169	179	1.42
神 奈 川	79,233	156,418	126,938	861,516	392,520	197	160	1.33
埼 玉	294,032	223,101	192,273	844,045	298,868	75	65	1.35
鳥 取	254,107	180,934	178,420	831,935	292,058	71	70	1.33

府 縣 名	明治三十 八年樹數	大正八年 樹 數	大正十三 年樹數	大正十二、三年 平 均		明治三十八年ノ樹 數(100)ニ對スル%		大正十三 年ノ全國ニ 對スル%
				收 量	價 額	大正八年	大正十三年	
三 重	164,408	342,196	337,521	820,447	332,182	208	205	1.31
滋 賀	257,075	243,027	265,950	816,698	307,344	94	103	1.30
山 梨	108,274	130,822	121,168	804,572	23,281	120	111	1.28
德 島	186,785	239,218	289,872	795,213	178,486	128	155	1.27
栃 木	136,357	187,812	205,690	789,438	245,461	135	150	1.26
岩 手	109,033	95,557	111,933	783,667	144,291	91	102	1.25
長 崎	69,263	157,814	176,599	730,352	182,121	227	254	1.17
愛 知	304,084	335,190	304,225	717,719	324,730	110	100	1.15
島 根	131,074	186,098	216,890	712,030	275,962	146	161	1.14
群 馬	230,521	117,733	123,379	710,334	176,913	51	53	1.13
和 歌 山	202,483	171,317	189,112	621,734	194,352	84	93	0.99
秋 田	35,495	79,544	85,881	567,807	159,611	224	241	0.91
香 川	108,313	146,747	153,074	563,908	238,225	135	141	0.90
高 知	184,930	262,429	335,383	554,919	159,299	141	181	0.89
青 森	21,348	23,321	48,738	593,055	108,241	132	228	0.96
大 阪	69,745	95,392	115,651	439,426	173,411	136	165	0.70
東 京	70,542	61,330	65,363	331,497	181,539	86	92	0.53

本表に依り柿は各府縣の樹數の増加歩合の相違少なきを知るべく、大正十三年の統計に依り樹數最も多きは鹿兒島にして新潟、兵庫、福島、静岡、岐阜、長野、福岡、大分、廣島の順序なり。大正十二年及び十三年の平均收量に於ける順位は長野第一位にして福島、岡山、新潟、佐賀熊本、鹿兒島、兵庫、京都、山口の順となり。價額に於ては新潟最も多く長野之れに次ぎ、岐阜、兵庫、福島、廣島、福岡、岡山、佐賀、大分等順次之れに次げり。即ち柿は概して九州及山陽地方に最も多く、統計上の數字は福島、長野、新潟の三縣共に甚だ多きも之れ一つは各其の縣の面積の大なるにも依るなるべし。

各府縣の主要栽培品種又は代表的品種

府 縣 名	甘	柿	澁	柿
長 野	御所、富有		蜂屋、富士	
福 島			會津身不知、蜂屋、饅頭	
岡 山	富有		西條、作州身不知	

府 縣 名	甘	柿	澁	柿
新 佐 熊 鹿 兵 京 山 福 山 靜 大 岐 石 福 廣 茨 宮 富 千 奈 宮 愛 神 埼 鳥 三 滋 山 德 栃 岩 長 愛 島 群 和 秋 香	三國一、白乳 キヤラ 元山(羅伽)小春(正月) アルカヤ 久保、御所 御寺、豐岡 富有 富有、次郎、元山、甘百目 蜘蛛ノ巣 富有、次郎、八溝、藤八 小春、伽羅、木練 富有 四谷、五所 富有 百目、江戸一、青曾、野澤 富有、アルカヤ、東元寺、初道院 水島、糸座、御所、百目、四谷 百目、禪寺丸、鶴の子、富有 富有、藤原御所、豐岡 富有 禪寺丸、ツリガネ 富有、鶴の子、富山、妙丹、江戸一、砂糖、御所、百目、次郎、禪寺丸 富有、花御所 富有、蓮臺寺 富有、御寺、御所 富有、御所 富有、次郎 江戸一、百目、富有、次郎 油壺、カラスミ、富有、次郎、天神御所、八島 富有、次郎、百目 百目 富有、寒御所	會津身不知、蜂屋、寺社 葉隠、イナサ、シユウレン 高瀬(葉隠)烏帽子 千女 ニタリ 鶴の子 横野、葉隠、蜂屋、稲山、西條 横野、西條 紅柿、平核無、身不知、寶生、泰山 四つ溝 核無、オベン、鷹の巣 堂上蜂屋、田村 倉光、三郎座、紋平、日本柿 三郎座 西條、祇園坊 衣紋、蜂屋、美濃鶴 蜂屋、核無、横野、下花、葉隠、千女 庄左衛門、三社、蜂屋、若宮 衣紋、蜂屋、大澁、身不知 ニタリ 西條 蜂屋、美濃鶴、小湯、衣紋、角曲り 西條、新平 蜂屋 堂上蜂屋、衣紋、横野 百目、蜂屋、衣紋 横野、蜂屋、西條 蜂屋、四つ溝、甲州百目、身不知、大蜂屋 富士、松田、小枝、烏帽子 横野、富士 西條、蜂屋、横野、富士、衣紋 蜂屋 似タリ、丹生津 佐々衛門、伊左衛門 碁盤		

府 縣 名	甘	柿	澁	柿
高 青 大 東	富有	森 阪 京	富有、次郎、久保 禪寺丸、富有、次郎、百目	稲山、川端、津ノ山 妙丹、ヨツハシ 田倉 蜂屋

柿には同名異種あり、異名同種あり。其の著名なる一例を挙げれば東北及び關東北部の蜂屋は甲州百目なるが如し。

11. 乾 柿

累 年 統 計

年 次	産 額	價 額	年 次	産 額	價 額
明 治 42 年	5,583,404 ^圓	—	大 正 6 年	2,523,857 ^圓	1,433,716 ^圓
" 43 "	5,943,459	—	" 7 "	1,590,979	1,480,872
" 44 "	5,321,403	—	" 8 "	2,251,780	2,688,281
大 正 1 "	3,836,772	—	" 9 "	2,115,628	2,324,440
" 2 "	4,472,504	—	" 10 "	2,857,540	3,156,493
" 3 "	3,707,462	—	" 11 "	2,865,061	2,902,768
" 4 "	3,413,902	1,338,505	" 12 "	2,382,804	2,560,613
" 5 "	2,215,552	1,065,935	" 13 "	3,925,106	3,647,316

乾柿の生産額は近年寧ろ減少し、明治四十二三兩年の平均生産額と大正十二三兩年の平均生産額を比較すれば後者は前者の僅か 55% に過ぎず。乾柿は其の製造に少なからざる努力を要し、乾燥果實として發展の餘地寧ろ少なく今後も製造高の著しき増加を期し難かるべし。

主 要 府 縣 別 統 計

府 縣 名	明治四十 二年收量	大正八年 收 量	大正十二、十三年平均		全國ノ收 量ニ對ス ル%	
			收 量	價 額		
長 兵 佐 廣 岡 大 京	野 庫 賀 島 山 分 都	53,349 ^圓	210,676 ^圓	250,994 ^圓	209,030 ^圓	6.39%
		157,670	80,334	229,914	178,211	5.85
		116,568	114,424	194,176	136,227	4.95
		189,502	110,951	168,799	201,964	4.30
		103,143	39,239	153,580	145,866	3.91
		75,616	70,488	146,803	143,217	3.74
		207,232	95,147	142,177	68,237	3.62

府 縣 名	明治四十	大正八年	大正十二、十三年平均		全國ノ收 量ニ對ス ル%
	二年收量	收 量	收 量	價 額	
福 島	329,791	200,527	139,093	138,127	3.54
熊 本	53,486	26,800	134,524	150,652	3.43
宮 城	441,712	51,050	121,428	107,617	3.09
福 岡	282,378	78,782	86,748	79,638	2.21
山 口	113,007	32,144	80,900	58,907	2.06
岩 手	75,943	58,274	77,472	61,345	1.56
滋 賀	387,508	84,843	75,222	69,636	1.77
山 梨	58,606	52,583	73,907	121,903	3.11
埼 玉	204,885	48,513	69,723	88,424	2.27
岐 阜	80,782	190,186	62,018	87,729	2.24
愛 媛	136,613	124,649	59,967	53,546	1.36
徳 島	40,799	7,952	40,682	44,467	1.13
千 葉	206,109	11,685	37,922	43,401	0.97

乾柿は生柿の收量多くして價格の安き時に多く製造せられ、従つて其の産額は各府縣共年に依り著しき相違あり。大正十二、十三兩年の平均産額に於て長野は最も多く兵庫之れに次ぎ、佐賀、廣島、岡山、大分、京都の順位となり、價額に於ても長野第一位にして廣島之れに次ぎ兵庫熊本、岡山、大分、福島、佐賀の順序なり。山梨、岐阜等固來著名なる乾柿の産地は其の産額も多からず又近年産額寧ろ減少の傾向にあり。

12. 梅

累 年 統 計

年 次	樹 數	收 量	年 次	樹 數	收 量	價 額
明 治 33 年	4,066,226	471,032	大 正 4 年	4,656,511	413,471	2,332,008
" 39 "	4,232,552	605,638	" 5 "	4,633,005	341,744	2,300,446
" 40 "	4,361,939	516,748	" 6 "	4,739,131	332,132	3,171,964
" 41 "	4,412,912	483,791	" 7 "	4,784,963	383,327	4,508,346
" 42 "	4,744,633	469,768	" 8 "	4,808,463	411,927	6,187,131
" 43 "	4,694,754	477,968	" 9 "	4,826,783	401,353	5,772,213
" 44 "	4,613,392	472,874	" 10 "	4,789,972	405,823	6,818,488
大 正 1 "	4,387,241	519,159	" 11 "	4,882,994	347,973	6,249,795
" 2 "	4,522,663	471,725	" 12 "	4,733,649	377,937	6,268,589
" 3 "	4,489,256	436,009	" 13 "	4,722,774	323,328	6,523,45

梅は園地に栽培せらるゝもの殆んどなく其の統計は柿以上に不正確なるものにして、年に依る收量の相違も甚だしく特に明治三十八年の樹數の統計は一層信頼し難き所なるも各地共概して樹數の増加他の果樹に於けるが如く著しからざるは明かなり。

明治三十八年の樹數に對する大正八年の樹數は 118 %にして大正十三年には寧ろ稍減じて 114 %となれり。收量は明治三十九年の六十萬石を最高として近年減少し大正十三年の收量は明治三十八年の凡そ 70%に過ぎず。價額に於ては著しき増加を示せるも之れ主として單價の騰貴に依るものにして一石の單價大正四年に於ける五圓六十四錢に比し大正十三年には十九圓八十七錢となり此の九年間に三倍半以上の騰貴をなし、其の騰貴率は他の何れの果實よりも高く明かに其の生産の不足を示すものなるべし。

道 府 縣 別 統 計

道 府 縣 名	樹 數			大正十二、十三年平均		明治三十八年ニ對スル樹數ノ%		大正十三年ノ全國ニ對スル%
	明治三十八年	大正八年	大正十三年	收 量	價 額	大正八年	大正十三年	
鹿 兒 島	108,717	154,833	178,515	22,763	140,403	142	164	6.96
和 歌 山	37,410	112,750	153,368	18,002	250,450	301	499	5.43
埼 玉	170,240	187,975	179,852	16,892	267,564	110	105	5.14
靜 岡	150,971	192,005	198,486	16,729	264,585	127	132	5.10
茨 城	174,776	181,043	187,397	14,552	262,005	103	105	4.43
千 葉	180,852	210,760	213,260	12,956	318,934	116	117	3.95
愛 知	151,216	218,882	216,173	12,583	291,849	144	142	3.83
熊 本	110,459	124,115	124,459	12,569	184,883	112	112	3.83
福 島	133,255	150,836	154,730	11,408	158,487	113	116	3.47
福 岡	113,441	183,993	170,261	11,167	249,105	162	150	3.40
神 奈 川	90,544	163,958	121,402	10,409	270,725	189	134	3.19
大 分	140,446	121,962	124,515	10,325	163,598	86	88	3.14
長 崎	72,486	96,664	97,877	10,200	84,369	133	135	3.11
新 潟	119,355	140,828	124,290	9,707	225,744	118	104	2.96
長 野	78,833	109,163	112,370	9,509	234,458	138	142	2.90
福 岡	151,746	163,691	156,822	8,261	134,966	107	103	2.52
京 都	77,145	125,595	101,585	7,990	183,500	162	131	2.43
群 馬	133,597	116,236	114,229	7,896	170,749	75	74	2.40
香 川	68,369	76,846	65,295	7,351	86,133	112	95	2.24
東 京	65,748	77,947	74,561	7,148	292,734	133	113	2.18
山 口	202,506	113,727	101,898	7,141	61,775	56	55	2.17
宮 崎	88,389	83,574	79,633	7,118	96,027	94	90	2.17

道府縣名	樹 數			大正十二、十三年平均		明治三十八年ニ對スル樹數ノ%			大正十三年ニ對スル樹數ノ%
	明治三十八年	大正八年	大正十三年	收 量	價 額	大正八年	大正十三年	正 年	
青 森	16,843	19,589	27,893	6,577	98,739	116	165	2.00	
岐 阜	104,508	126,765	127,834	6,390	136,155	121	122	1.95	
滋 賀	73,004	86,569	88,799	5,926	128,662	118	121	1.81	
廣 島	85,749	103,673	104,255	5,719	102,168	120	121	1.74	
德 島	107,050	103,744	103,448	5,691	78,848	96	96	1.71	
三 重	128,537	94,860	84,196	5,209	95,145	73	65	1.59	
大 阪	53,677	65,521	83,399	5,012	97,267	122	157	1.53	
奈 良	14,108	46,288	50,135	5,011	86,563	328	355	1.53	
宮 城	167,430	86,420	89,320	4,799	78,959	51	53	1.46	
愛 媛	—	65,648	69,947	4,503	67,222	—	—	1.37	
佐 賀	55,859	76,364	67,723	4,417	55,463	136	121	1.35	
福 井	41,783	55,781	57,577	4,007	94,568	124	123	1.29	
岡 山	84,849	108,616	95,139	3,959	103,553	128	112	1.21	
兵 庫	108,192	136,076	115,682	3,836	127,572	125	106	1.16	
秋 田	43,148	55,516	55,179	3,604	92,050	128	127	1.10	
山 梨	33,333	37,268	31,668	3,503	59,299	111	94	1.07	
石 川	—	61,926	61,288	3,360	79,144	—	—	1.02	
山 形	43,663	49,576	49,034	3,314	84,553	113	112	1.01	
富 山	72,144	87,264	76,385	3,125	88,062	120	105	0.95	
高 知	69,892	68,735	68,533	2,696	45,719	98	98	0.82	
岩 手	16,818	35,721	39,552	2,611	43,526	212	235	0.80	
鳥 取	28,563	38,548	33,283	1,795	39,673	134	116	0.55	
北 海 道	2,655	10,709	13,160	1,546	35,181	403	491	0.47	

大正十二、十三兩年の平均收量に於て最も多きは鹿兒島にして和歌山、埼玉、静岡等順次之れに亞ぐ事前表の如し。價額に於ては千葉第一位を占め東京、愛知、神奈川、埼玉、静岡、茨城、和歌山順次之に亞ぎ鹿兒島は産額多き割合に價額少なし。

附 録

第一 果樹品種の選擇と優良品種説明

1 果樹品種の選擇

果樹の品種は頗る多くて本邦主要果樹類中、梨、柿、葡萄、苹果、桃、栗、梅、枇杷等に至りては實に數百種に達する。然し之等多數の品種も凡て有望種として栽培價值あるものと見做すことは出来ない。過去に於ては優良種なりしが今の嗜好程度に添はないもの、又に現在にては相當認められつゝあれども將來には價值なきものもある。又本邦の如く風土の變化ある國狀にては甲地と乙地にて適不適のある例は多い、故に場所や各自の栽培目的に應じて選擇を多少異にせねばならぬが實際的に價值あるものは極く少數に限られる。

今茲に栽培品種の選擇上最も肝要なる事項について記述せば次の如くである。

一、栽培の目的により品種の選擇をなす事

其の目的が生食用なるか、加工用なるか又貯藏用なるか等について夫々適當に選擇するを要する。

二、外觀及び品質の良好なる品種を選擇する事

生活上果物の嗜好程度の向上並に經濟狀態の推移によりて外觀及び品質の良好なるものを要求するは自然の大勢である。故に現在及び將來とて此の點に添ふ様品種の選擇をなすことが肝要である。

三、熟期と市場との關係により選擇する事

交通機關の發達に従つて果物を遠地に輸送する事も盛んになつた爲に市場に於ける果物の集散狀況は日を追ふて複雑となりつゝある。特に販賣の時期は市價を左右すること多く早生、晩熟種を出して多くの収益を納める事もある、如何に優良品を産出するも市場に荷が多ければ勢ひ市價の低落するは免れ得ない。

四、比較的栽培の容易なるものを選択すること

温室又は硝子室栽培等の外其の風土に於て最も栽培の容易なる品種を選択することが必要で病蟲害に對する抵抗力弱く或は天候等にて落果損傷し易き品種等は經濟的有望品種とは認められない。

五、連年豊産なる品種を選択すること

如何に栽培技術が進歩するとも品種個有の特性を改造することは不可

能である。栽培品種として豊産性なるものを選択することの必要なると同時に隔年結果の少きものを選ぶことが肝要である、又生理的花器の缺陷の爲め適當なる混植種を選ぶことも此場合心得ねばならない。

六、輸送貯藏に堪ふる品種を選ぶ事

都會附近の栽培地にて直ちに消費者に供給し得る地方は別として然らざる場合は輸送及び貯藏に堪へる品種を選択するを要する。又豊産に際し又價格の暴落に當り貯藏力強き品種を選ぶのは今後貯藏方法の研究と相俟ちて益々肝要なる事である。

七、風土に適應せる品種を選択すること

品種によりて風土に適不適のあるは既述せる通りである、殊に我國は其差烈しきを以て此の點に特に注意を拂ふべきである。

八、新品種の栽植は一層考慮せねばならぬこと

新品種として紹介されたるものや苗木商の誇大なる廣告に迷はされて多數栽植することは危険此上もなき事である。

2 重要果樹品種説明

以下主なる果樹の優良品種に付き特性を表示する。但し此等の特徴は栽培の状態風土によりて異なるもので次表は何れも静岡縣興津を標準とせるものである。(○印を附せるは營利栽培上最も重要なる品種である)

和 梨

品 種 名	形 状	果の 大 小	皮 膚	品 質	熟 期	收 量	樹 勢	備 考
眞 餘	圓	40	赤褐色滑斑點大	中	7.下	多	強	黒星病に弱し
博 多 青	圓稍不正	80	淡綠黃滑	中	7.下-8.上	中	強	同
獨 逸	圓又は稍 々扁圓	70	赭褐色滑斑點小	上	8.中	多	強	黒星病に弱し
○長 十 郎	圓	75	同上	上	8.中-9.上	多	強	他種の混植を要す
幸 藏	扁圓	60	帶綠褐色斑點中滑	上	9.中	多	強	
○廿 世 紀	圓	60	淡綠黃褐	極上	9.中	中	強	輪紋病に弱し
世 界 一	扁圓	75	帶綠褐稍粗	上	9.中-下	多	強	
明 月	橢圓	100	淡綠褐滑	極上	9.中-下	中	強	
○早 生 赤	圓	60	帶赭褐滑斑點小	中	9.中-下	多	強	貯藏に適す
○今 村 秋	尖圓	100	暗褐赤粗斑點大	上	10.中-下	多	強	同上
○晚 三 吉	尖圓	100	淡綠褐滑斑點大	上	10.下1.上	多	強	同上
慈 梨	尖圓不正	100	不齊斑點大	極上	10.下	中	強	支那梨、黒星病に弱し貯藏に適す
鴨 梨	尖圓	100	帶綠黃滑	上	10.中	多	強	支那梨、貯藏に適す

右の内長十郎、慈梨は自花結實の品種なるを以て他種の混植を要する。又早生赤と大白は相互に親和力弱き爲混植するとも其の効が無い。晚三

吉、今村秋は四國九州の暖地では果實甚大品質甚佳である。

洋 梨

品 種 名	形 状	果の 大 小	皮 膚	品 質	採 收 期	收 量	樹 勢	備 考
○ブレコース	長壘狀	80	黃綠色滑	中	8.中	多	強	ドクトルドギエ ヨ種に同じ
クラツプス フエボリツト	壘 狀	80	帶綠黑滑	中	8.上、中	中	強	
○パートレット	壘 狀	80	淡褐黃滑	上	8.下-9.上	多	強	
○ヂュツセス ダングレーム	短 壘	90	帶綠黑色に銹あ り、凹凸あり粗	上	9.中、下	多	強	
オノンダガ	壘 狀	80	黃綠色に銹粗	上	9.中	多	強	
ポーレーアーザ	短 壘	60	褐滑	上	9.中、下	中	強	
ポイント ドワイアンヌ	圓	70	淡黃滑	上	9.中、下	多	強	
フレイッシュ ビューチー	壘	80	綠黃陽面紅色滑	上	9.上	中	中	北海道にて日面 紅と呼ぶ
ラフランス	圓	40-50	綠黃色銹多凹凸 粗	極上	10.上、中	多	中	
ビーバーリー	長壘狀	70	綠黃銹甚だ粗	上	11.上	多	強	朝鮮にて成績よ し
ウインター ネリス	短 壘	50	綠黃銹甚だ粗	極上	11.上	多	中	
キープアー	壘 狀	80	帶綠黃粗	下	10.中	多	強	罐詰用

以上の外にエミールラースト、ドワイアンヌデユコミス、バスクラサン、イースターポーレー等も有望種と認められる。果皮の銹斑は栽培する地方風土によりて甚だしく異なるものにて概して温暖地方には甚だしく、寒冷なる地方にては少く時には全然異品種の觀を呈することがある。パートレット、ヂュツセスダングレーム、クラツプスフエボリツト、ウインターネリス等は他品種を混植するを要する。

萃 果

和 名	原 名	形 状	果の 大 小	色 澤	肉 色	品 質	熟 期	收 量	樹 勢
紅 魁	レット、アストラカン	圓	40	深紅	白色	中	7.下	多	強
○祝 旭	マツキントツンレッド	長圓	45	綠黃色地に淡き赤 條	白	極上	8.下	多	強
○紅 玉	ジョナサン	圓	50	濃紅	白	上	9.中	多	強
鶴の卵	オートレー	圓	50	鮮紅	黃白	極上	10.中	多	強
鳳凰卵	エローベルフラワー	橢圓	40	帶綠黃	乳白	上	10.中	多	中
○倭 錦	ベンダビス	圓	70	綠黃色に赤條	乳白	上	10.下	中	強
一	キングダビット	圓	60	綠黃色淡黃條	乳白	中	10.下	多	強
一	ブラックベンダビス	圓	50	濃紅	黃白	上	10.下	多	強
大國光	ジャイアントセネートル	圓	55	鮮紅	白	中	10.下	多	強
○國 光	ロールスセネートル	圓	50	綠黃色に赤條	白	極上	10.下	多	強
	ロールスセネートル	圓	45	綠黃地に暗赤條	白	上	10.下	多	強

此の他花魁(リーブランドラズベリー)翠玉(エローニユートンビツピン)エーケン等亦良種である。

桃

Table with columns: 品種名, 花, 蜜線, 果形, 果實の大きさ, 肉色, 核着否, 品質, 熟期, 収量, 樹勢, 備考. Rows include 早生天津, 東雲, 土倉, 田中早生, etc.

右の内白桃、上海金桃各種は花粉の生ずること甚だ少きものなるにより他品種の混植を要す。

柿 (甘柿)

Table with columns: 品種名, 縦断面, 横断面, 果の大きさ, 色澤, 褐斑, 品質, 熟期, 収量, 樹勢, 種子数, 雄花有無. Rows include 晚御所, 伽羅, 正月, etc.

柿 (澁柿)

Table with columns: 品種名, 縦断面, 横断面, 果の大きさ, 色澤, 用途, 品質, 採收期, 収量, 樹勢, 種子数. Rows include 富士堂上蜂屋, etc.

Table with columns: 品種名, 縦断面, 横断面, 果の大きさ, 色澤, 用途, 品質, 採收期, 収量, 樹勢, 種子. Rows include 西條, 四溝, 葉隠, etc.

右の外甘柿の袋御所、徳田御所、澁柿の稻山、祇園坊、三郎座等は亦良種である。

北陸東北地方に於ける甘柿の脱澁困難なる地方にては會津身不知、紋兵衛、倉光、三郎座及平核無等宜し。

柑 橘 類

Table with columns: 品種名, 形状, 果の大きさ, 皮膚, 肉色, 品質, 採收期, 収量, 種子の多少, 備考. Rows include 早生温州, 温州, etc.

梅

Table with columns: 品種名, 花大小, 花瓣, 花色, 萼色, 果の大きさ, 果形, 収量, 樹勢, 備考. Rows include 甲州最小, 白加賀, etc.

以上の外長束(ナツカ)、曙、織姫等も有望である。

葡萄 (歐は欧州種、米は米國種)

品 種 名	類 別	果 大 小	粒 形 状	粒 大 小	色 澤	品 質	熟 期	收 量	樹 勢	備 考
シヤスラー、ド、フォンテンブロー	歐 州	40	圓	中	黄綠	上	8.下	多	强	
シヤスラー、ローズ、フォンテンブロー	歐 州	40	圓	中	紫赤	上	8.下	多	强	
○甲	歐 州	60	橢圓	稍大	淡紫	極上	10.下	多	强	
○ア ヲ ヲ ク、ハ ン プ ル ケ	歐 州	80	橢圓	大	紫黒	極上	9.上	多	强	露地及温室
○ゴ ー ル デ ン、ク ケ ン	歐 州	70	橢圓	大	黄白	極上	10.下	中	中	露地及温室
○マ ス カ ヲ ト、オ プ、ア レ キ サ ン ド リ	歐 州	150	橢圓	大	黄白	極上	中		稍弱	温室
○ホ ス タ ー ス、ホ ヲ イ ト、シ ー ド リ ン	歐 州	150	橢圓	中	黄白	上	早		强	温室
○カ ン ベ ル ス、ア ー リ ー	米 國	45	圓	大	黒	上	8.中	多	强	生食酒造
○テ ラ ウ エ ア ー	米 國	35	圓	小	赤	上	9.上	多	强	
ナ イ ア ガ ラ	米 國	50	圓	大	黄綠	上	9.上	多	强	
レ デ ー、ワ シ ン ト ン	米 國	50	扁圓	大	黄白	上	9.上	多	强	

歐州種は米國種に比し病害に犯され易く收量も少きを普通とすれども品質は數等優る。本表中の各項の比較は前者は歐州種中にて後者は米國種中に於ける比較として見られたい。

米國種は生食用種と雖も醸造用にも適用せらる、尙此外にチャムピオン、アチロンダツク、ハートフォードプロリフイック、カトウバ等も生食醸造用としてよし、暖地方にては生食用にハイランドも亦用ひられる。

栗

品 種 名	主 産 地	形 状	果 大 小	色 澤	座	熟 期	品 質	收 量	備 考
豐多摩早生	東京 茨城	尖	4.5	淡	小	8.中	中	多	
○鹿ノ爪	攝、丹	甚尖	8.0	甚濃	中	9.中	極上	多	
○銀寄	同	横に張る	10.0	濃	稍大	9.下	極上	多	
○手々打	兵庫 水	稍低豐	7.0	稍濃	中粗爪痕	9.下	極上	中	結果期に入る事晩
○田尻銀寄	攝、丹	豐圓	8.0	濃	中	9.下	上	多	
○岸根	山口 坂上	豐圓	13.0	稍濃	中	10.上	極上	多	

無 花 果

品 種 名	果 形	果 の 大 小	色 澤	收 量		品 質	樹 勢	備 考
				夏 果	秋 果			
サンベトロ、ホワイト	圓	35.0	綠黄	多	無	上	强	
ブラウン、ターキー	卵圓	23.0	紫褐	多	多	上	强	
ホワイト、セノア	長卵圓		褐黄	少	多	上	中	夏果三〇、秋果二〇、冬果一〇

櫻 桃

和 名	原 名	類 別	形 状	大 小	色 澤	肉 の 性 質	品 質	熟 期	收 量	樹 勢	種 子	備 考
一	ピガロー、グラン	甘	短心臓	大	紫赤	稍緊	上	5.中	多	强	長圓大	
一	ブラツク、タータ	甘	鈍心臓	大	紫赤	稍緊	極上	6.上	中	强	長圓中	
一	リアン	甘	凸凹	大	紫赤	稍緊	極上	6.上	多	强	圓中	
一	ガバナ、ウッド	甘	短心臓	中	淡黄赤	軟	極上	6.上	多	中	長圓中	
一	エルトン	甘	心臓	大	黄地に紅斑	稍軟	極上	6.上	多	强	長圓中	
一	グレート、ピガロ	甘	心臓	中	鮮紅	稍緊	中	5.下	多	强	心臓中	
一	ナボレオン	甘	長圓少尖	甚大	紫黒地に黄斑	緊	上	6.中	多	强	長圓中	
一	ピガロー、ジヤボレ	甘	短心臓	大	鮮深紅	稍紫	上	6.上	多	强	卵圓大	
一	ランバート	甘	心臓	大	紫紅	緊	中	6.中	多	强	心臓大	
一	ピンガ	甘	短心臓	中	濃赤	稍緊	上	6.中	多	强	長圓中	輸送に堪ゆ
一	メー、ヂエーク	酸	短心臓	中	赤	軟	上	6.上	多	中	圓中	加工用
一	レート、ヂエーク	酸	短心臓	大	暗赤	軟	中	6.下	多	强	圓小	加工用

尙此の外温暖地方にて早生種としては支那櫻桃よく、センチニアル、チャップマン、高砂等又宜しい。

ナボレオン、ピング、ランバートは混植するも相互不結實である。

枇 杷

品 種	粒 形 状	果 の 大 小	色 澤	肉 色	肉 厚	果 梗 大 小	品 質	熟 期	收 量	樹 性
楠	卵圓	10.0	橙黄	橙	厚	大	上	6.上	多	强
土	扁圓	7.0	黄白	黄白	稍厚	大	極上	6.中	稍多	强
○田	中 倒卵	17.0	橙黄	橙黄	厚	大	上	6.中	多	强
○茂	木 長卵	12.0	橙黄	橙黄	甚厚	大	極上	6.上	多	强

第二 苗木購入上の注意

苗木は普通自ら仕立てず購入する機会が多いから充分注意して完全なものを求めねばならぬ、殊に果樹は多年生で一度栽植すると之れを更新することが困難であるから吳々も此點に注意を要する。

1 苗木購入上注意すべき事項

一 濕地で養成した苗は組織が柔軟であるから乾濕適度の土地に出來たものを購入すること。二 軽い土地に出來たものは一般に根の發達が不良であるから寧ろ重い土地に出來たものを選ぶこと。三 可成的陽光の當る所で疎植した苗木を選ぶこと。四 可成的近所から購入すること

若し遠方から購入する場合は掘取り、荷造り、運搬等に充分注意する商人より求むること。**五** 品種の正確を重んずる信用ある商人より購入すること。**六** 病害蟲のある地方より之を購入せざること。**七** 價格の如何のみに注意せず其の價格と實質とを對照し高價なりとも良苗を購入すること。**八** 種苗目録にある新品種には誇大的の記事が非常に多いから無暗に新奇を好むことは絶対に慎まねばならぬ。

2 善良なる苗木

吾人が求めんとする善良なる苗木とは次の様なものである。

- 一、品種 正確なものであつて而も良系統に屬するものがよい。
- 二、大小 生育不良の苗木を植えた園は永久に不成績であるのは世人の認むる所であるから充分肥大充實したものでなくてはならぬ。
- 三、齊整 苗木は總て一様に生育したものがよい、又枝葉部と根部とは互に能く釣合を保ち且つ砧木と穂木の癒合の完全であることが大切である。
- 四、色澤 品種固有の色澤を有することが必要である、一般に淡青綠色を呈するのは日蔭に出来たものか又は出来過ぎた苗で何れもよくない。
- 五、性質 節間が短く組織が充實し芽が膨らんでをれば申分がない。
- 六、根 主根が短く側根並に細根の豊富で然も其の發生狀態の釣合が取れて居らねばならぬ。
- 七、砧木 栽植せんとする所の風土並に栽培の目的に適ひ然も其の品種に最も適應したものでなくてはならぬ。
- 八、病傷害 病害蟲の被害並に人爲的の傷害無く掘取りの際出来た断面は美しく切り直され其の他消毒並に青酸瓦斯燻蒸の確實に行はれたものでなくてはならぬ、又假植、荷造り輸送等完全に行はれ決して苗の乾燥して居らぬものがよい。

3 苗木の標準

從來苗木は大きくさへあれば良い様に言はれ且つ一般の人も之を信じて居つたが大苗は必ずしも良苗でない。夫れよりも根がよく發達して居て莖は其の太さと長さとの釣り合がとれて居るものでなくてはならぬ、茲に園藝試験場で養成された一年苗に就て調査した苗木の標準を掲げて参考に供しよう、吾人は須らく此の中の一等苗に相當する程度のものを購入するやう勉めねばならぬ。

種 名	等 級	一 等 苗		二 等 苗		三 等 苗	
		莖 長	莖 直 徑	莖 長	莖 直 徑	莖 長	莖 直 徑
和 洋 同 準	梨	4.0以上	3.5以上	4.0—1.5	3.5—2.0	1.5以下	2.0以下
	梨	3.5以上	3.0以上	3.5—1.5	3.0—2.0	1.5以下	2.0以下
	(榲桲砧)	2.5以上	2.5以上	2.5—1.0	2.5—1.5	1.0以下	1.5以下
	果	3.5以上	3.0以上	3.5—2.0	3.0—2.0	2.0以下	1.5以下
	桃	3.0以上	3.0以上	3.0—1.5	3.0—2.0	1.5以下	2.0以下
	李	3.5以上	2.5以上	3.5—1.5	2.5—1.5	1.5以下	1.5以下
	杏	3.0以上	3.0以上	3.0—1.5	3.0—2.0	1.5以下	2.0以下
	梅	4.0以上	2.5以上	4.0—2.0	2.5—1.5	2.0以下	1.5以下
	栗	3.0以上	4.0以上	3.0—1.5	4.0—2.0	1.5以下	2.0以下
	柿	2.5以上	3.0以上	2.5—1.5	3.0—2.0	1.5以下	2.0以下
	葡萄	4.0以上	2.5以上	4.0—2.5	2.5—1.5	2.5以下	1.5以下
	花 果	1.8以上	3.5以上	1.8—0.8	3.5—2.5	0.8以下	2.5以下
	柑 橘(温州)	1.5以上	2.0以上	1.5—0.8	2.0—1.3	0.8以下	1.3以下
	枇 杷	1.0以上	3.0以上	1.0—0.5	3.0—2.0	0.5以下	2.0以下

註記 莖の直徑は接穂の上部二寸の位置を測定せるものなり。

4 苗木によつて傳播する主なる病蟲害

悪い害蟲や病氣が苗木に附着して各地に傳播した例は尠くない、故に苗木の購入は病蟲害の發生なき地方よりしなくてはならぬが又一方到着した苗木は害蟲の爲めには青酸瓦斯燻蒸を行ひ病氣の爲めにはボルドー液又は石灰乳に浸漬するのが最も安全な方法である、今苗木によつて傳播する主なる病害蟲を擧ぐれば次の様である。

害 蟲 名	附着果樹名	紫紋羽病	果樹一般
蚜 蟲 類	各種果樹	害 蟲 名	附着果樹名
フキロキセラ	葡 萄	蜜柑丸介殼蟲	柑 橘
刺 蟲	柿、梨、櫻桃、苹果	蜜柑長介殼蟲	柑 橘
大よこばい	苹果、桃、梨、其他	矢の根介殼	柑 橘
みのむし	各種果樹	天牛類	各種果樹
赤壁蟲	柑橘類其他	くだまきもどき	各種果樹
蜜柑赤丸介殼	柑 橘	葉卷蟲、芽蟲	梨、苹果、李、桃
綿 蟲	苹 果	苹果牡蠣介殼	苹果、梨
サンホーセ介殼蟲	苹果、梨、桃、柑橘	イセリヤ介殼	柑 橘
梅けむし	梅、苹果、梨、桃、其他	ルピーローむし	柿、柑橘
桑介殼蟲	桃、櫻桃、梅、李	つのもーむし	各種果樹
病 名	附着果樹名	病 名	附着果樹名
腐爛病	梨、苹果、櫻桃	莖枯病	葡 萄

昭和二年二月二十三日印刷
 昭和二年二月二十五日發行

農林省農務局

發行者 大沼 孚
 東京市赤坂區溜池町一番地

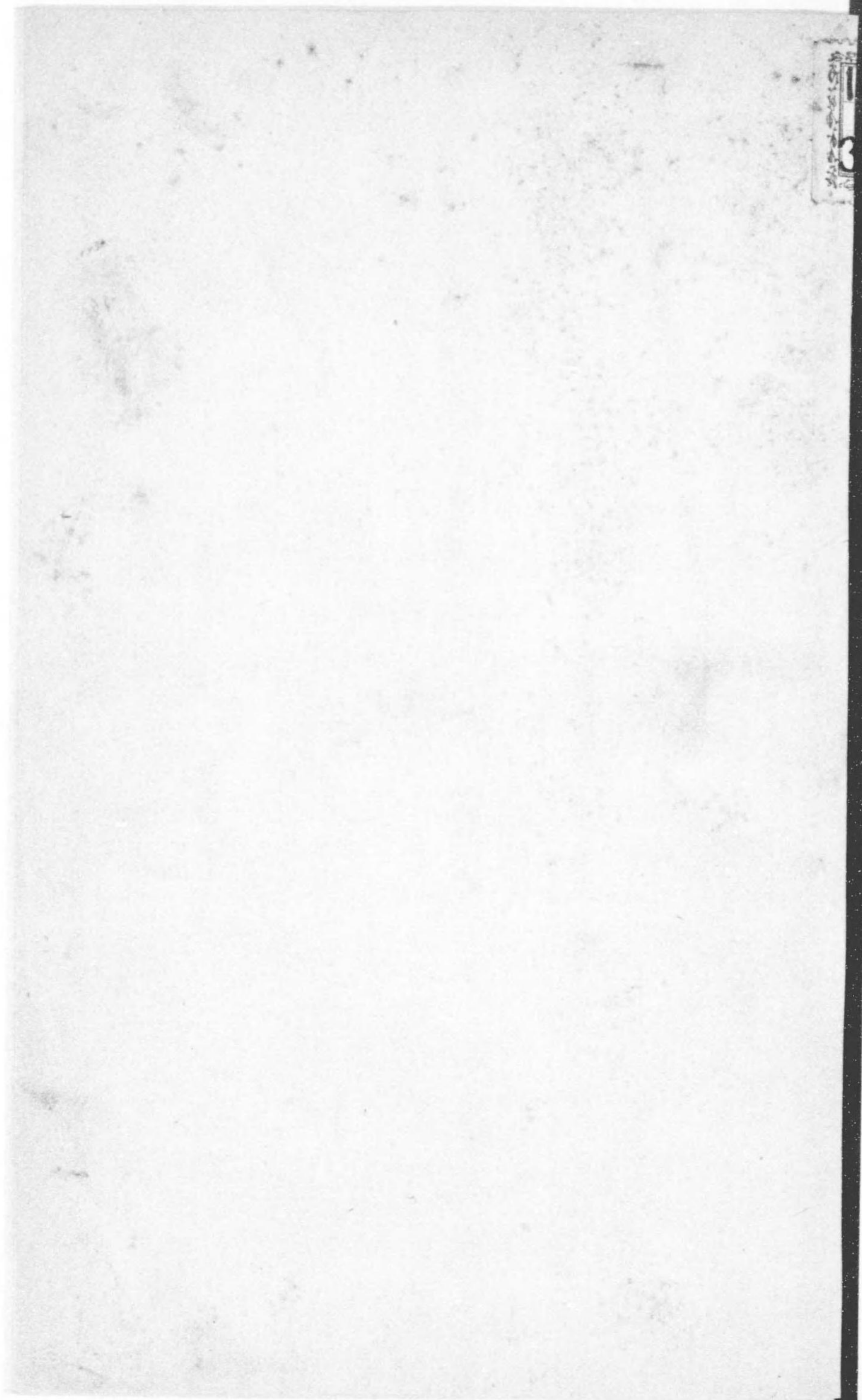
印刷者 甲田 藤太郎
 東京市麴町區紀尾井町三番地

印刷所 東京印刷株式會社
 東京市麴町區紀尾井町三番地
 東京印刷株式會社
 東京市赤坂區溜池町一番地

發行所 大日本農會
 東京市赤坂區溜池町一番地

振替貯金口座東京五參六九番

黑腐病	葡萄	粗皮病	苹果
胴枯病	栗、苹果、柿	枝枯病	苹果、柑橘
炭疽病	桃、柿、葡萄、梨、苹果	赤衣病	柑橘
根頭腐腫病	果樹一般	膏藥病	諸果樹
白絹病	苹果、枇杷、梨	瘡痂病	柑橘
褐腐病	柑橘	膠病	櫻桃、桃
黑疹性細菌病	櫻桃、苹果	白塗病	苹果、栗
白紋羽病	梨、苹果、枇杷、葡萄	黑星病	梨
芽腐病	苹果	潰瘍病	柑橘



終